

あぁ、

えっ!

だめだめ、

思い出しちゃった。

しまった

ボクだって佐倉さんのこと...

わたし、あれからずっとナオト君のこと考えていたんだから。

なにが?

こんなに人がいるのに?

え?

ここでするの?

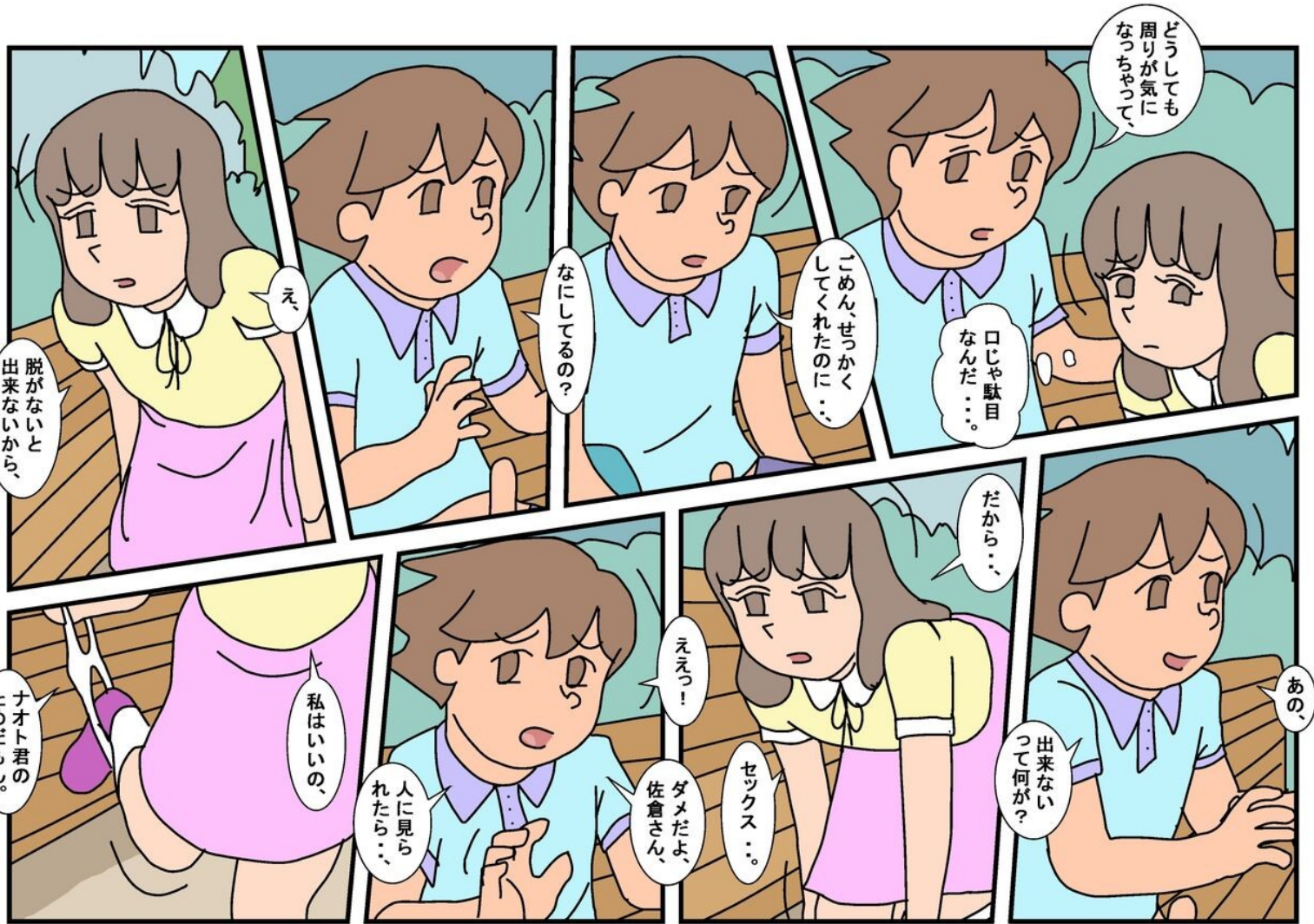
ごめん。

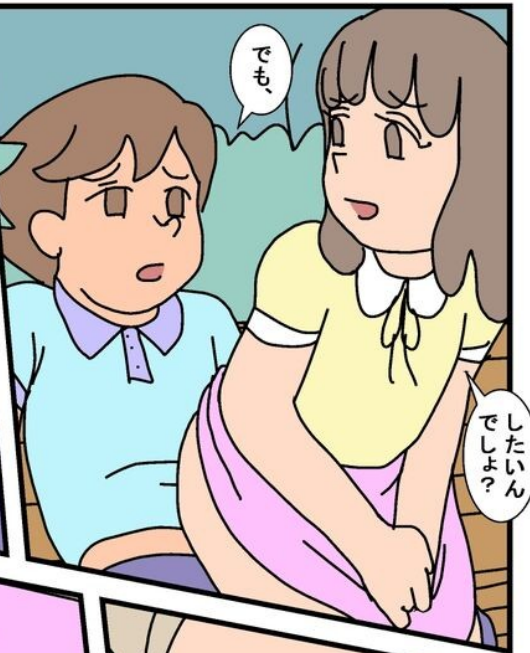
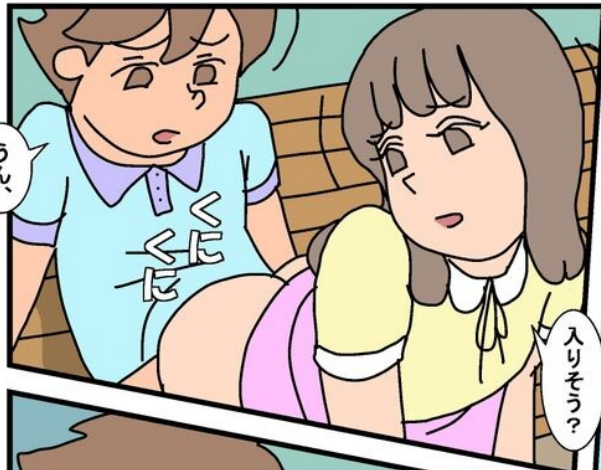
それ...

ナオト君...

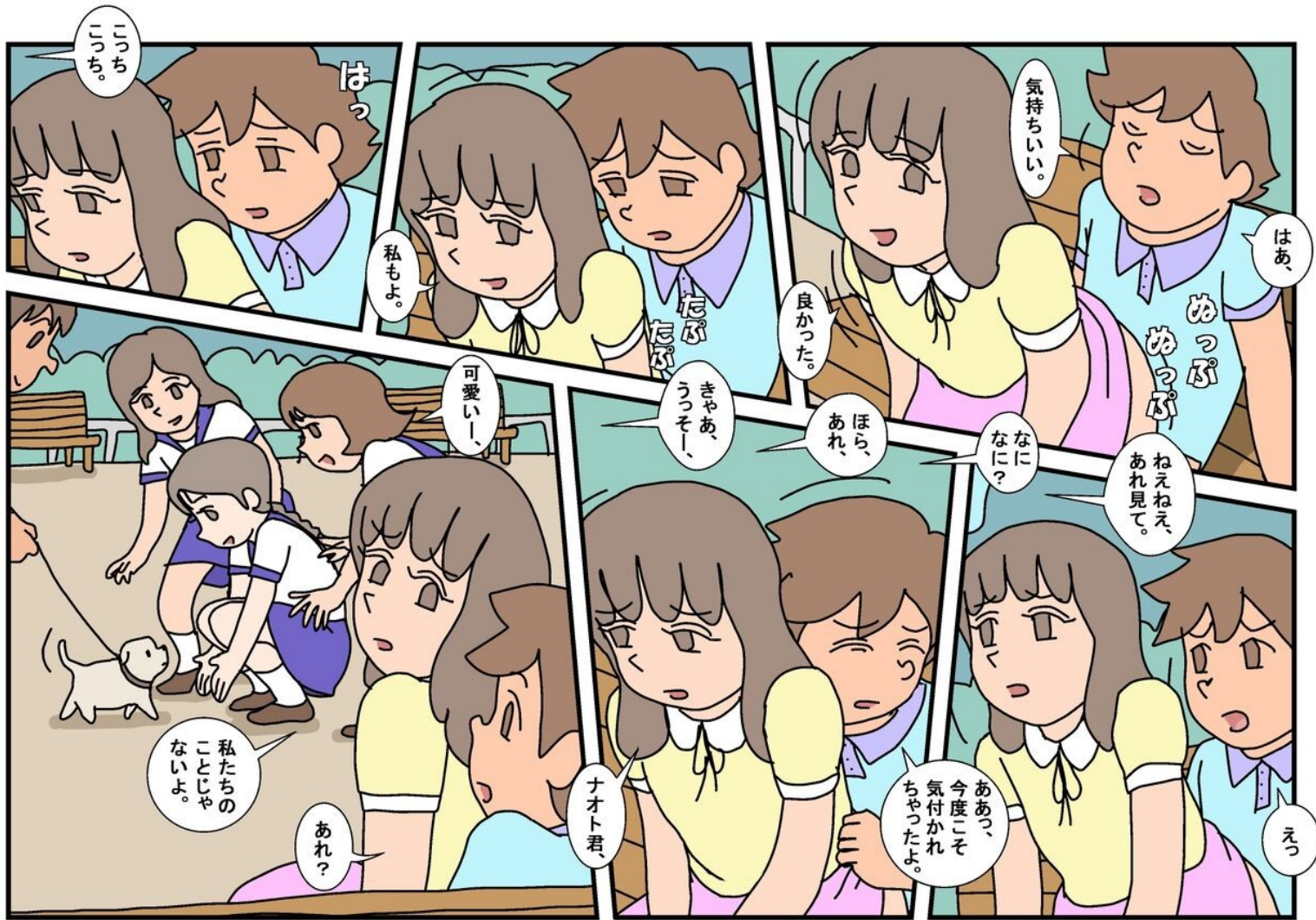




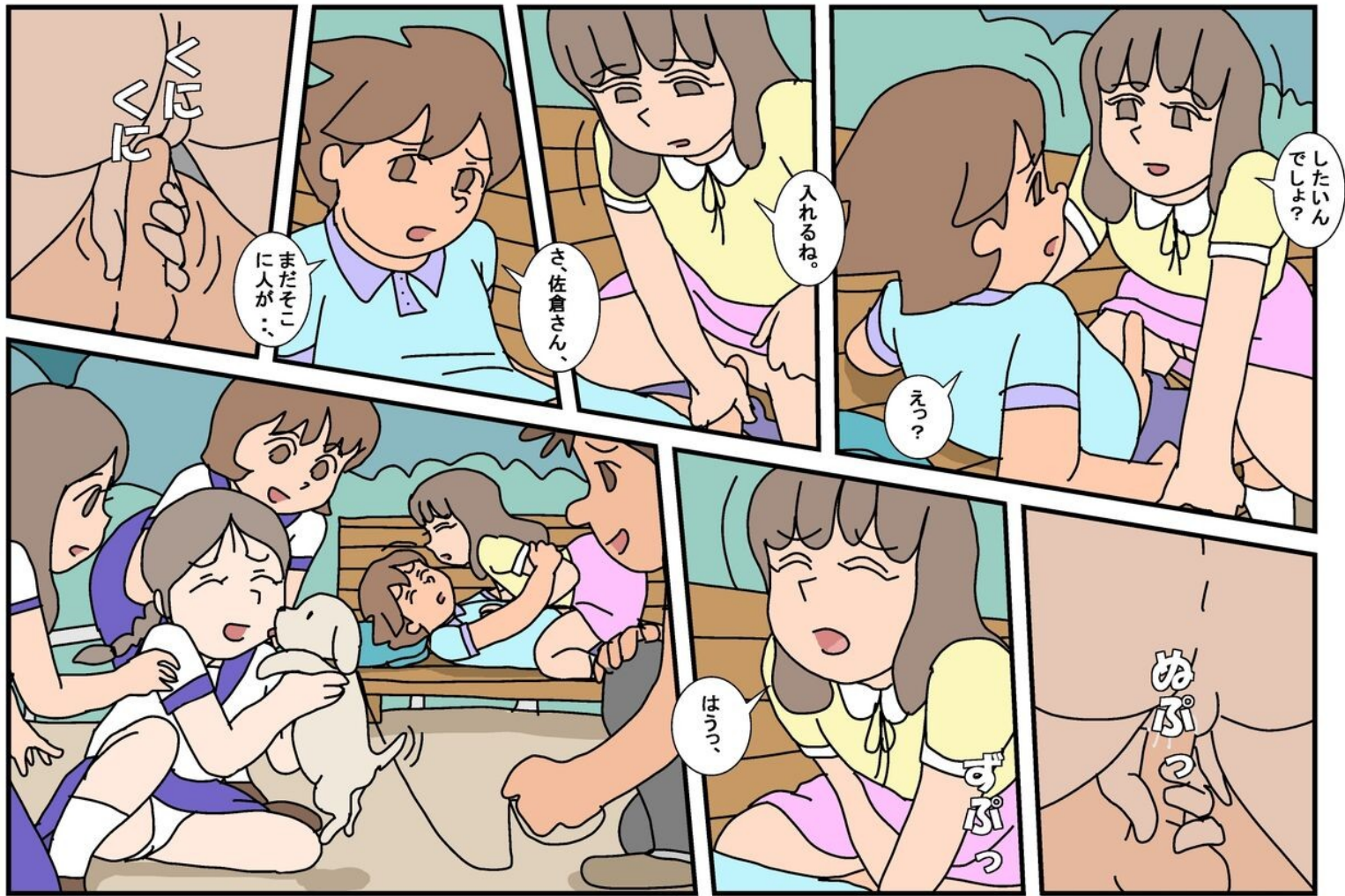


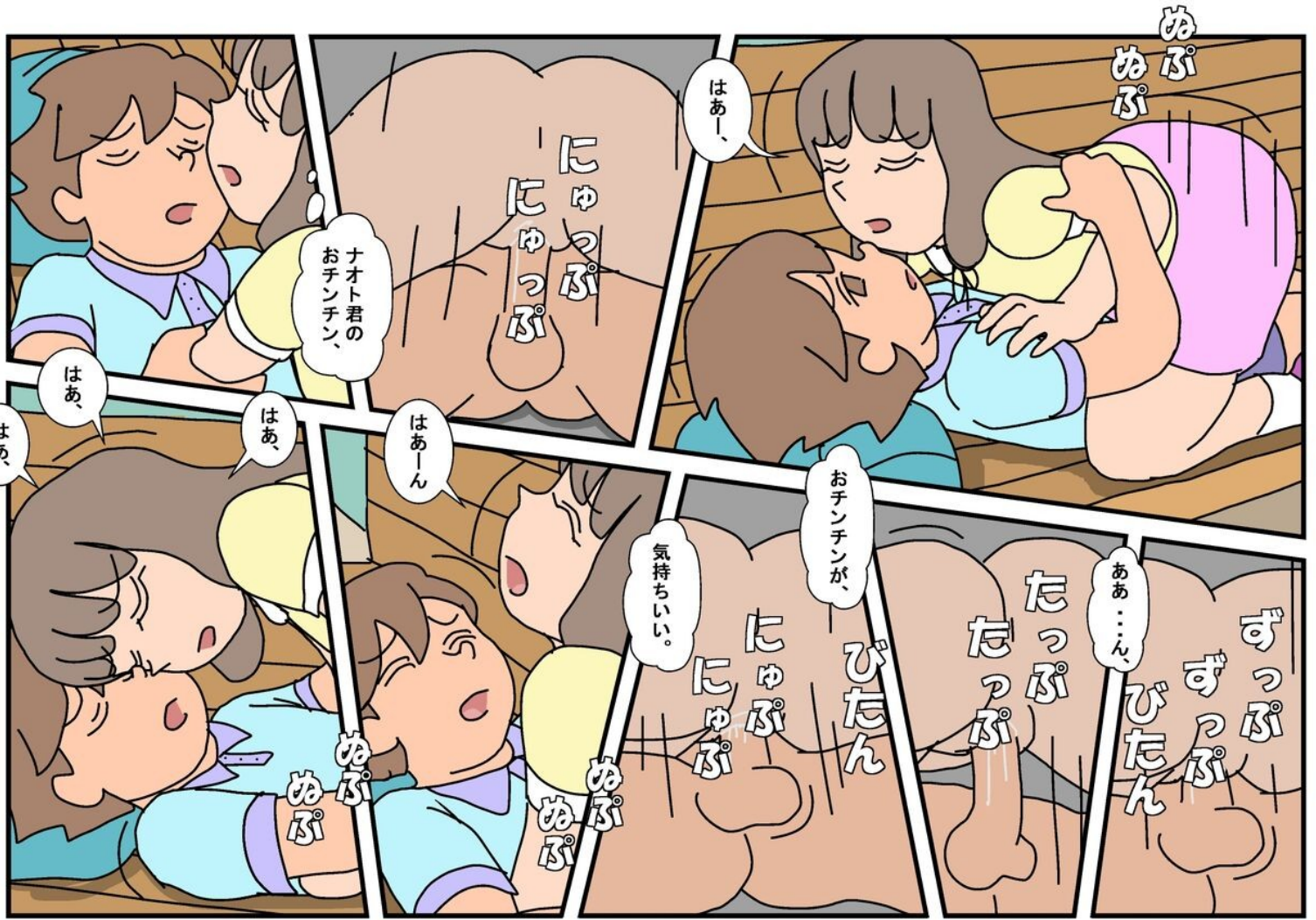












ぬ
ぶ
ぬ
ぶ

はあー、

ナオト君の
おチンチン、

にゅっ
ぴ
にゅっ
ぴ

はあ、

はあ、

はあ、

はあーん

おチンチンが、

気持ちいい。

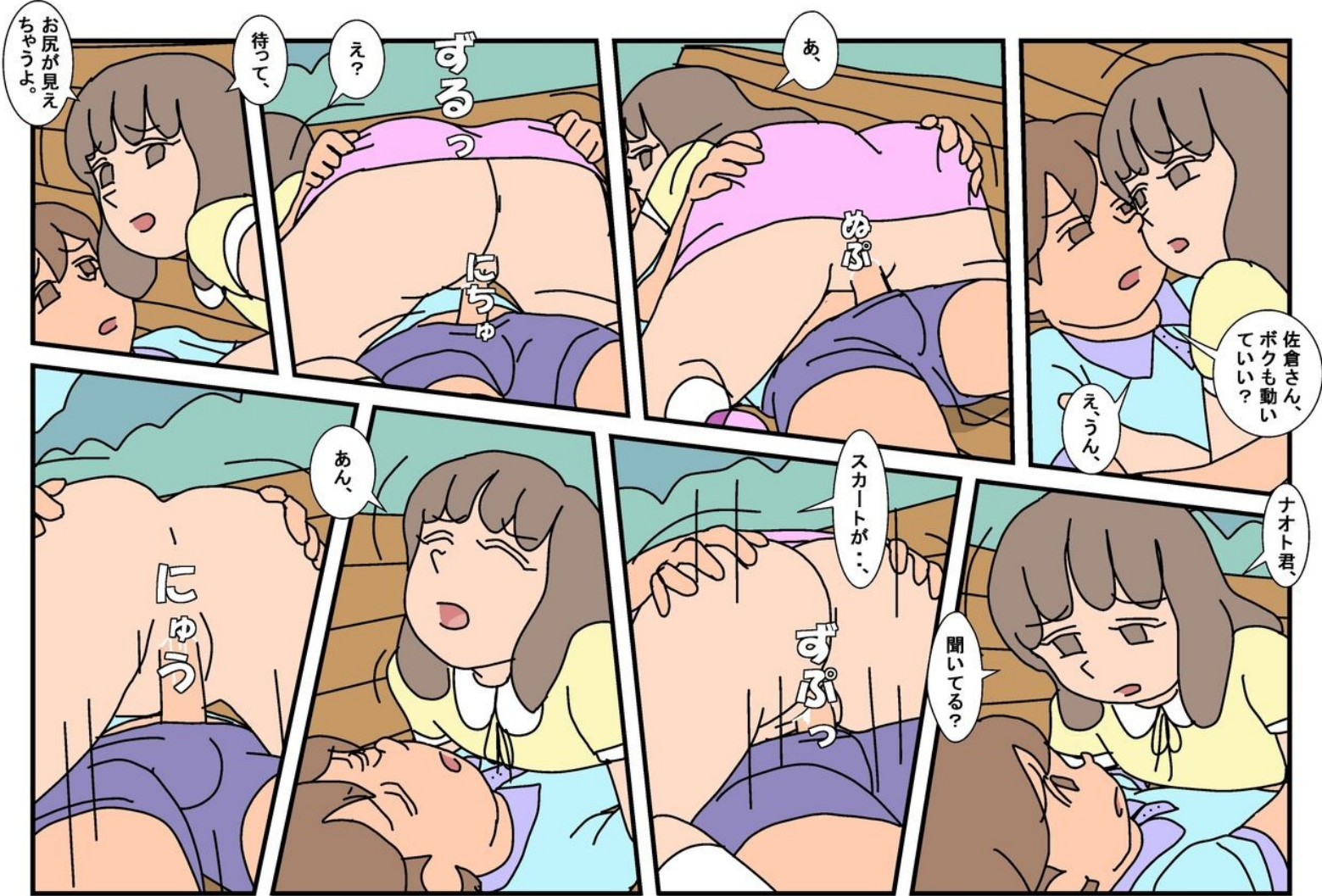
にゅ
び
にゅ
び
びたん

ああーん

たっ
び
たっ
び
ずっ
び
ずっ
び
びたん

ぬ
ぶ
ぬ
ぶ

ぬ
ぶ
ぬ
ぶ



お尻が見えちゃうよ。

待って

え？

はちゅっ

はちゅっ

あ

ぬび

佐倉さん、ボクも動いていい？

えうん、

ナオト君

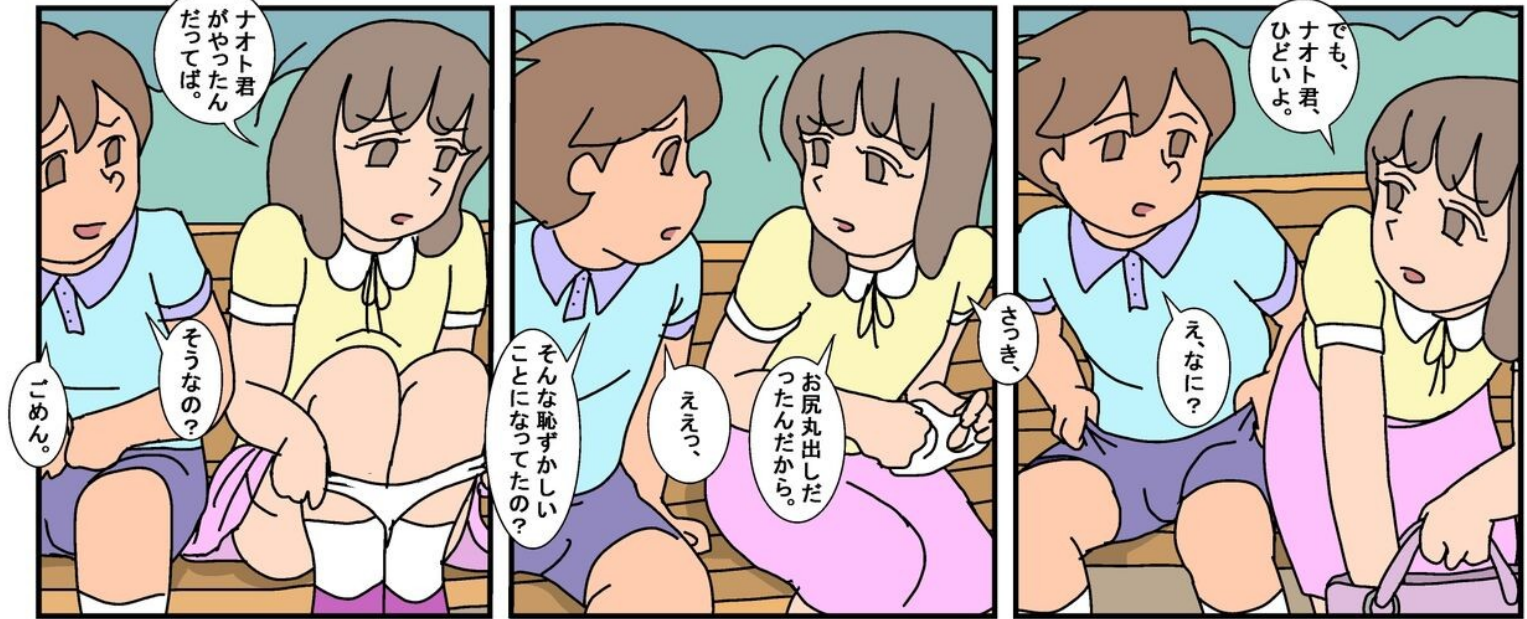
スカートが...

あん

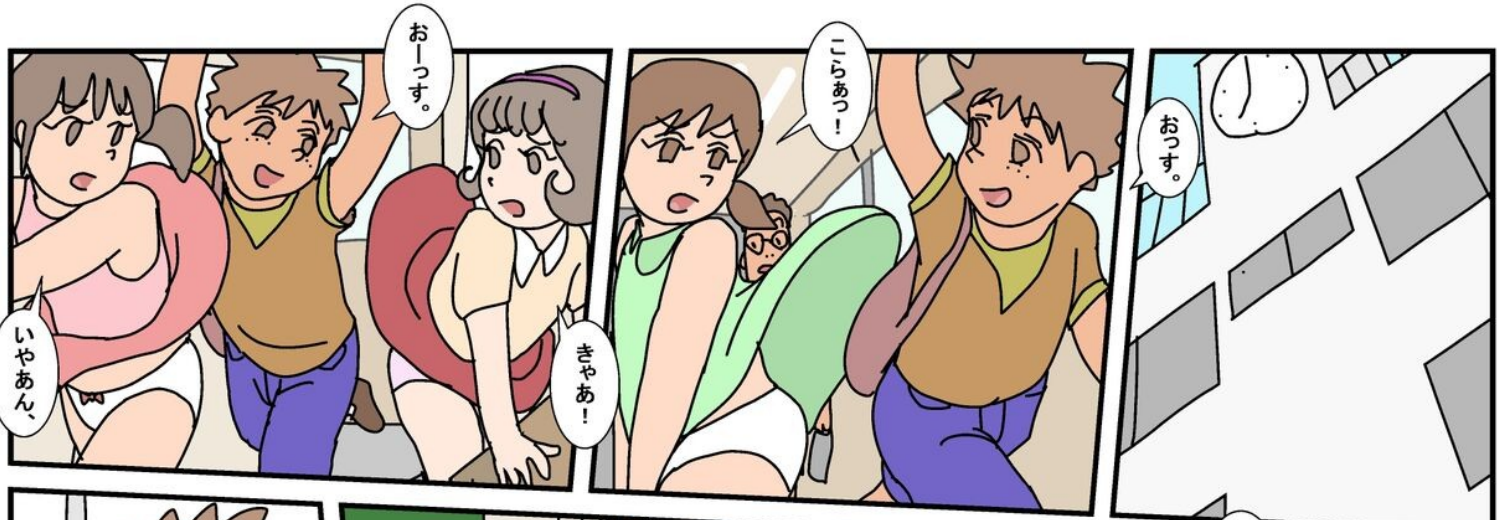
聞いてるっ

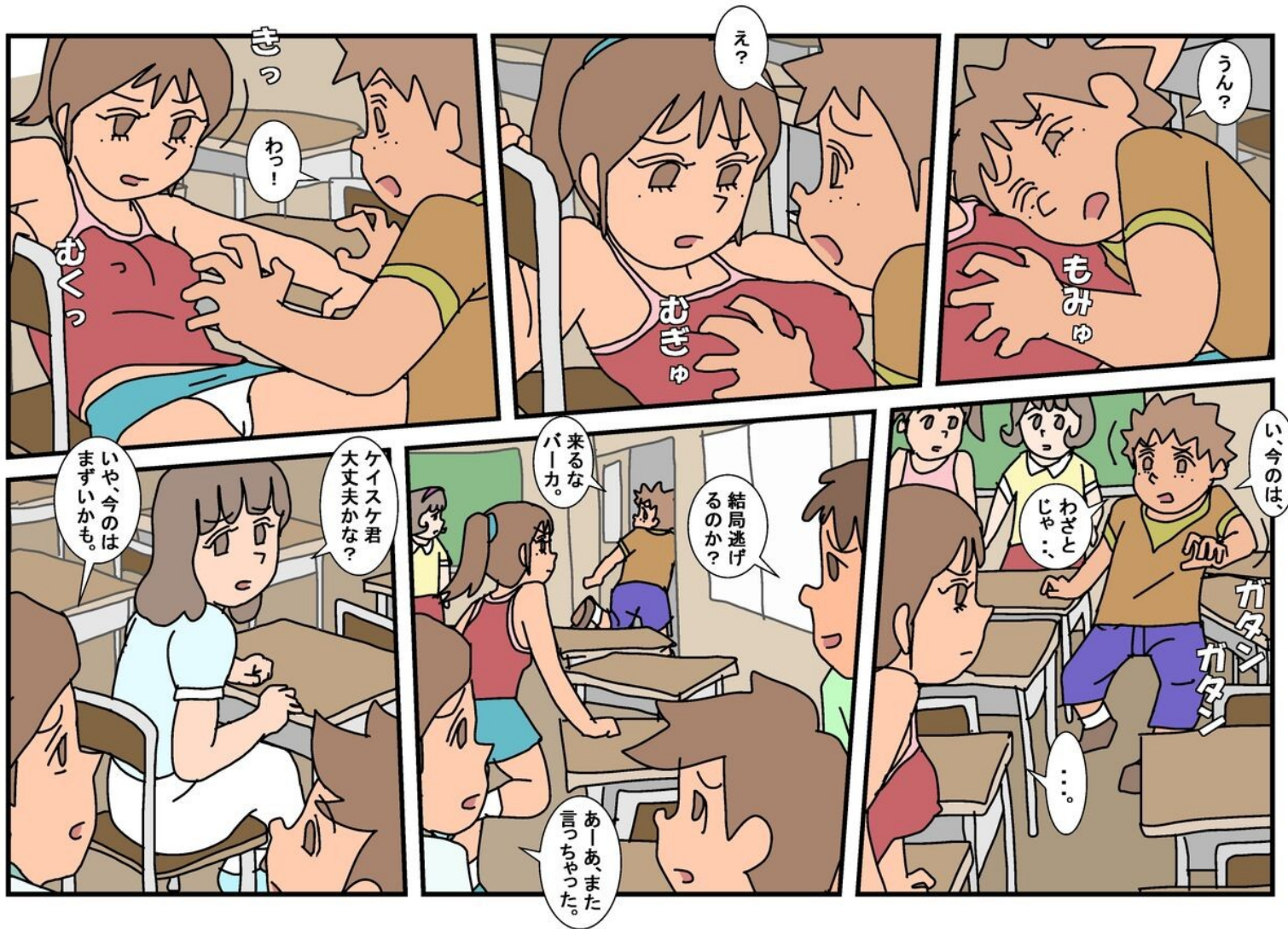
すびっ

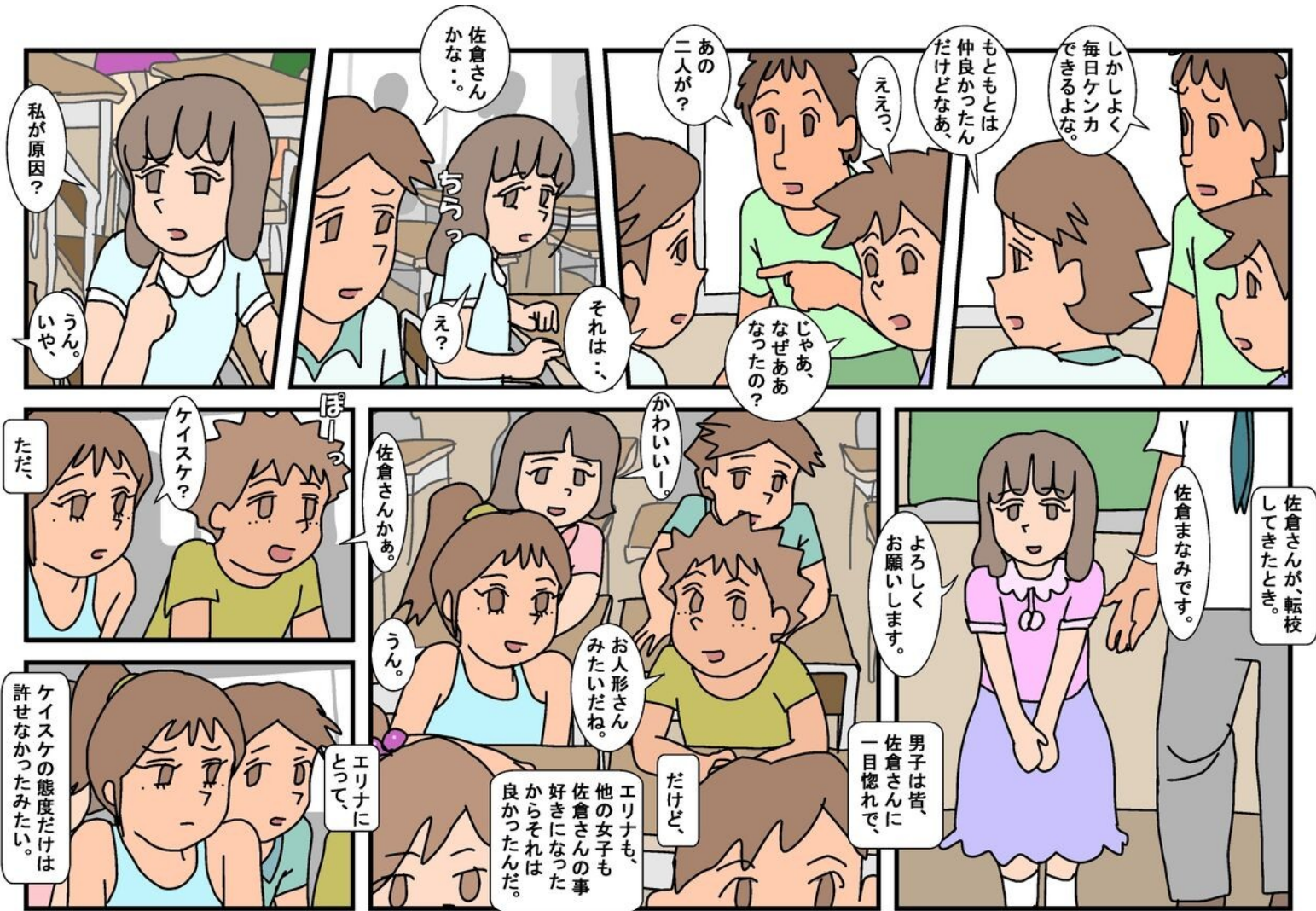












私が原因？
うん、いや。

佐倉さんかな...
え？
それは...

あの二人が？
ええつ、
じゃあ、なぜああなったの？

しかしよく毎日ケンカできるよな。
もともとは仲良かったんだけどなあ、

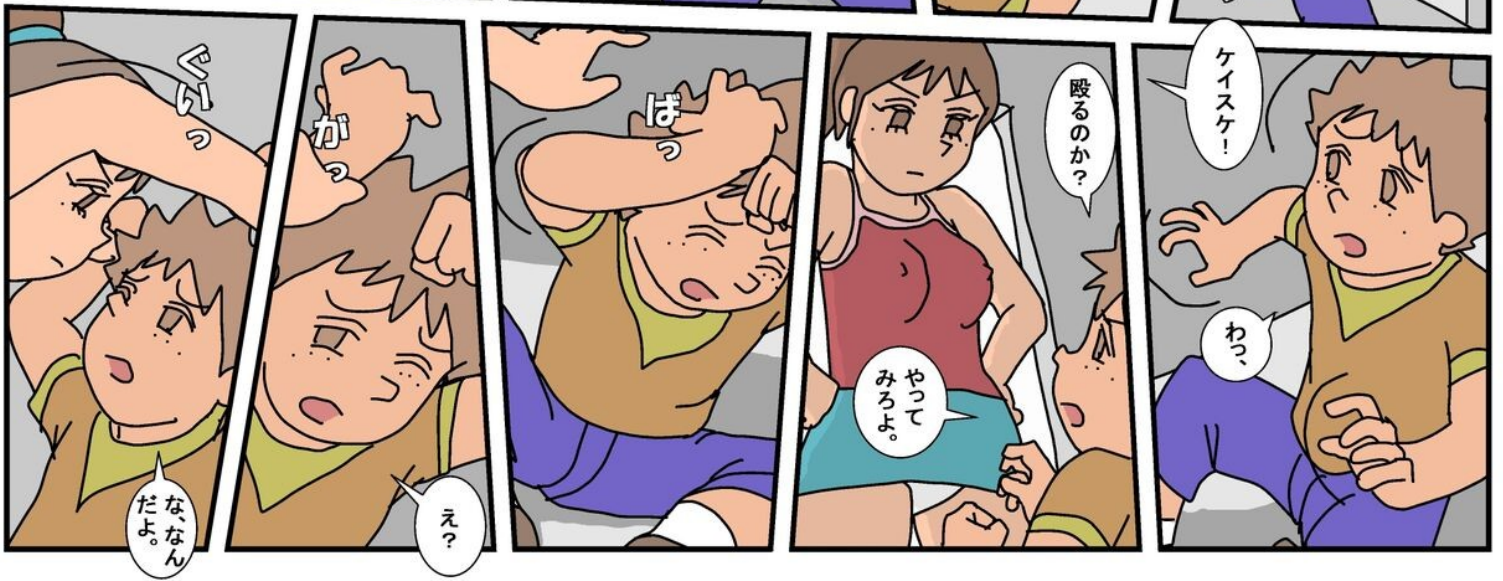
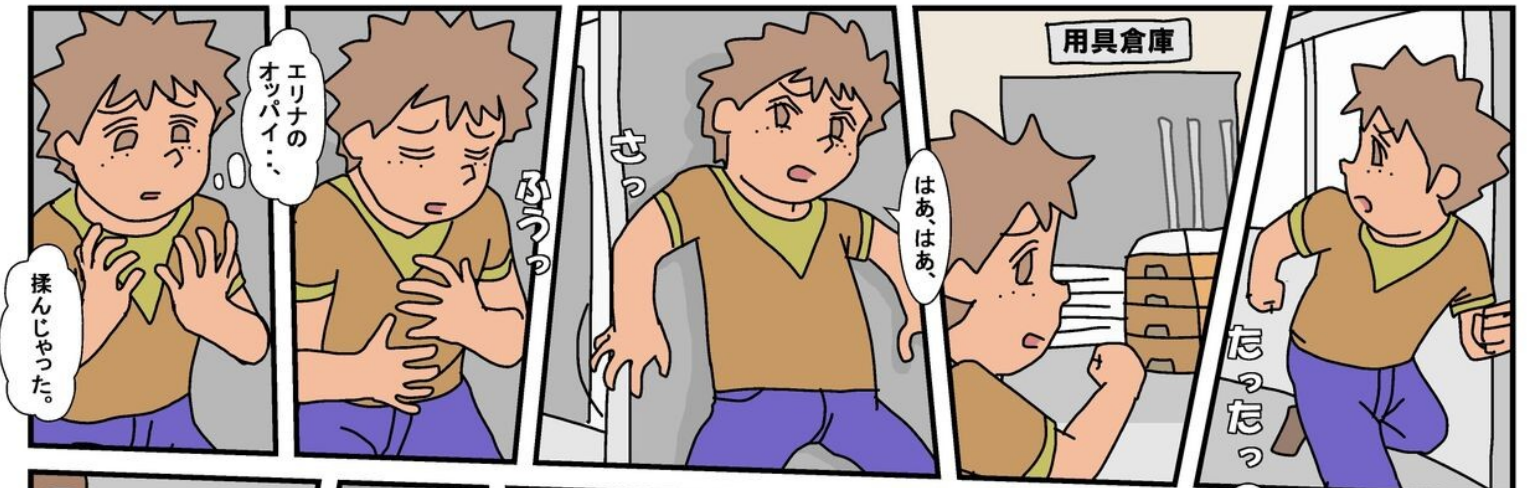
ほいっ
ケイスケ？
ただ、

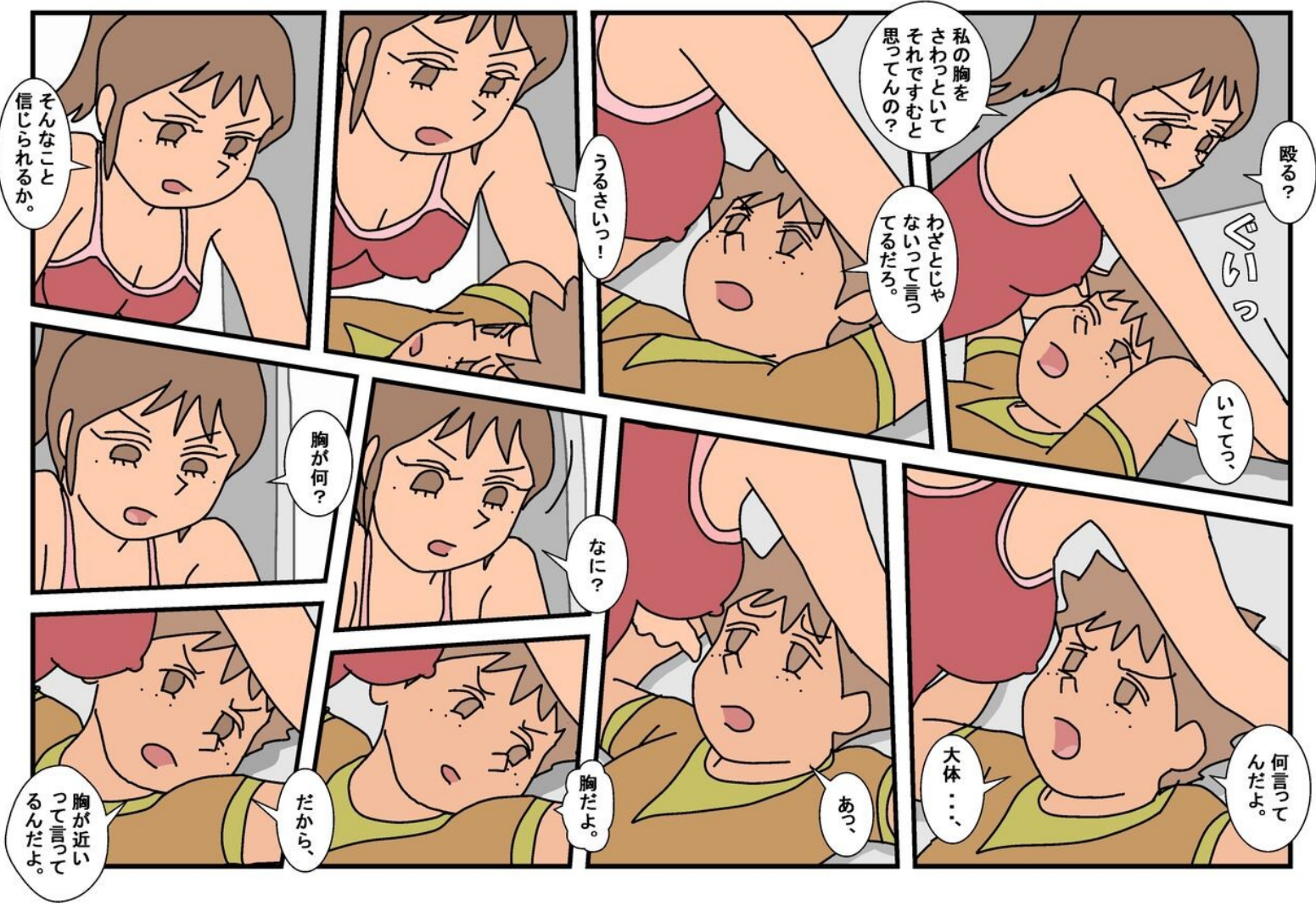
かわいい！
佐倉さんかあ。
うん。
お人形さんみたいだね。
エリナも他の女子も佐倉さんの事好きになったからそれは良かったんだ。
ただ、
エリナも、他の女子も佐倉さんの事好きになったからそれは良かったんだ。

佐倉さんが、転校してきたとき。
佐倉まなみです。
よろしく、お願いします。
男子は皆、佐倉さんに一目惚れで、

ケイスケの態度だけは許せなかったみたい。







そんなこと信じられるか。

胸が何?

なに?

だから、

胸だよ。

私の胸をさわつていい それですむと思ってるの?

わざとじゃないって言うてるだろ。

うるさい!!

殴る??

なに??

大体...、

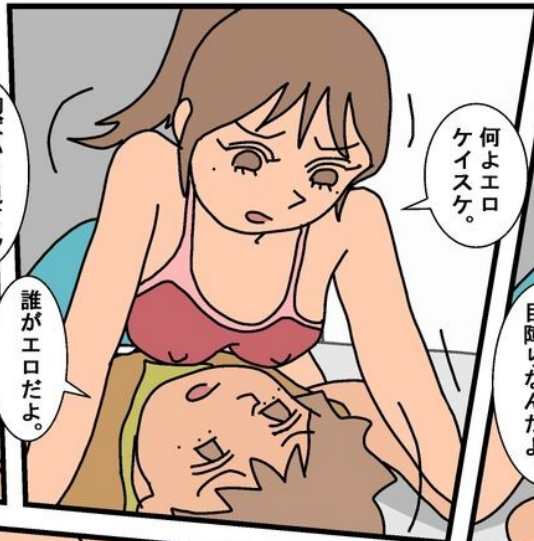
何言ってるんだよ。

あっ、



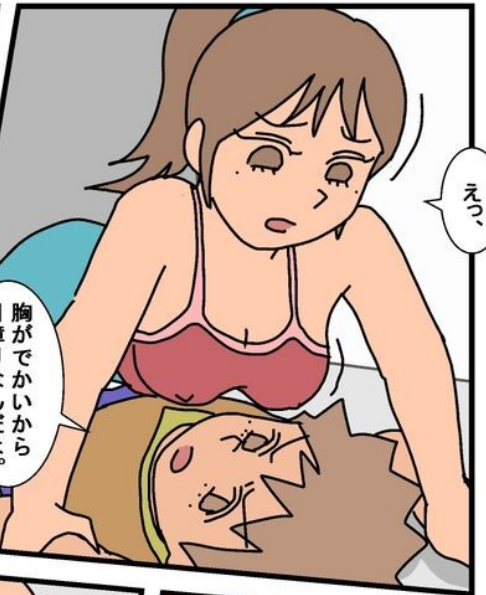
胸ばかり見てん
じゃないわよ。

ふん、お前が
エロパイ近づけ
るからだろ。



誰がエロだよ。

何よエロ
ケイスケ。



えっ

胸がかいから
目障りなんだよ。



……

あっ



この、
デカパイ
ゴリナ。



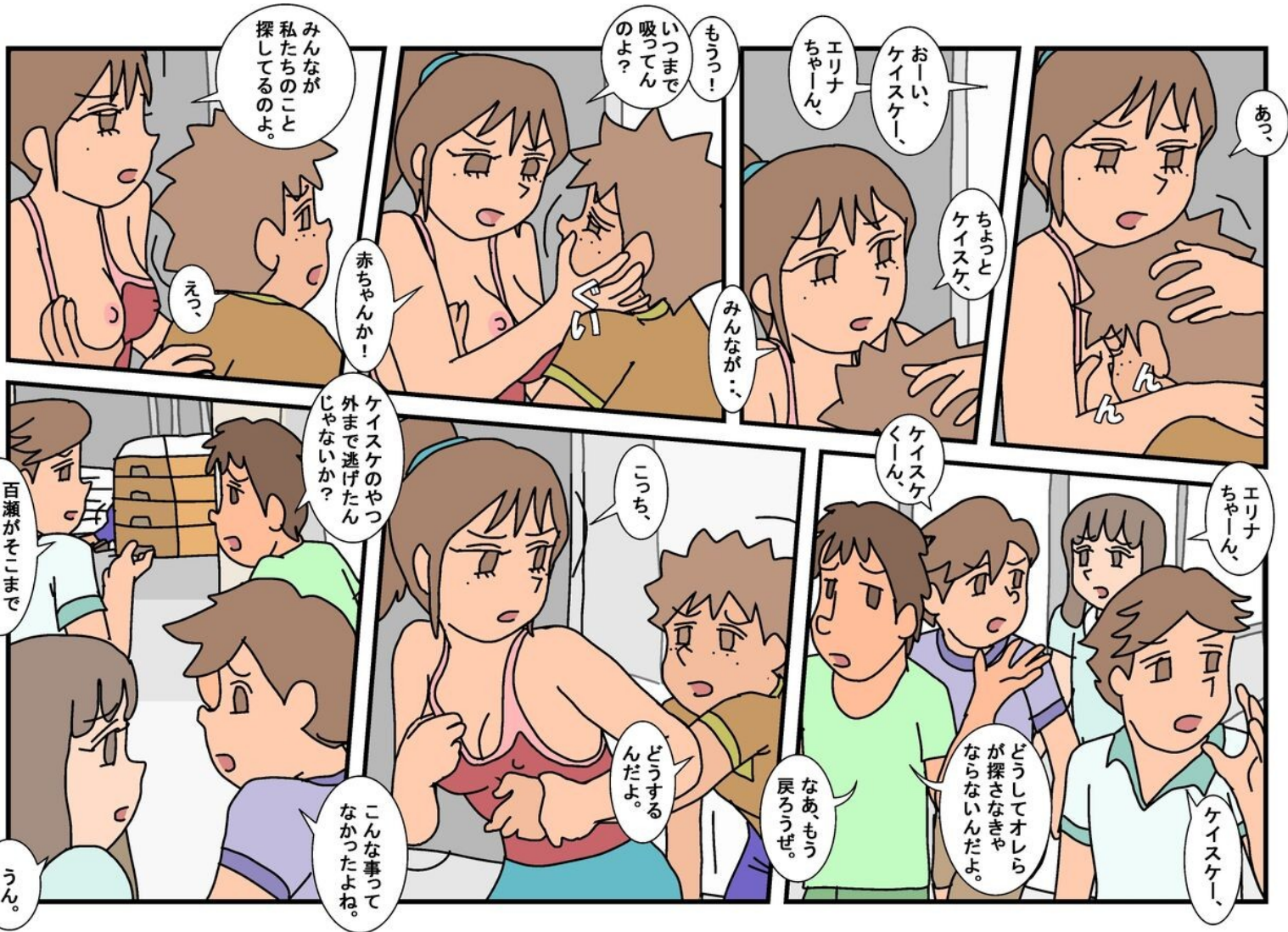
さっさと
殴れよ。

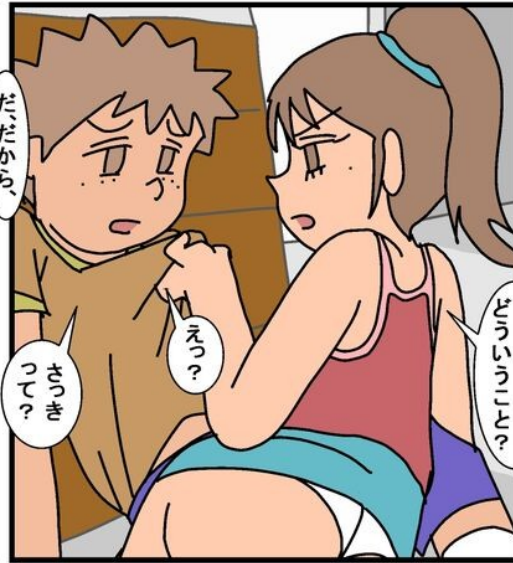
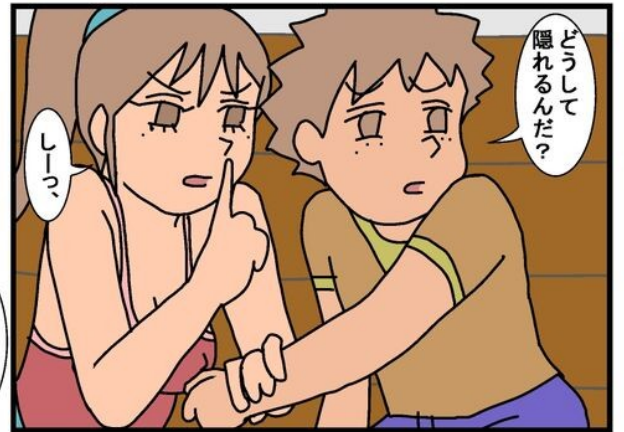


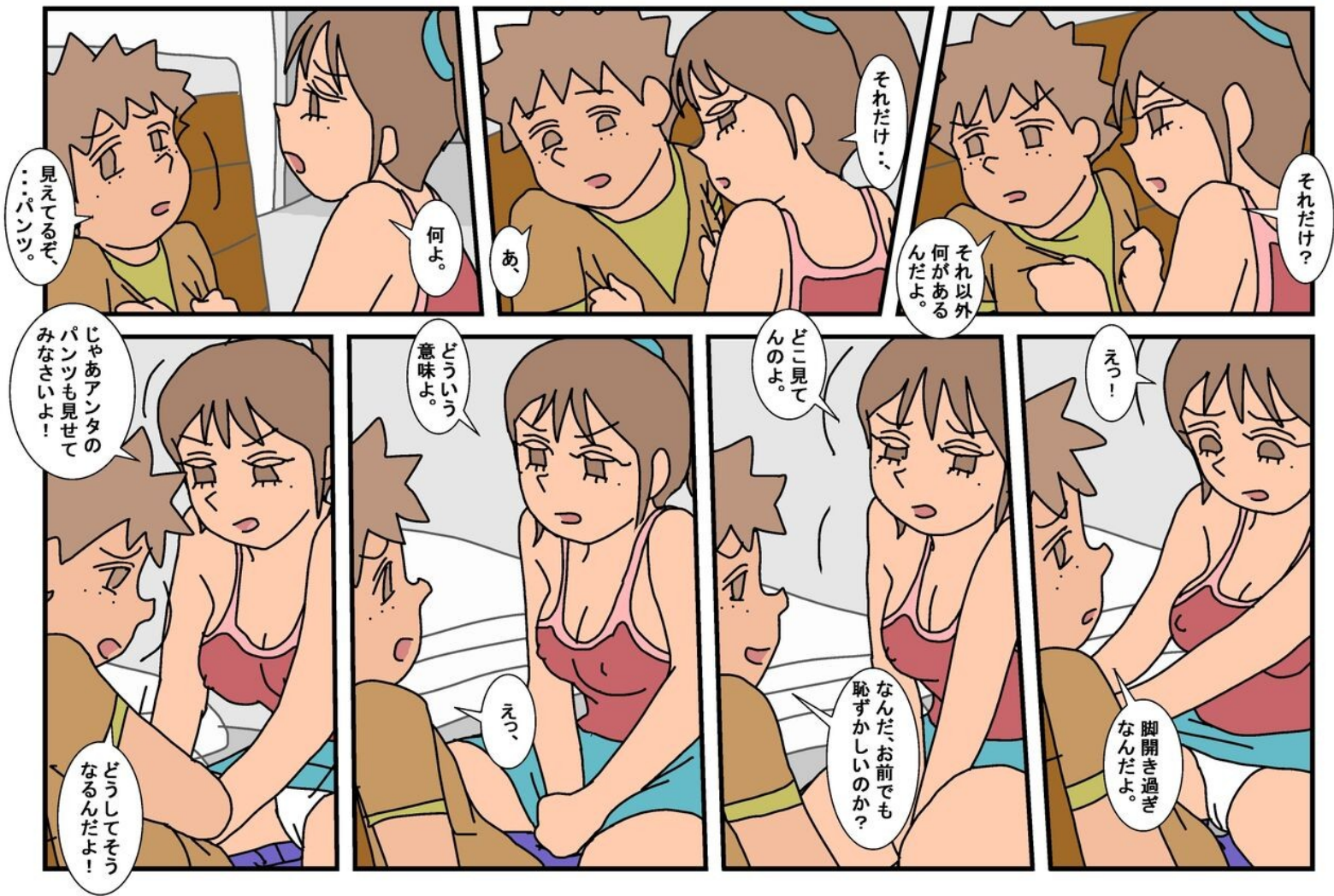
なっ

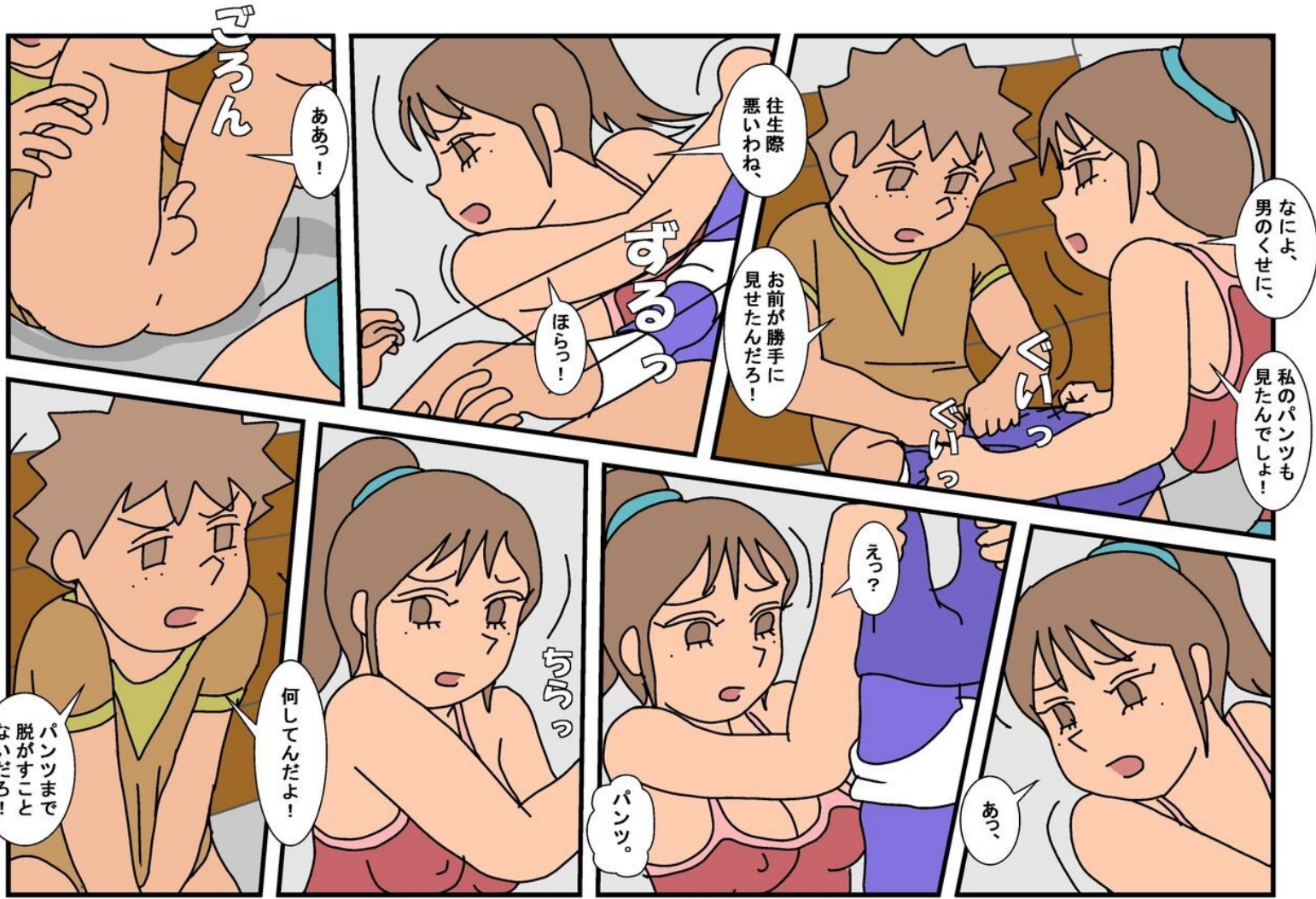
ほら、

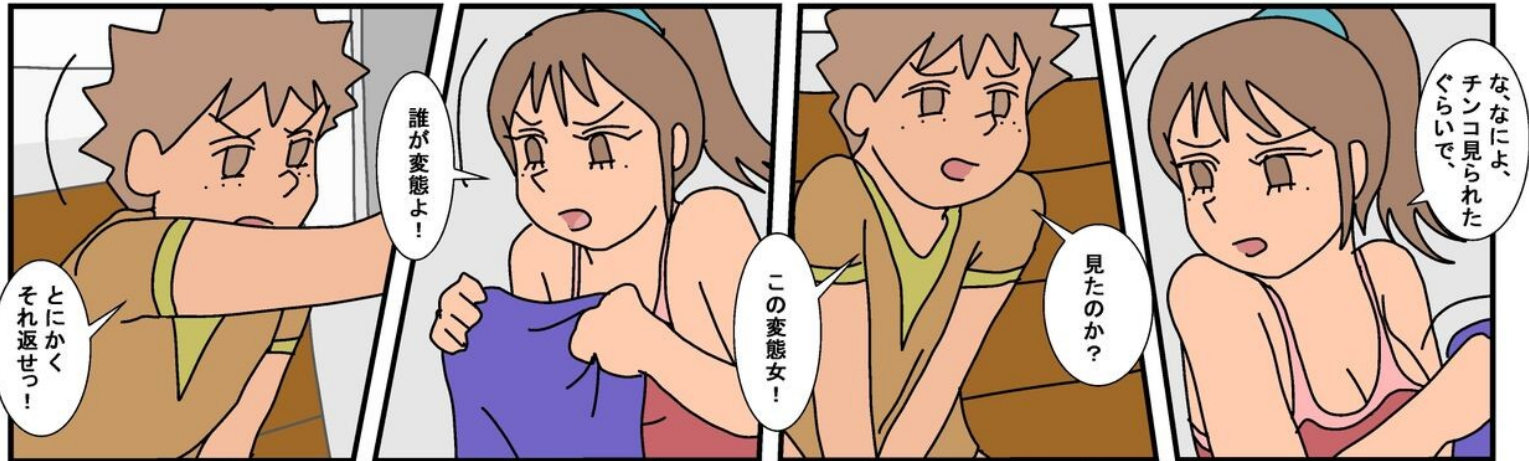


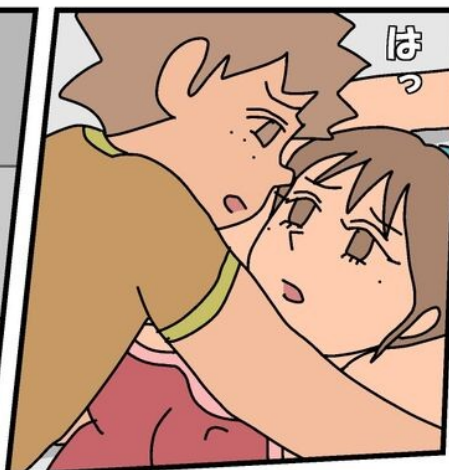


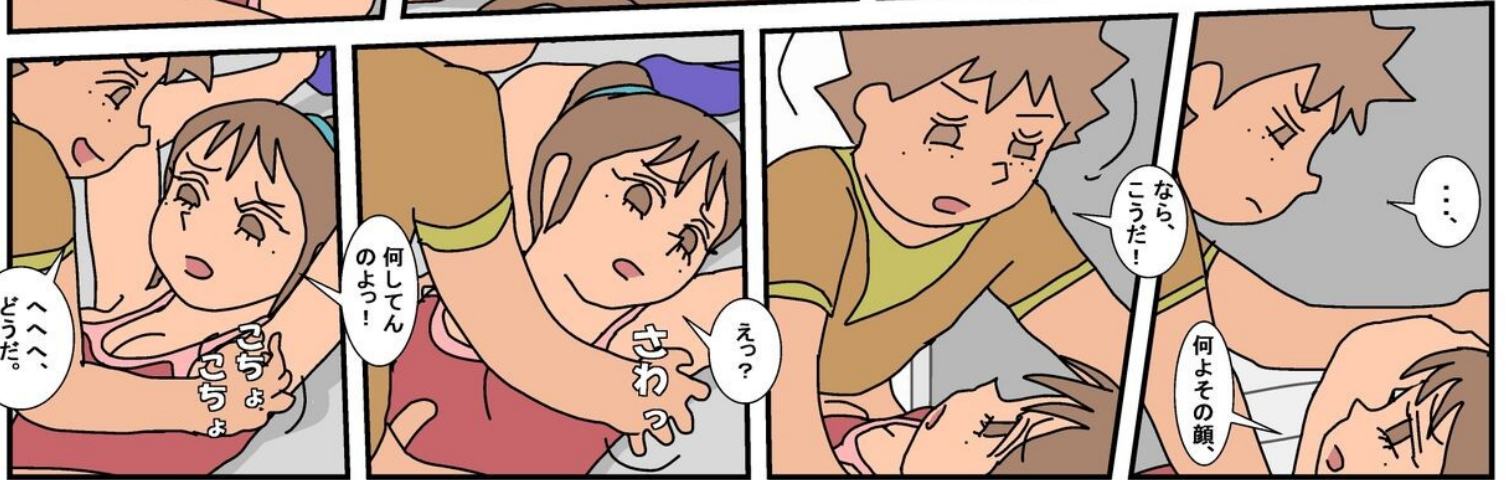
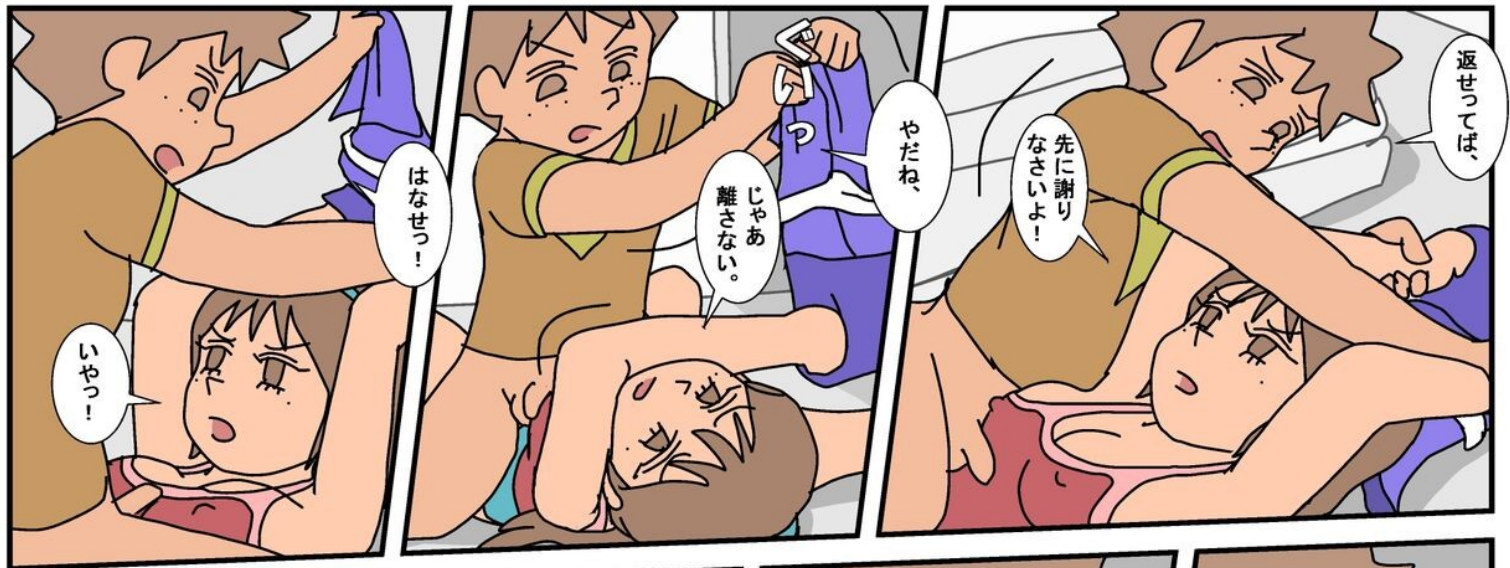


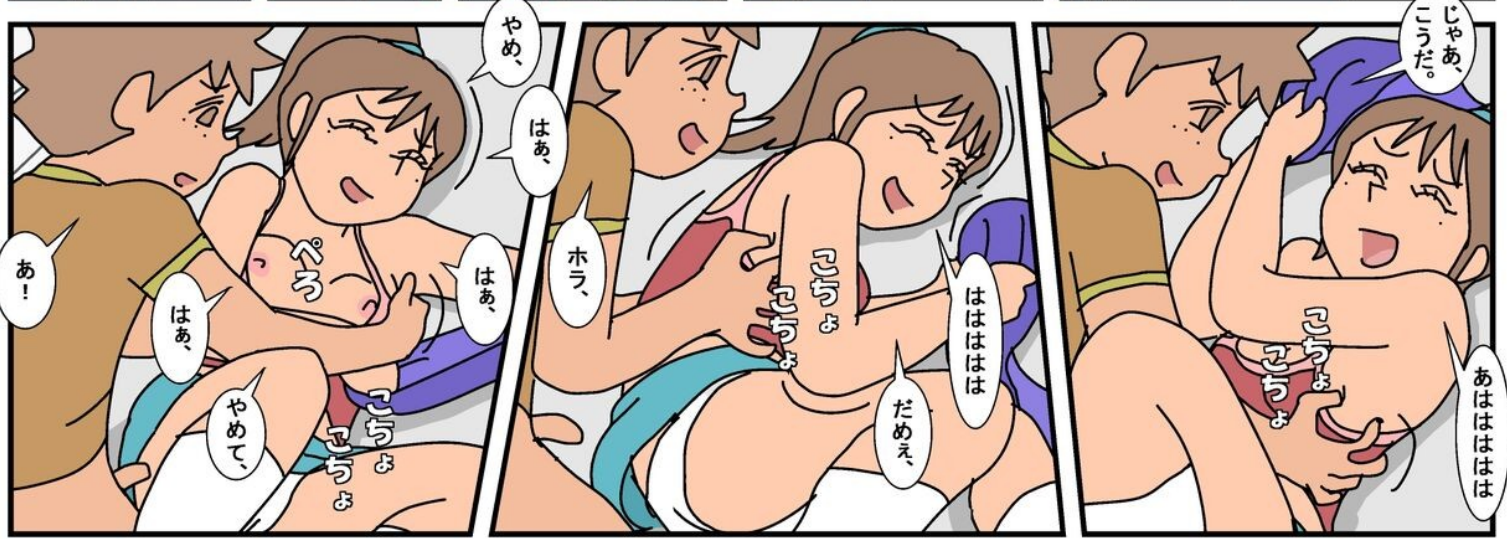
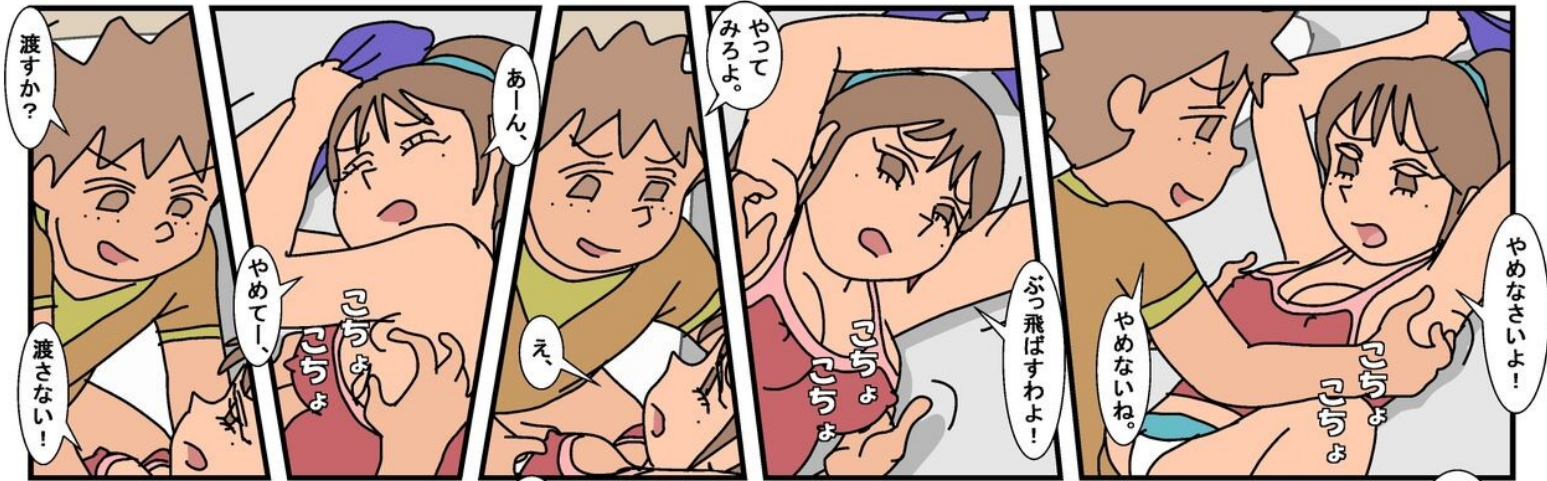




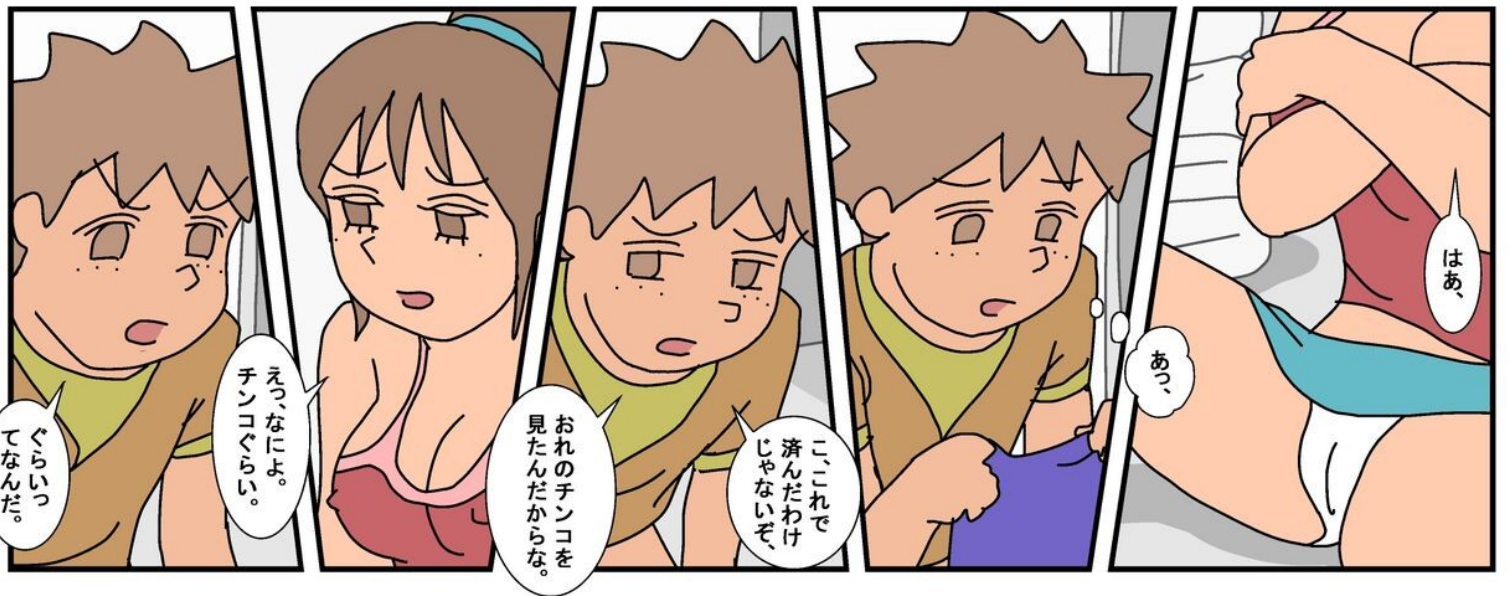


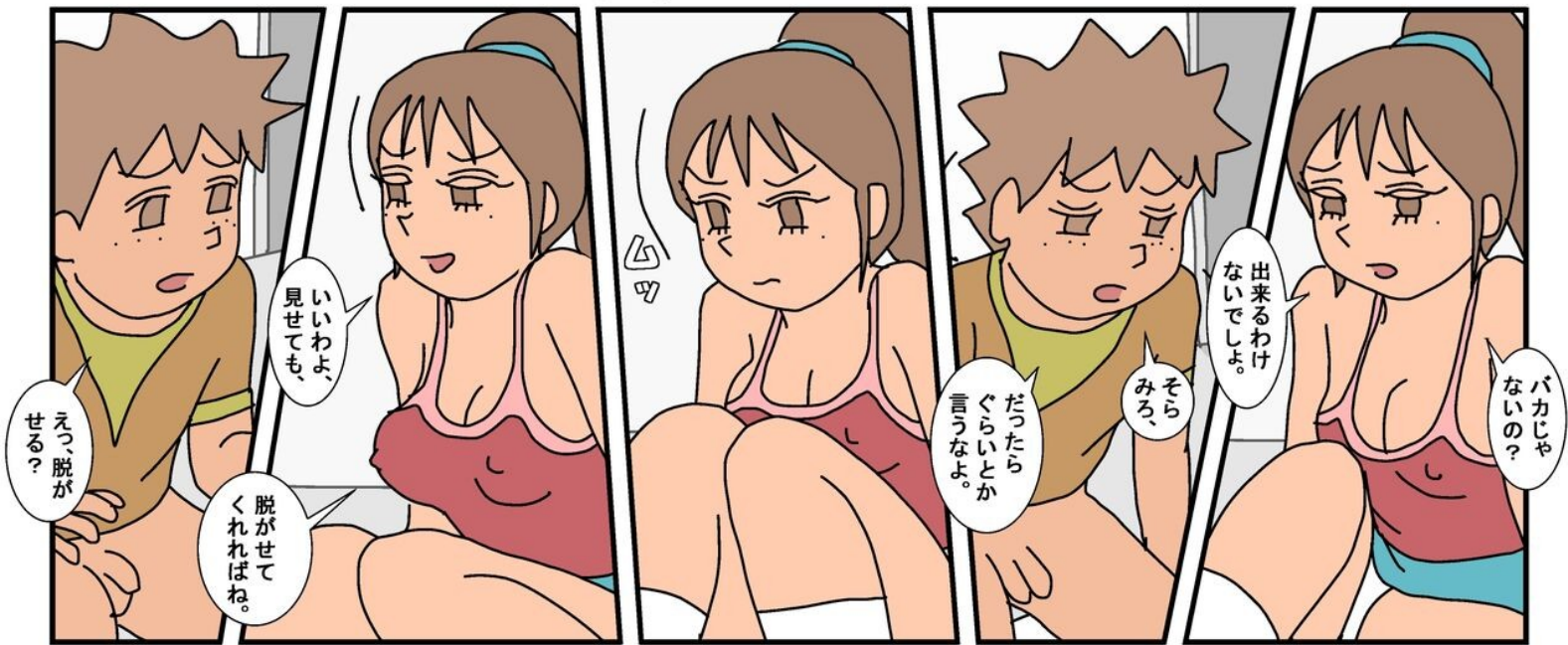




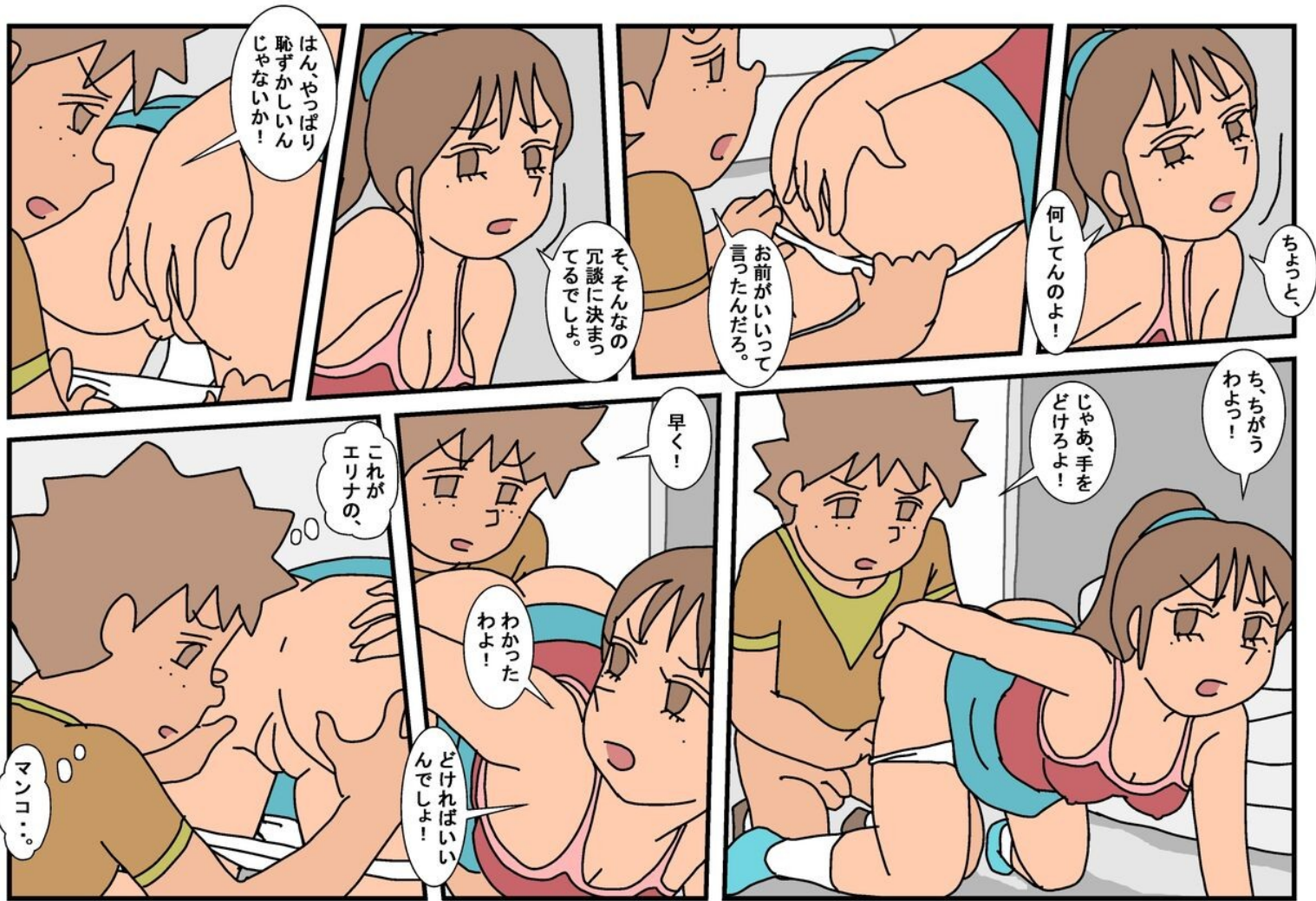












はん、やっぱり
恥ずかしいん
じゃないか！

そ、そんなの
冗談に決まっ
てるでしょ。

お前がいつて
言っただんたろ。

ちよっと、
わよっ！
何してんのよ！

これが、
エリナの、

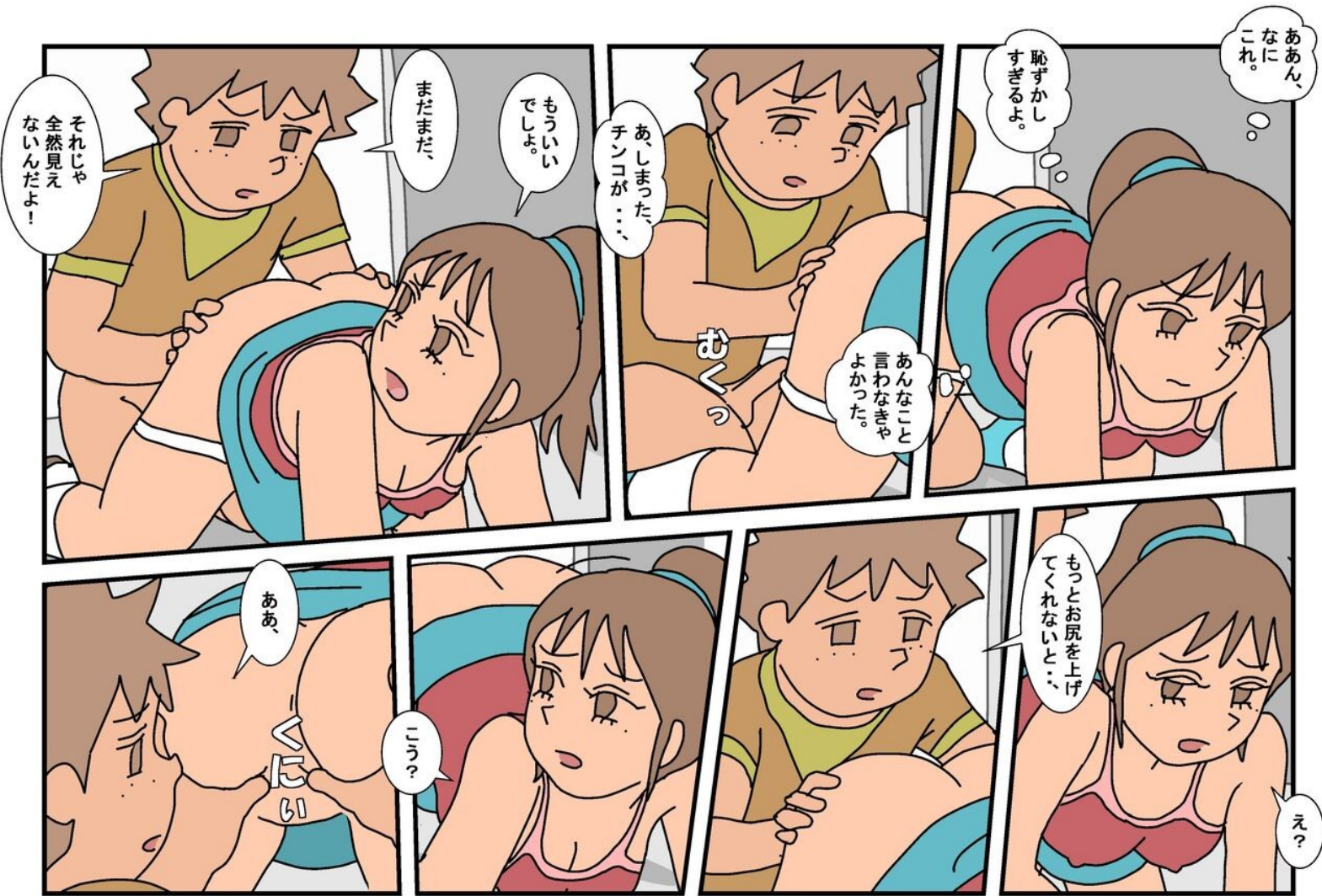
早く！

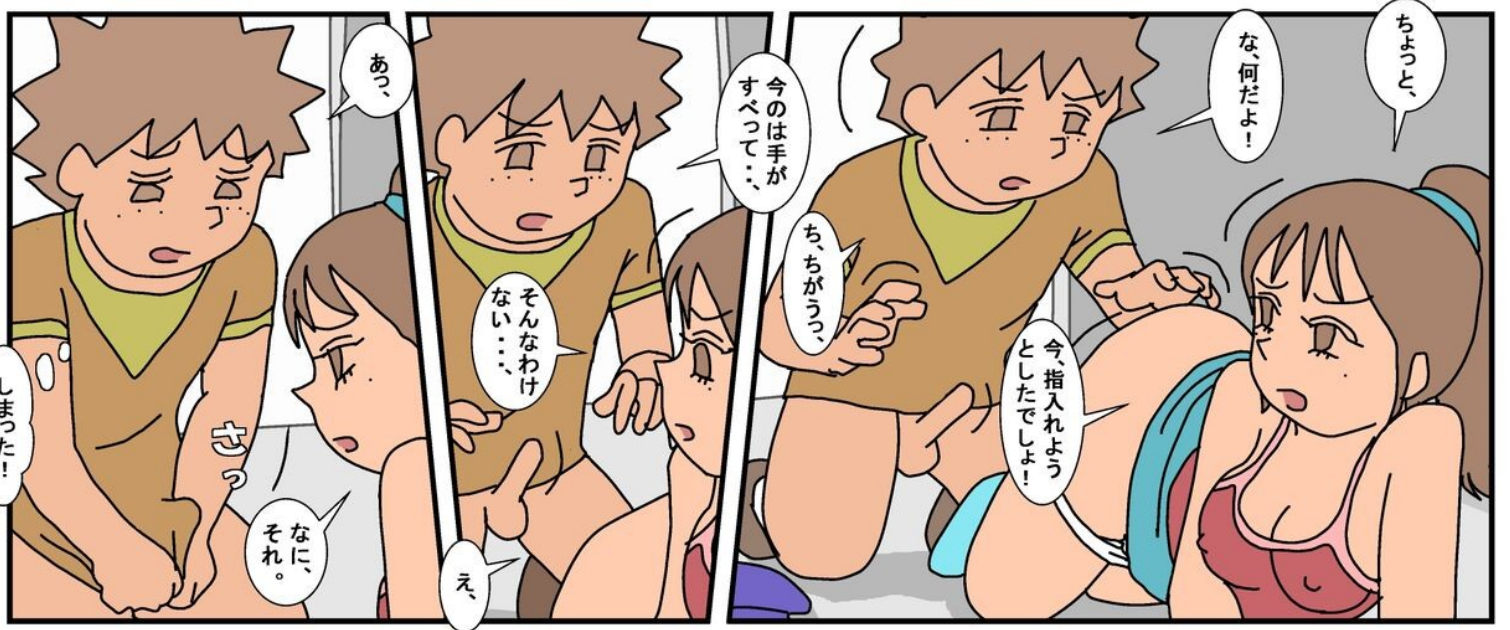
わかった
わよ！

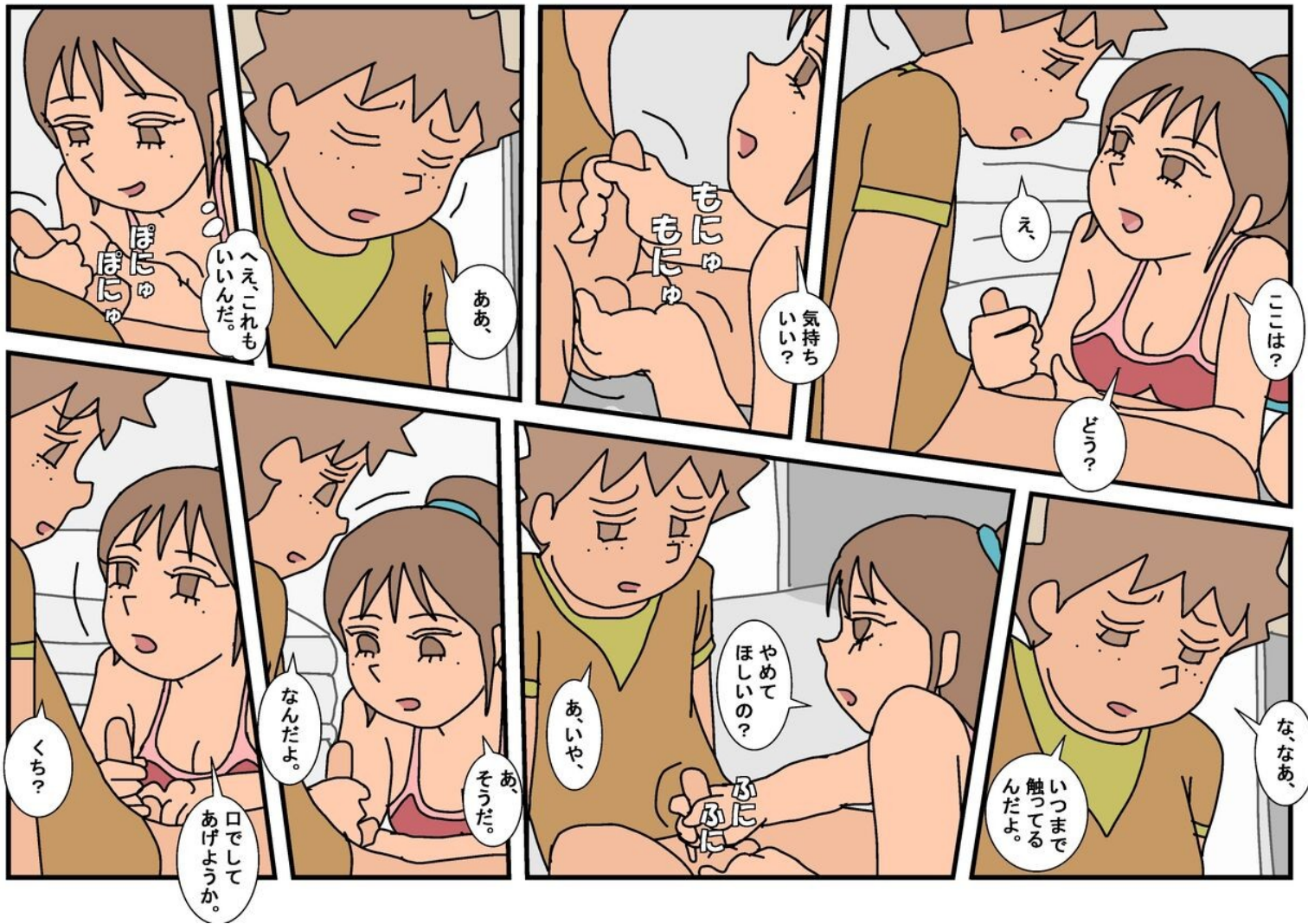
どければいい
んでしょ！

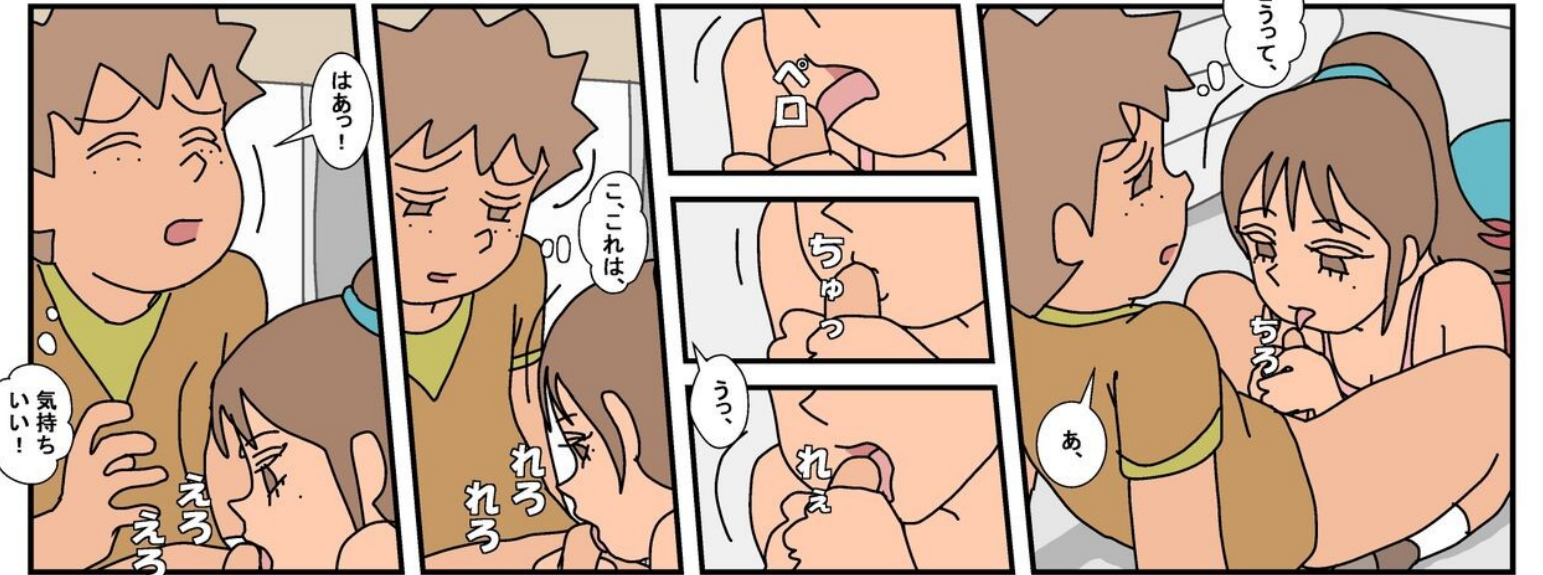
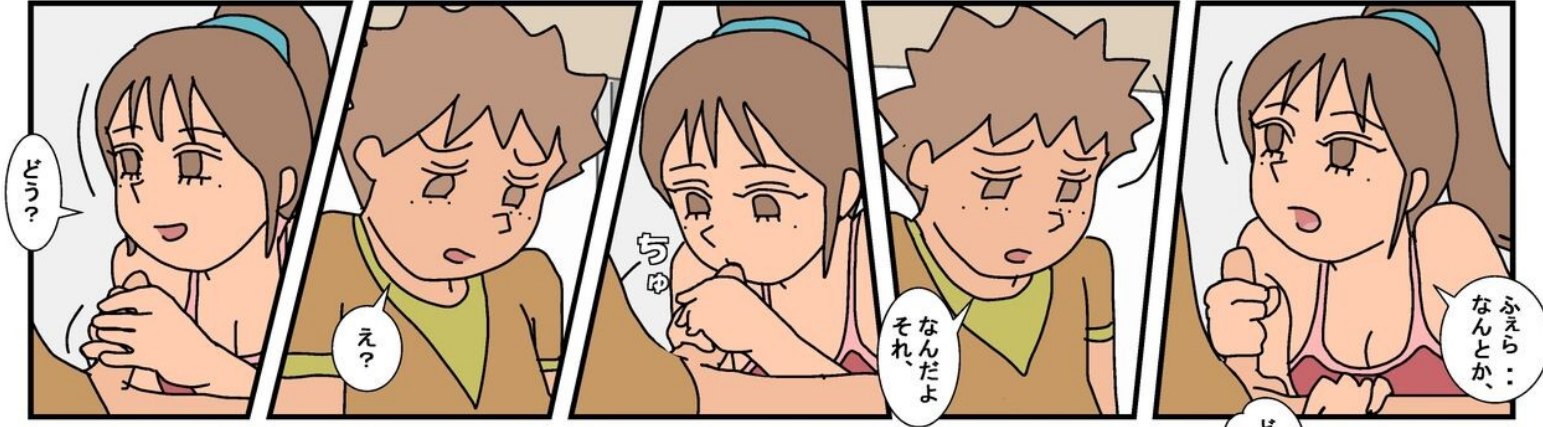
ち、ちがう
わよっ！
じゃあ、手を
どけろよ！

ま...ま...ま...









気持ち
いい!!

れろ
れろ

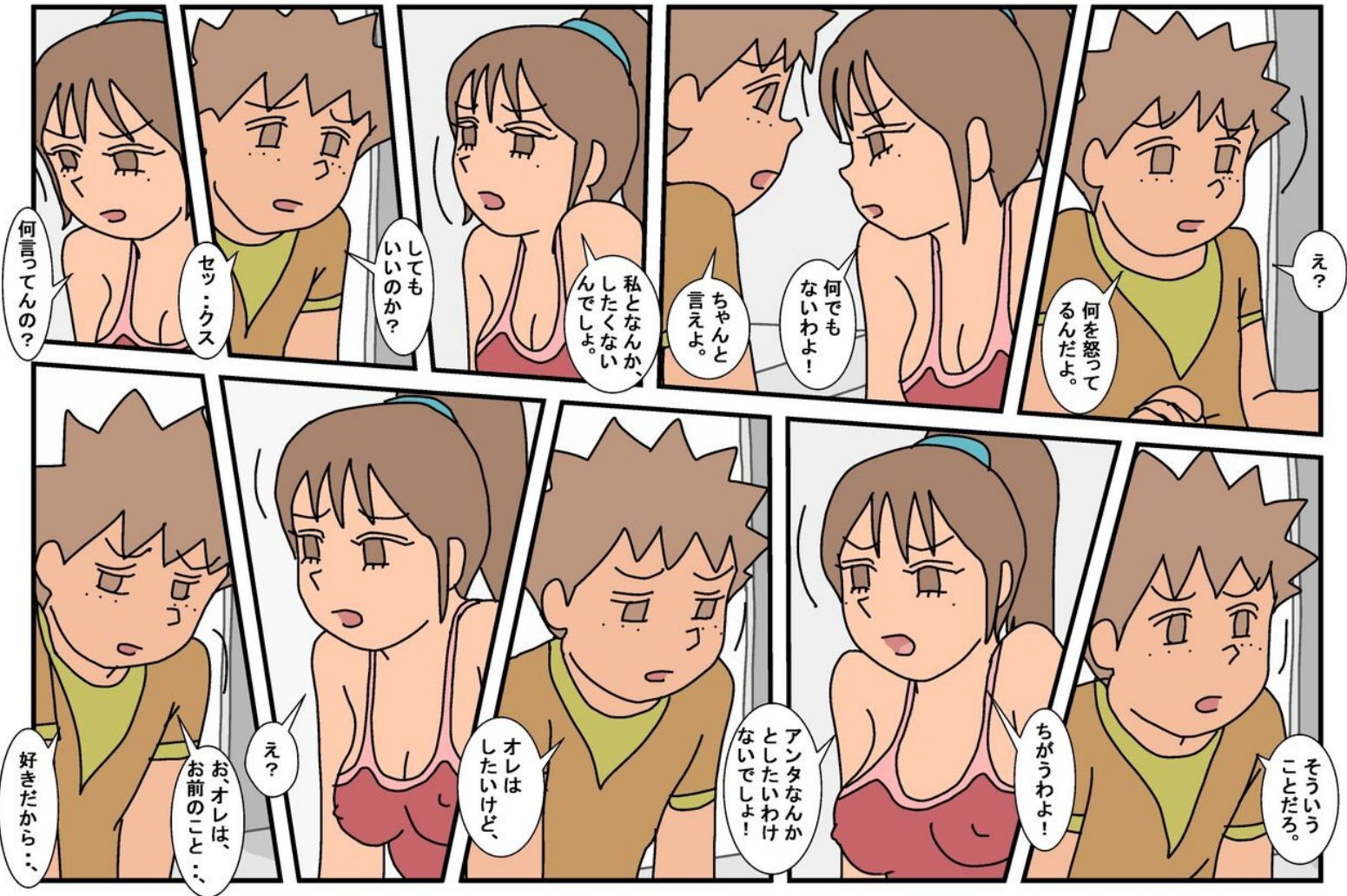
れろ
れろ

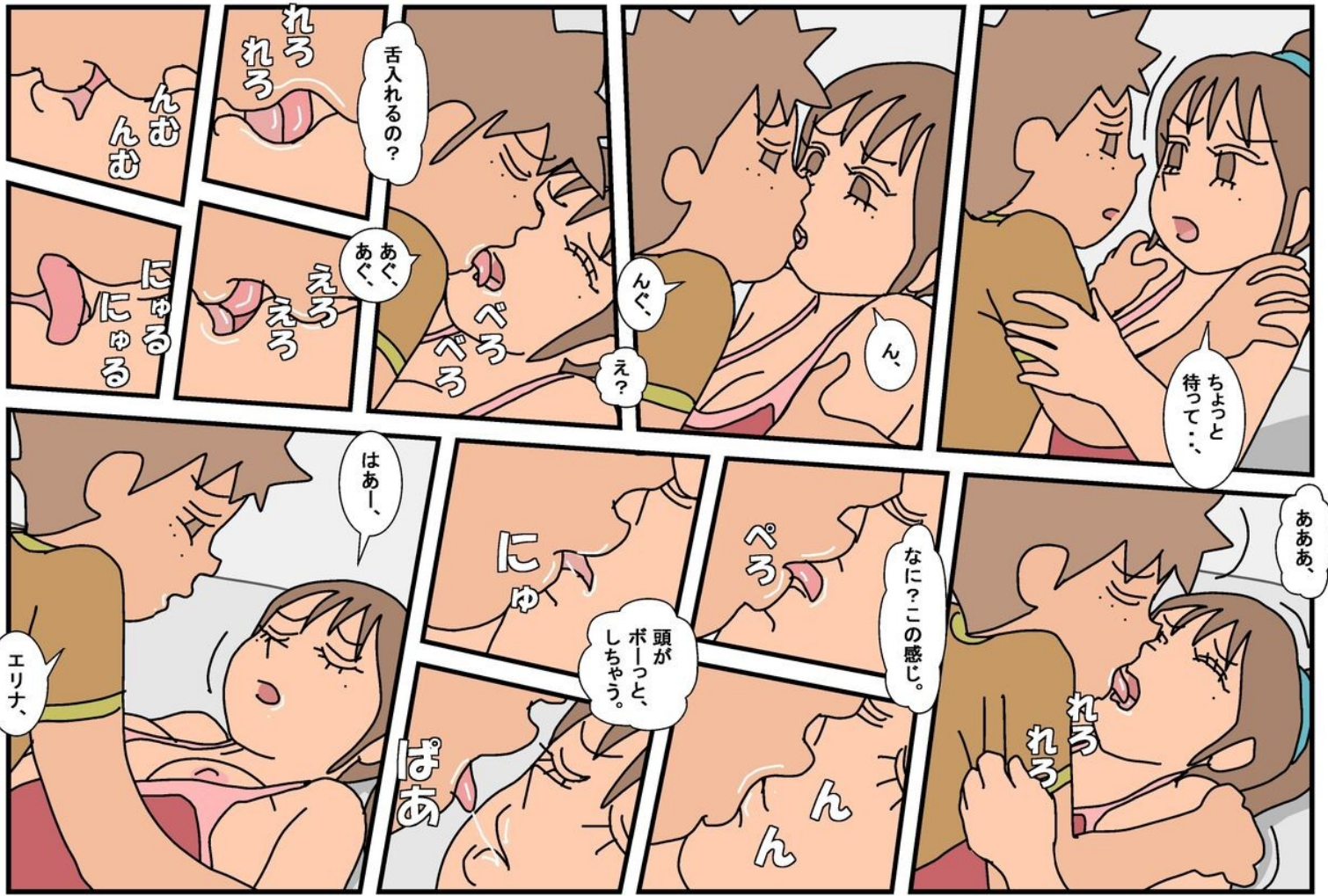
うっ
れえ

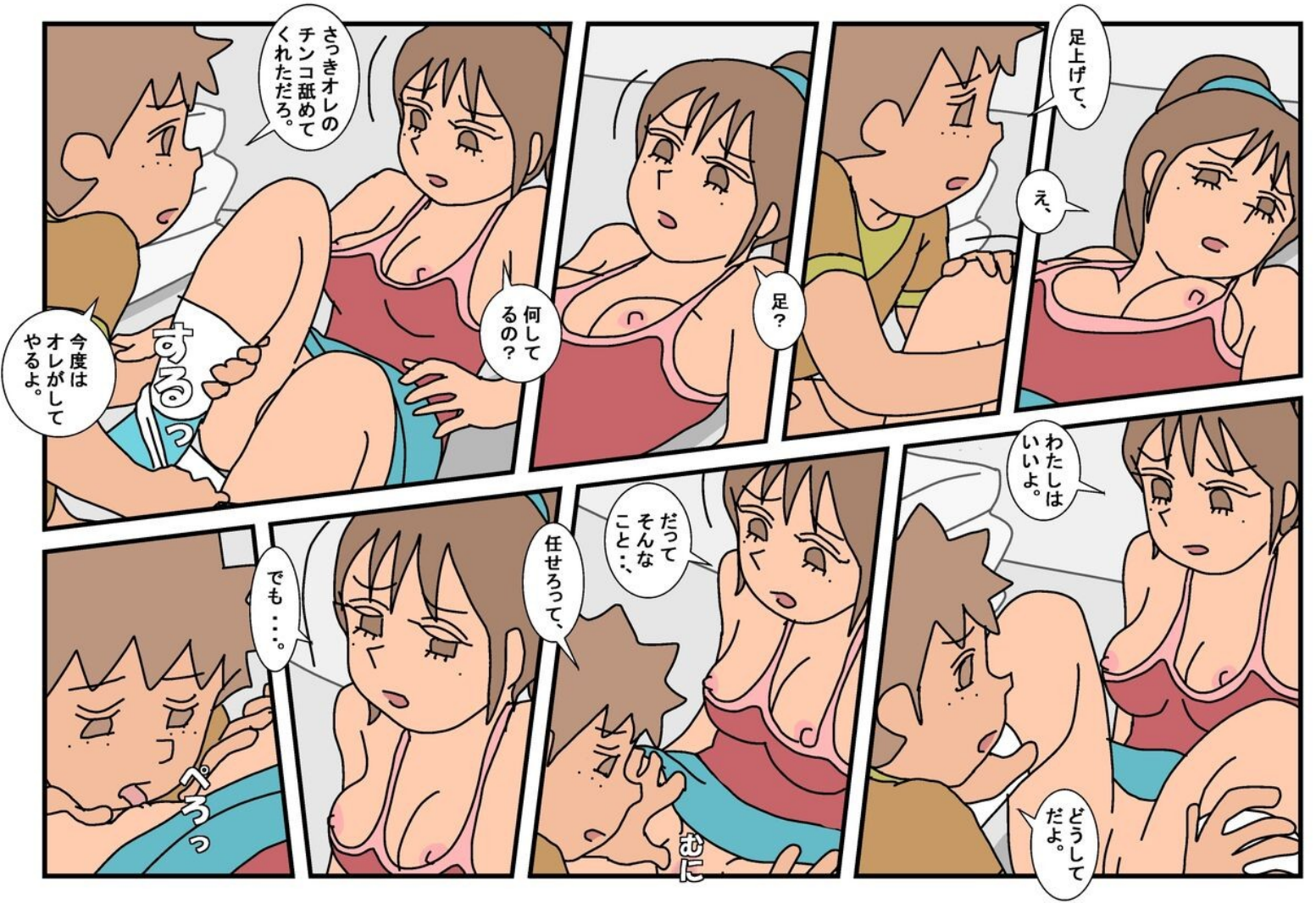
ちゅっ
ちゅっ

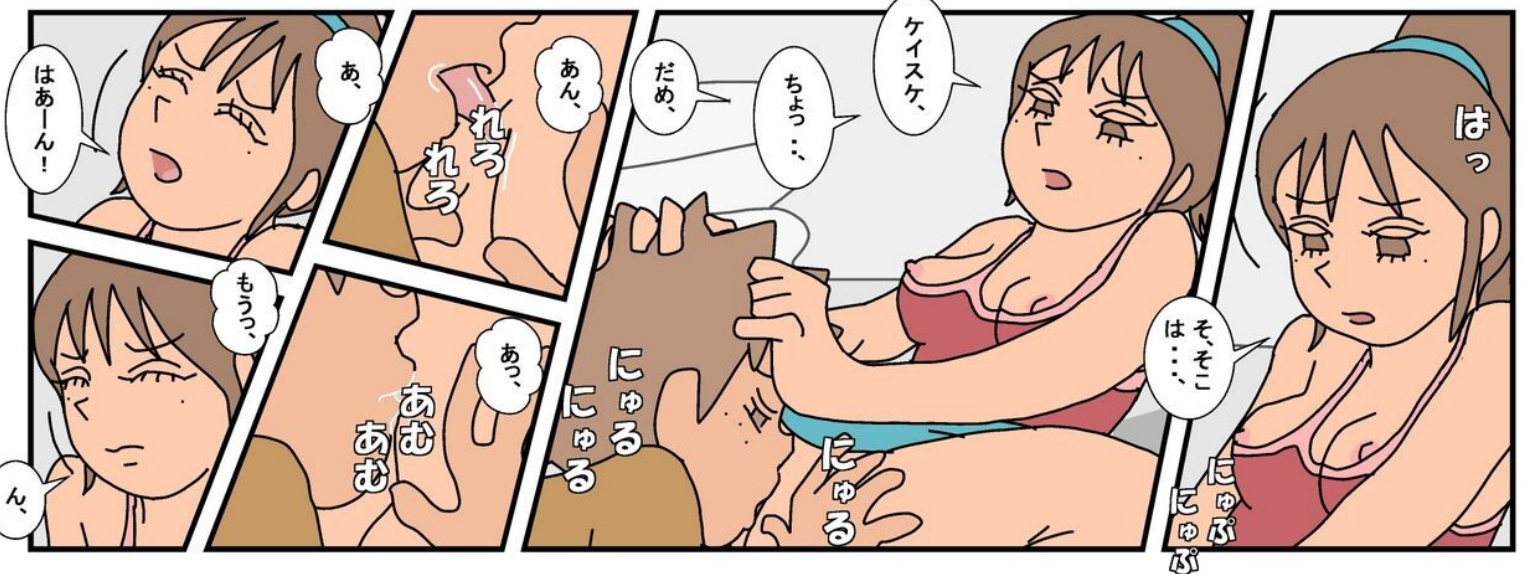
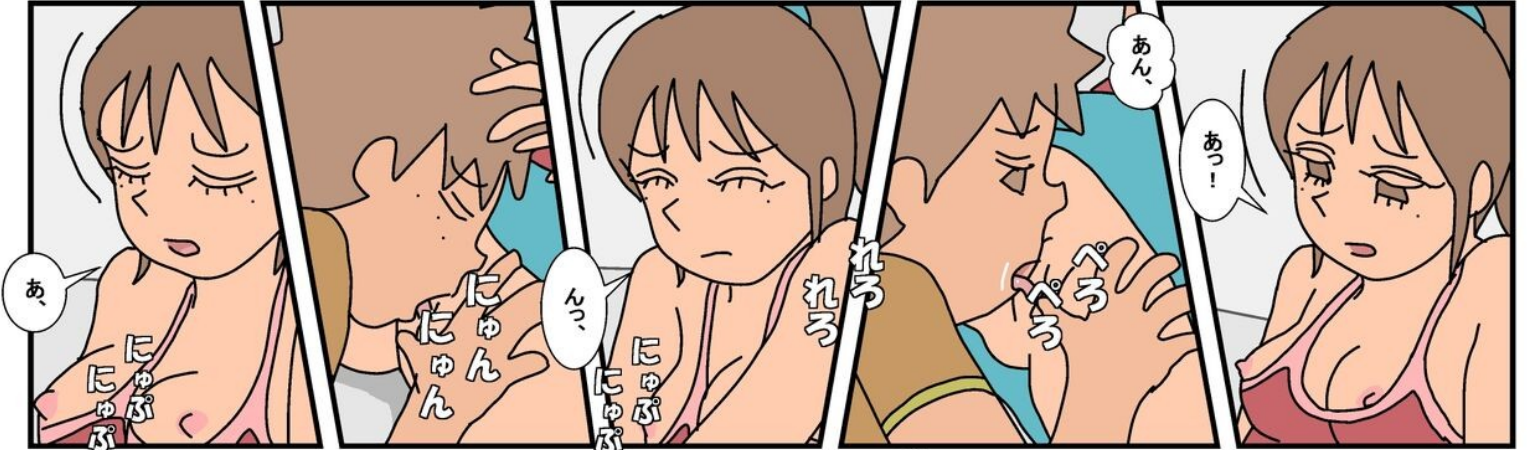


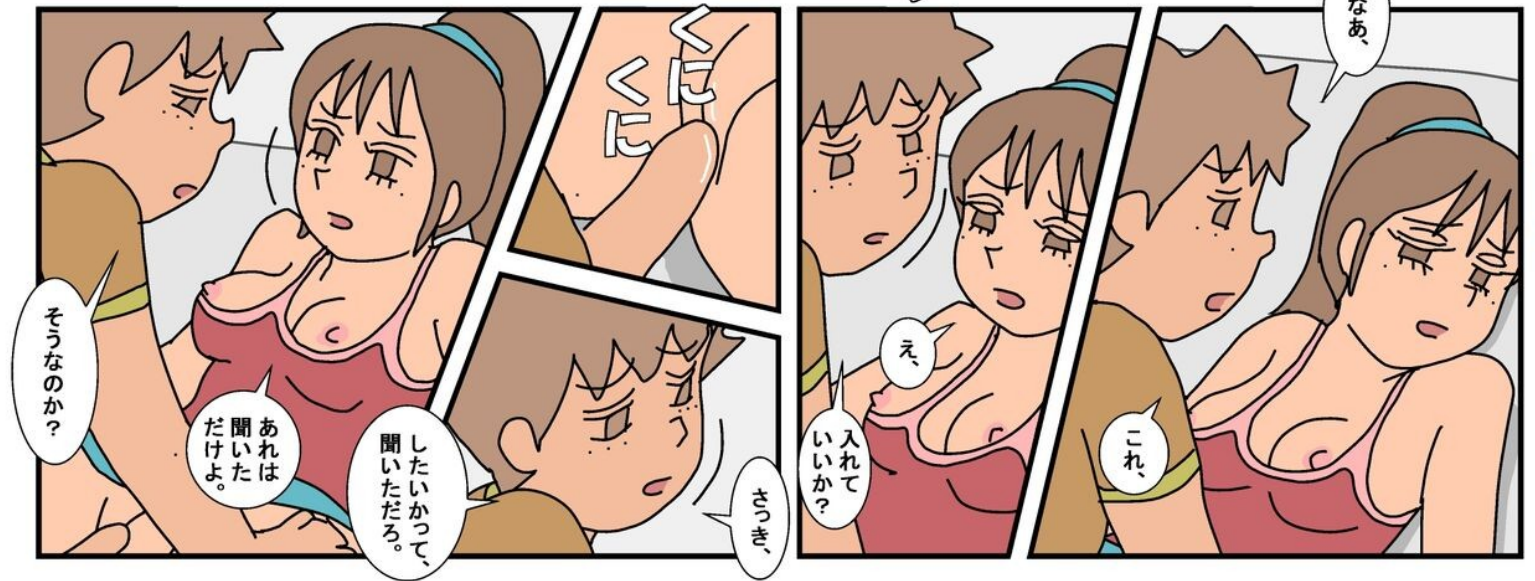


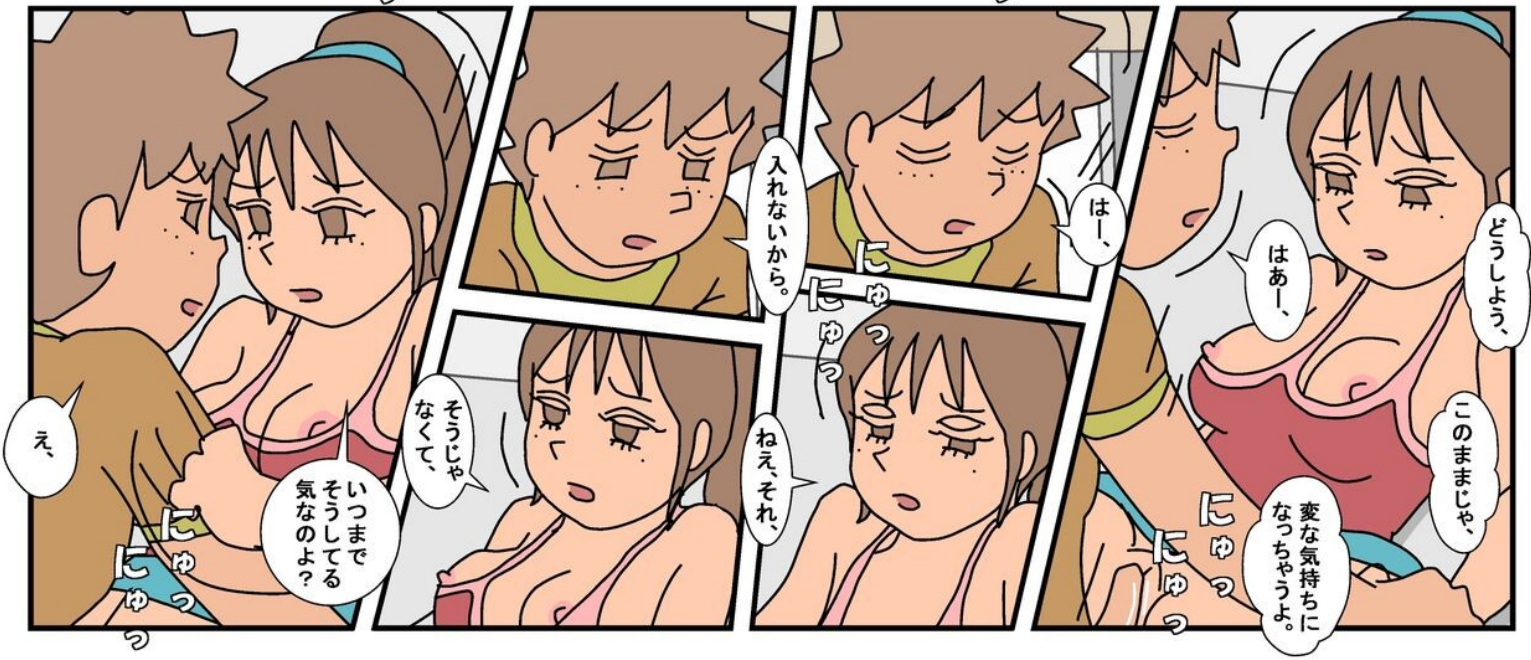
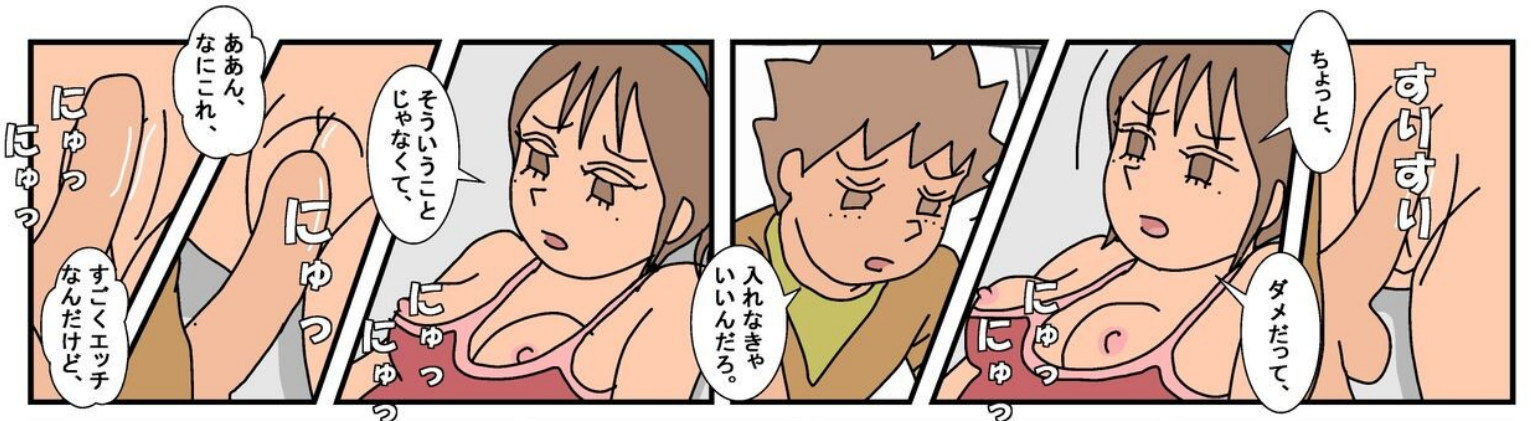


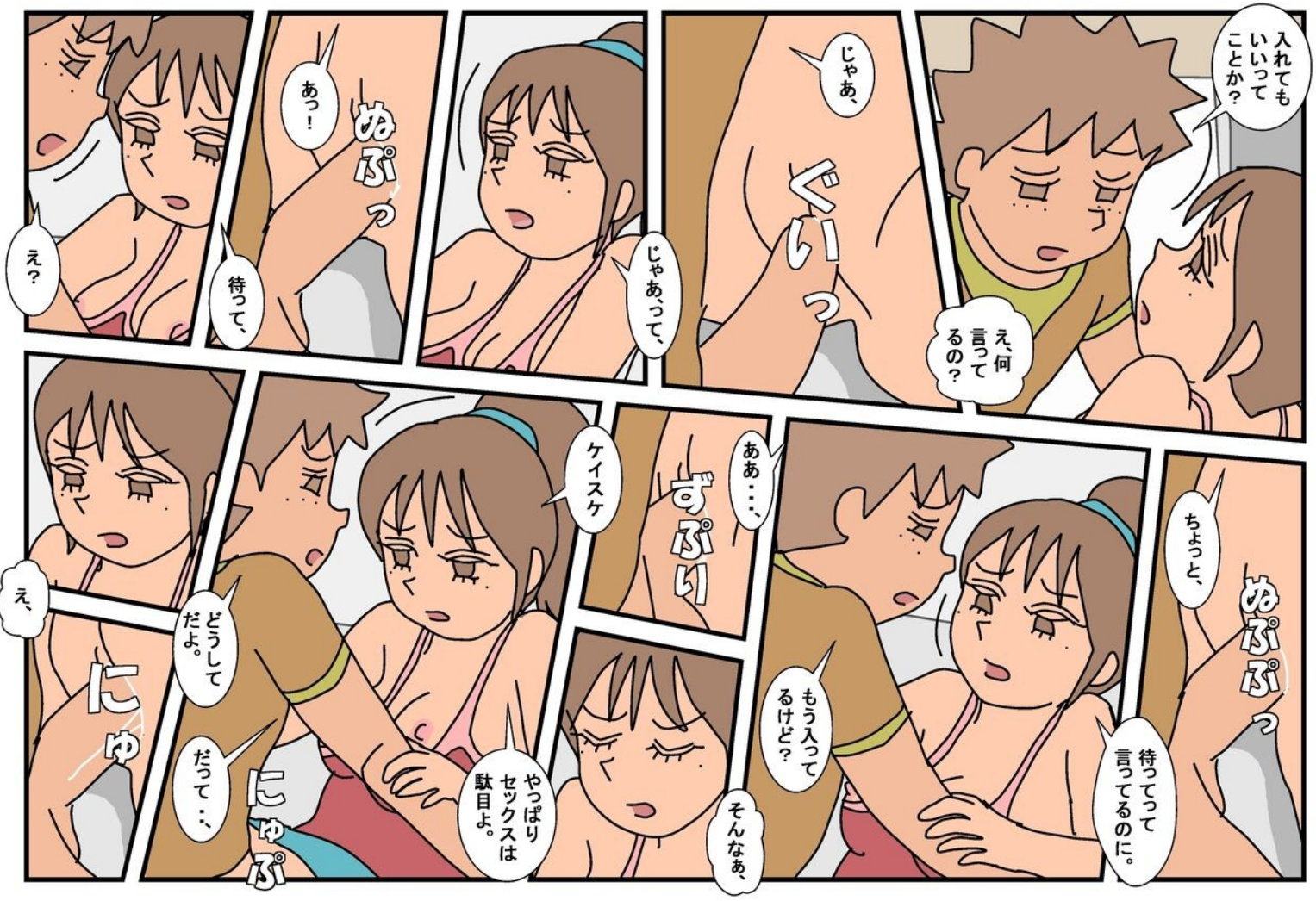


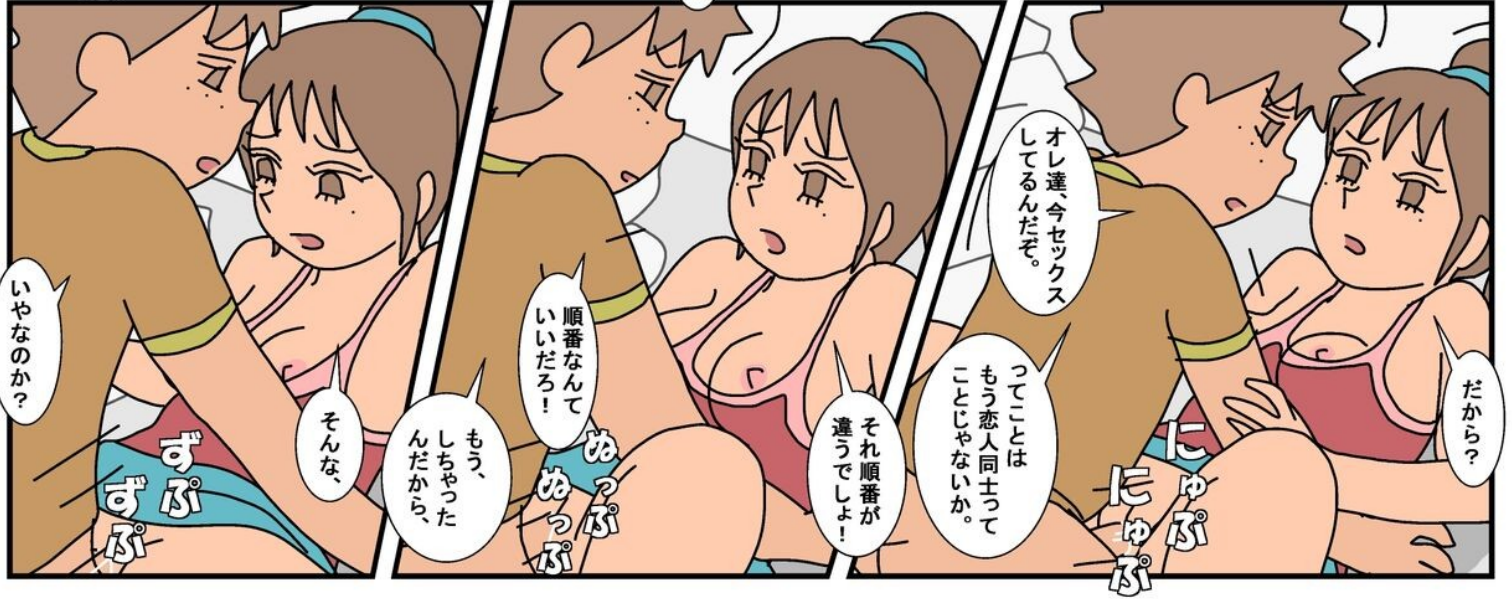
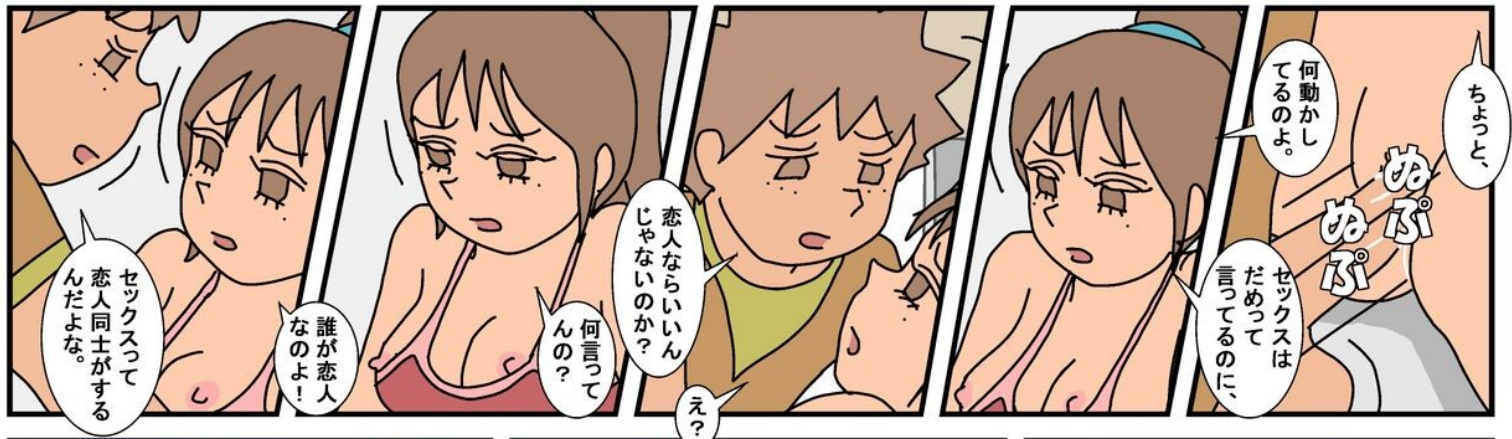


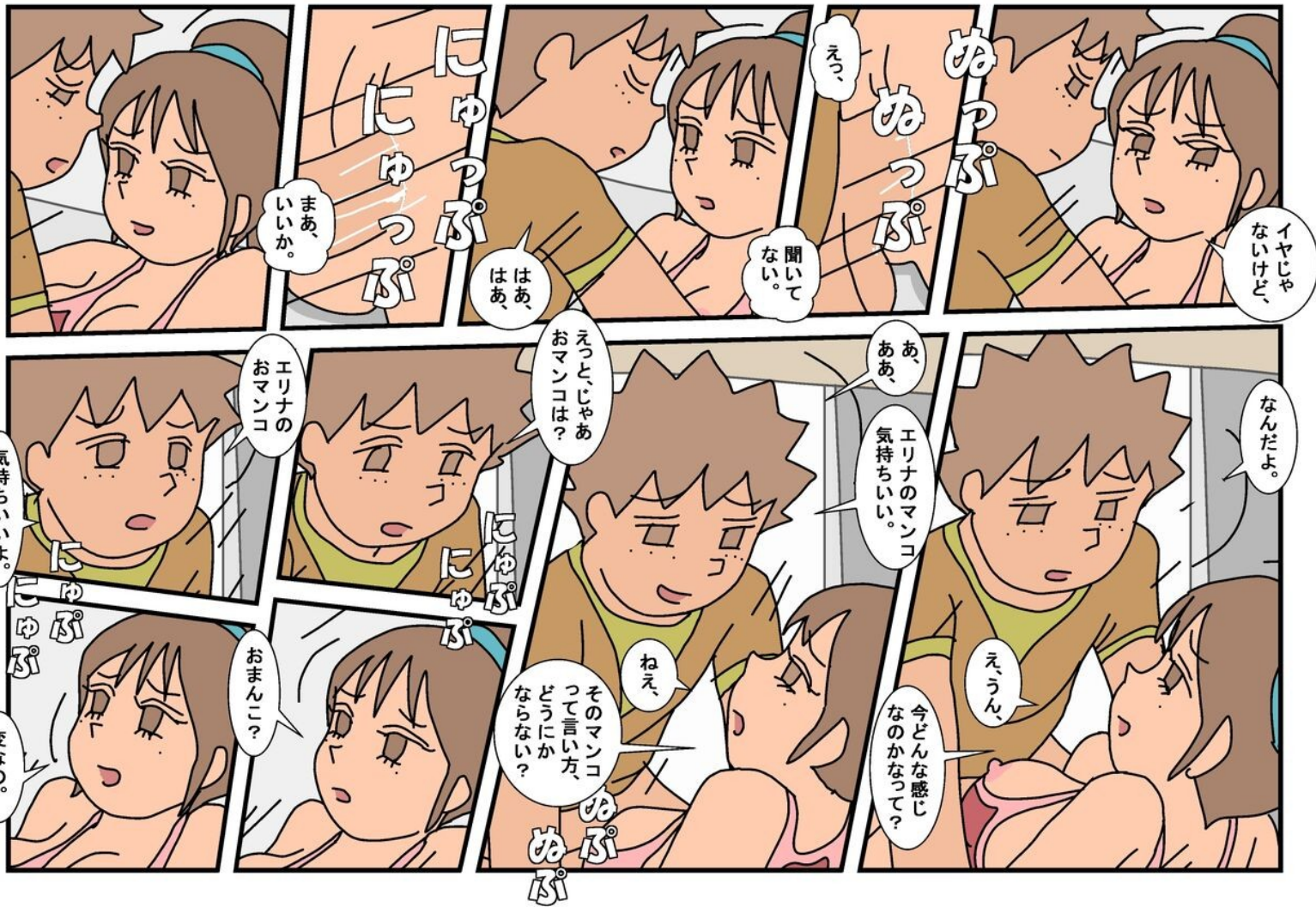


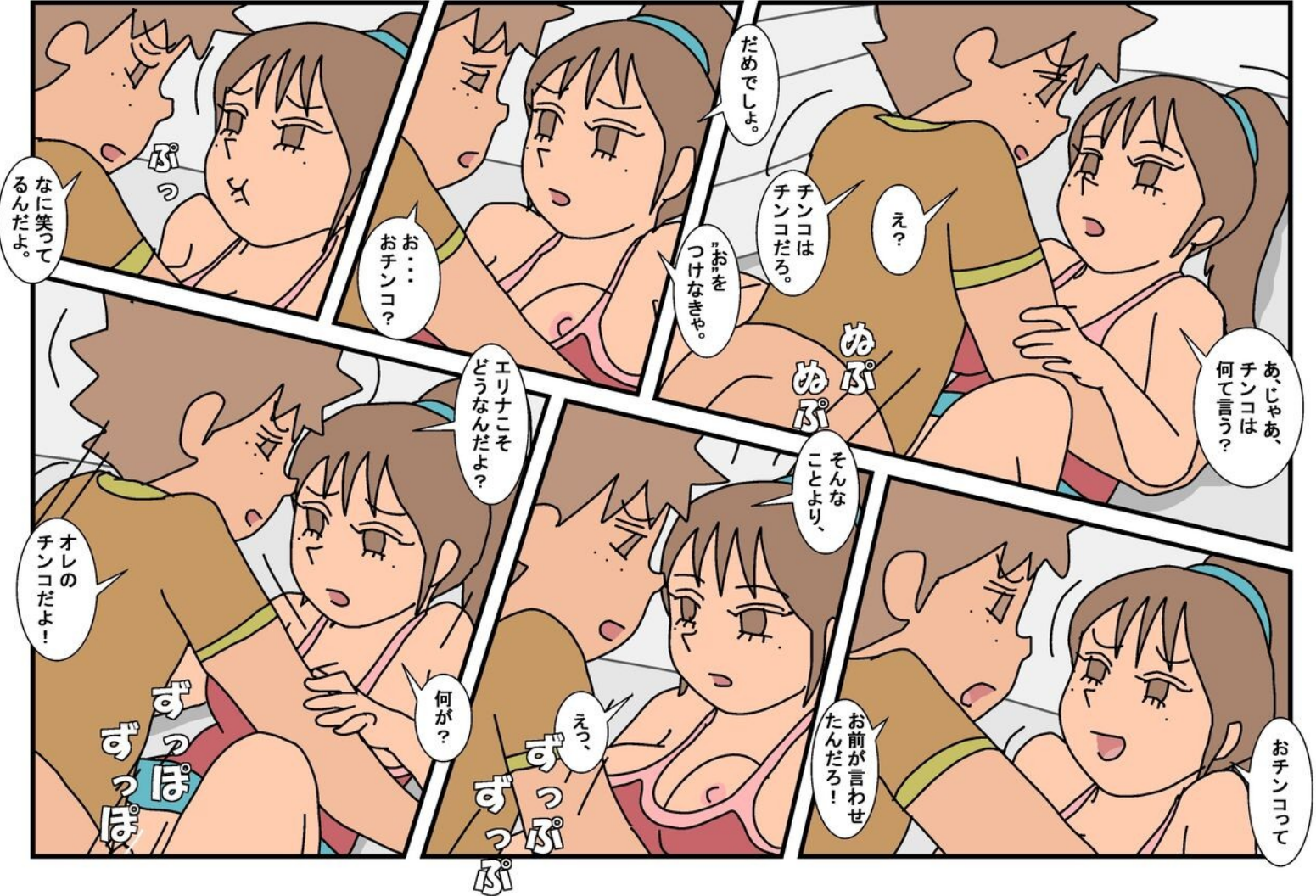












なに笑って
るんだよ。

ぽ

お..
おチンコ??

だめですよ。

チンコは
チンコだろ。

え?

おを
つけなきや。

あ、じゃあ、
チンコは
何て言う??

ぬび
ぬび

そんな
ことより、

エリナこそ
どうなんだよ?

オレの
チンコだよ!

ずっぽ
ずっぽ
ずっぽ

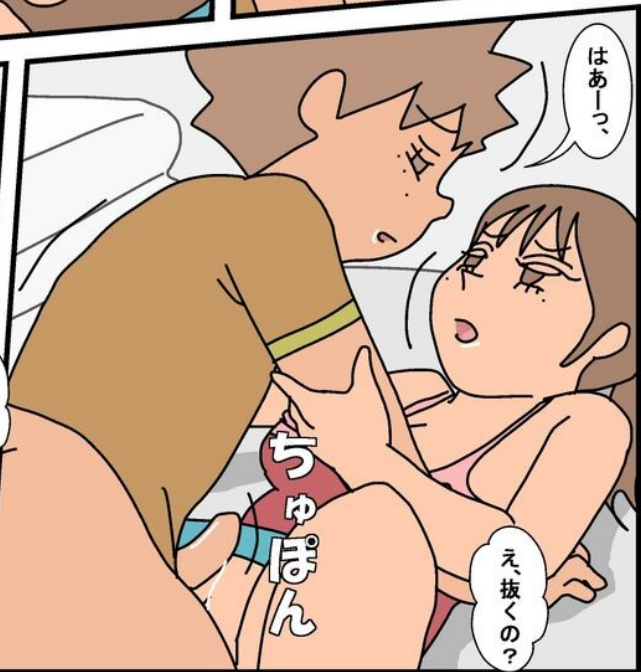
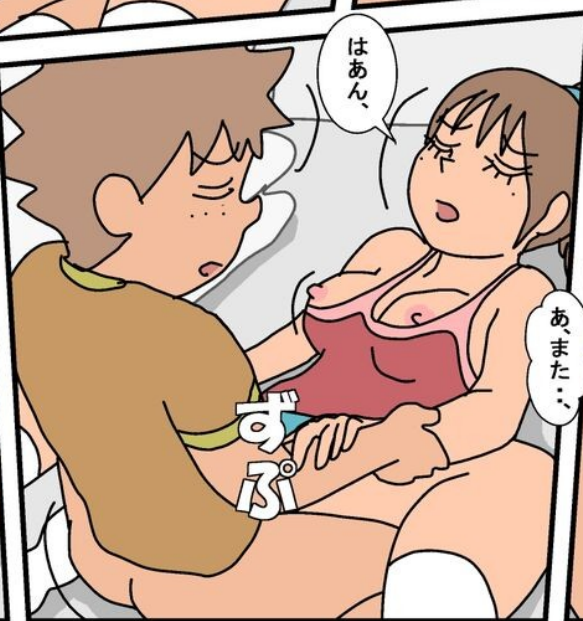
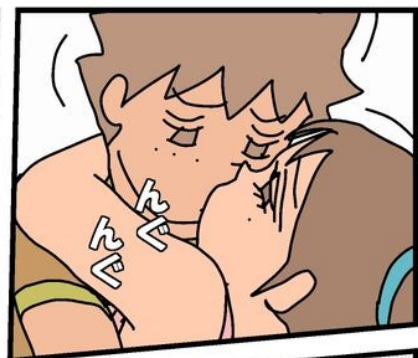
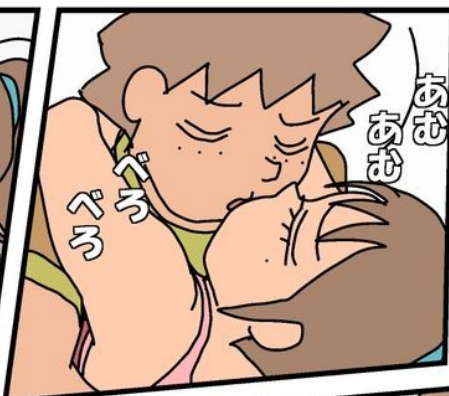
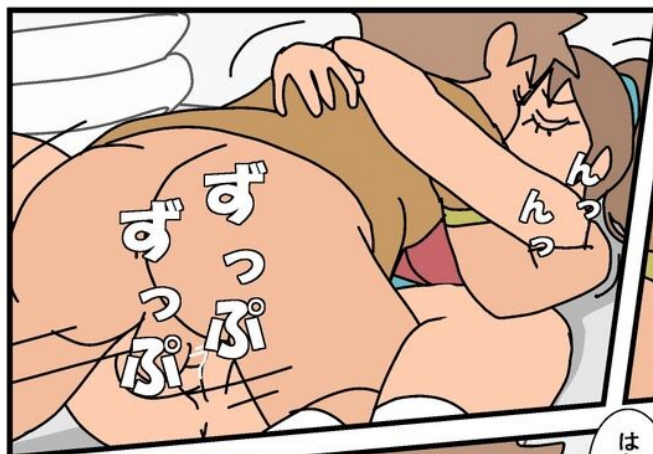
何が?

えっ、
ずっぽ
ずっぽ
ずっぽ

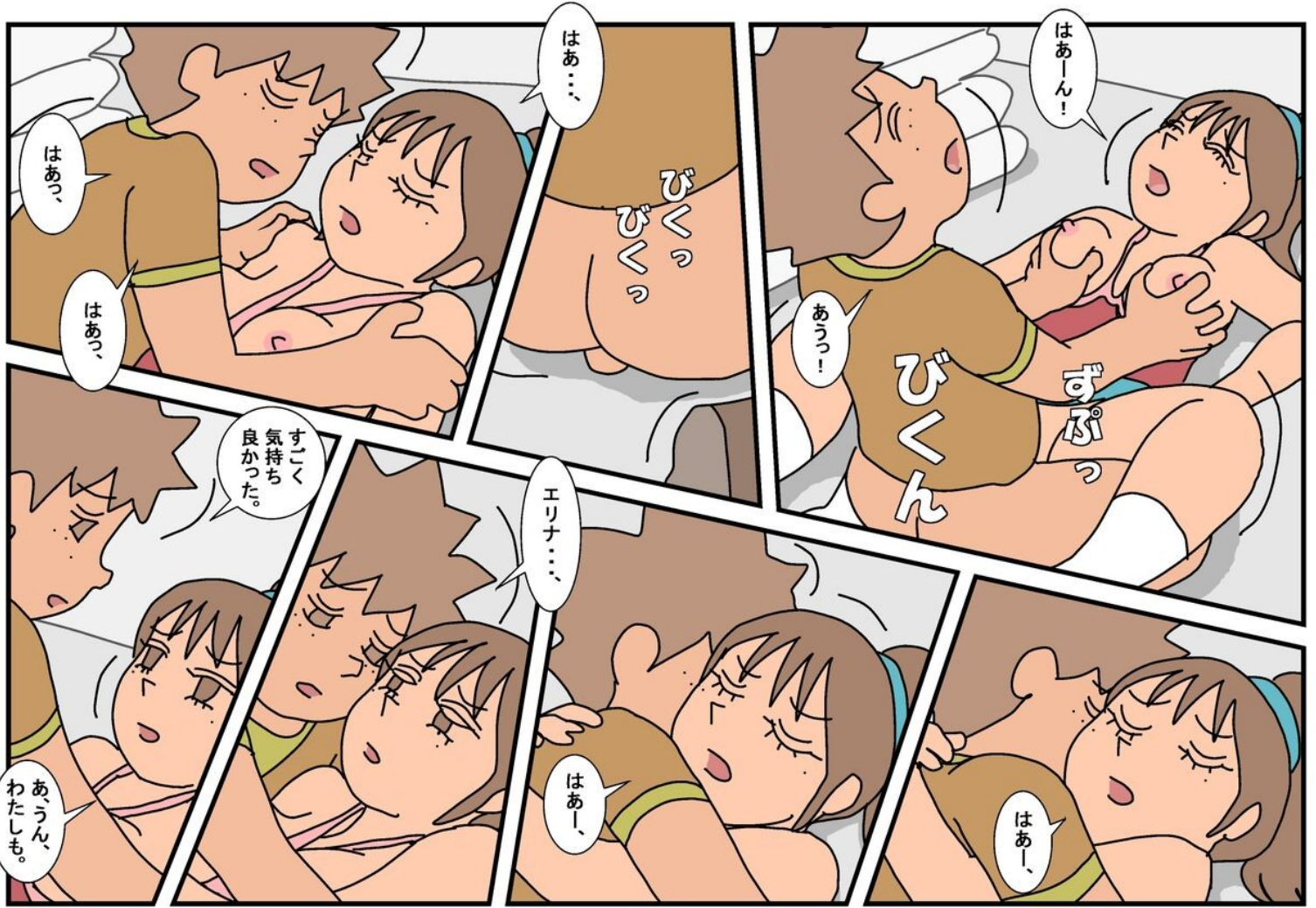
お前が言わせ
たんだろ!

おチンコって





あ、また…



はあ...

はあっ

はあっ

びくん
びくん

はあーん!

あうん!

びくん

ずびっ

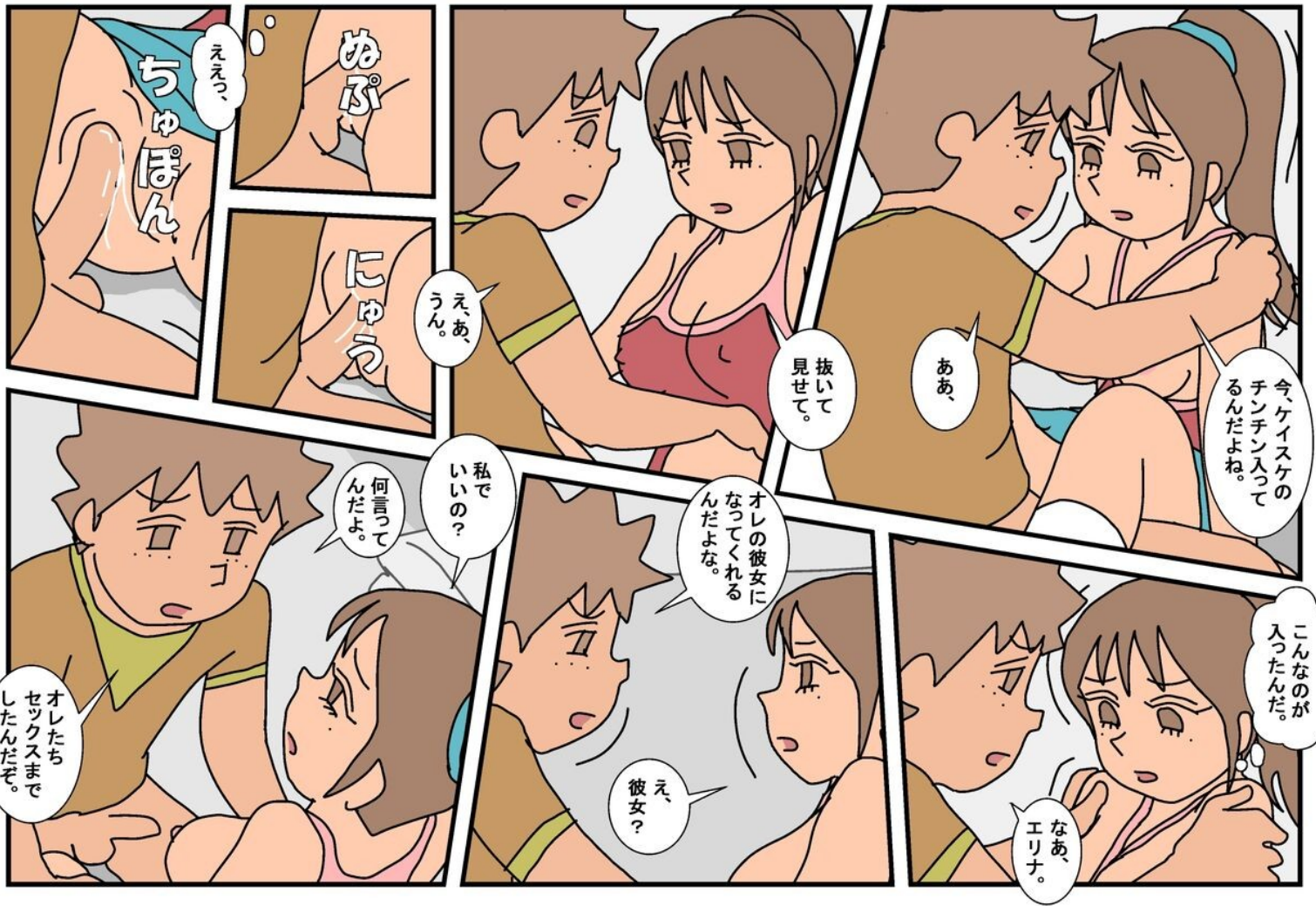
すごく
気持ち
良かった。

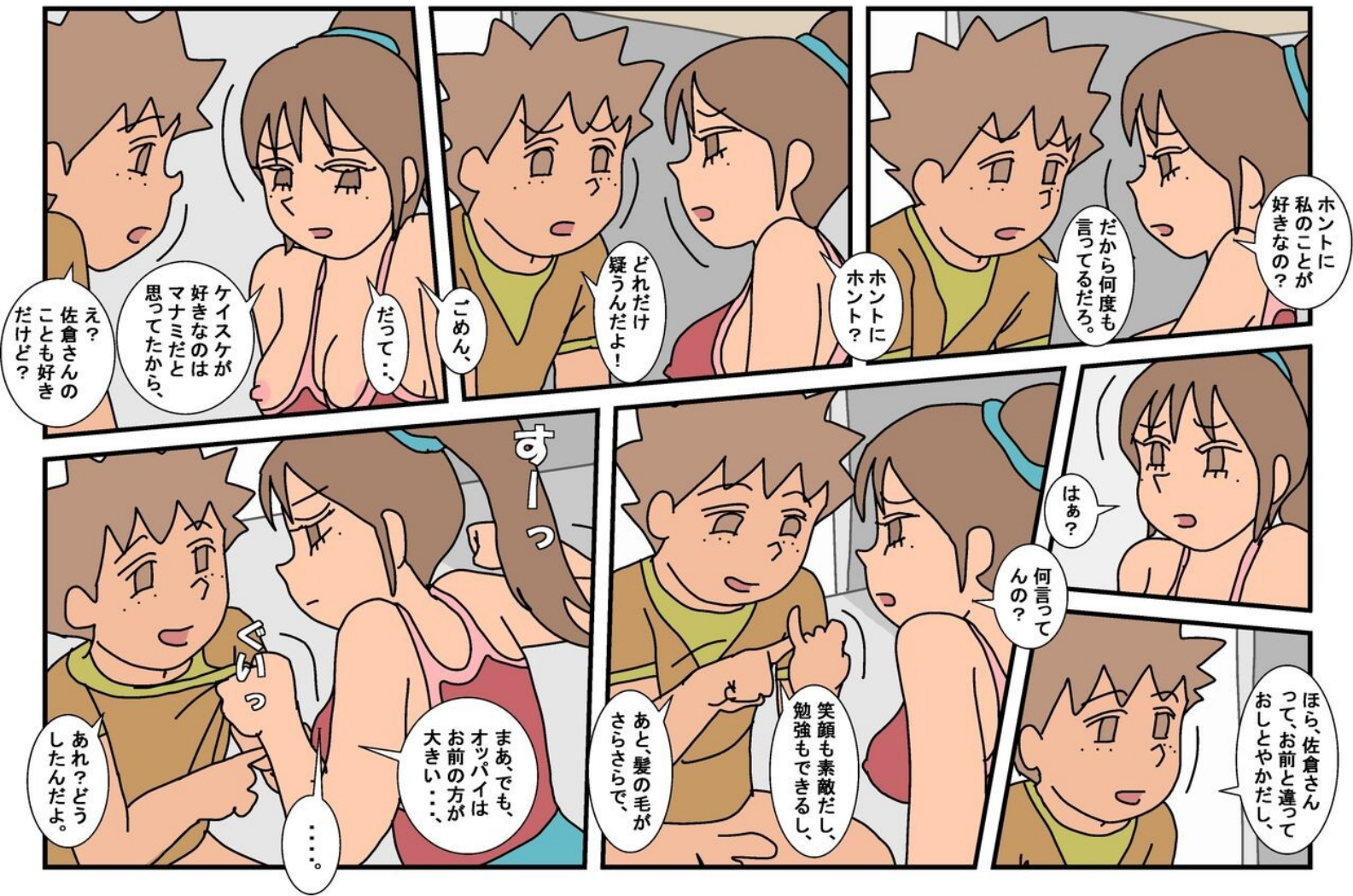
エリナ...

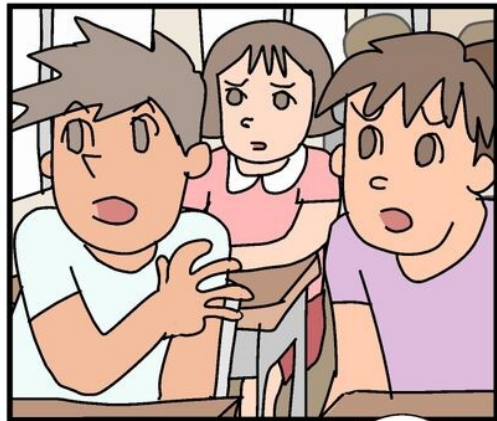
はあー

はあー

あうん、
わたしも。







よし、委員と係はこれで決まったと、

じゃあ、次は...

失礼します。

ガラス

これはひどいな。

どんな転び方したんだ。

百瀬頼んだぞ。

あれどう思う??

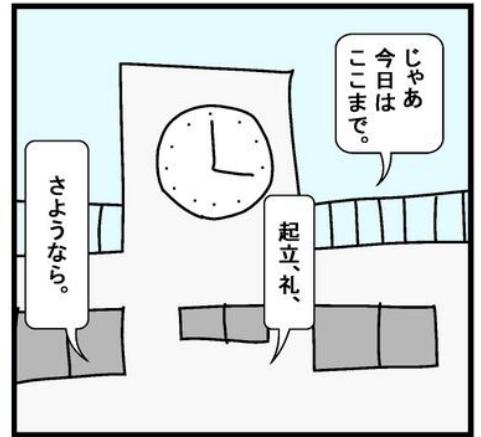
授業はいいからすぐに保健室に行ってください。

さあ? 私は通りかかっただけなので...

榎木君が階段で倒れていたのを介抱しました。

本当にのこなんだかな?

いや、ちがう。だろ。





放っておいて
くれれば
よかったのに、

ごめんね、
わざわざ
送ってくれて。



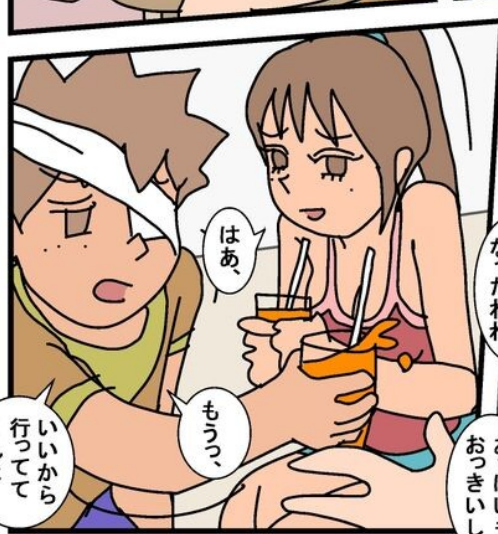
ふん、じゃ
ないだろ。

カチヤ



どうして
家まで上がっ
てんだよ。

おい、



はあ、

いいから
行って
くれよ!

もうっ、

キレイに
なったわね。

おっばいも
おっきいし、



それにしても
エリナちゃん

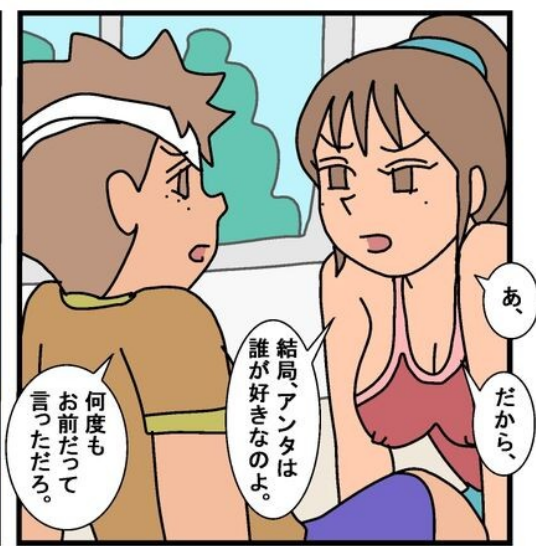
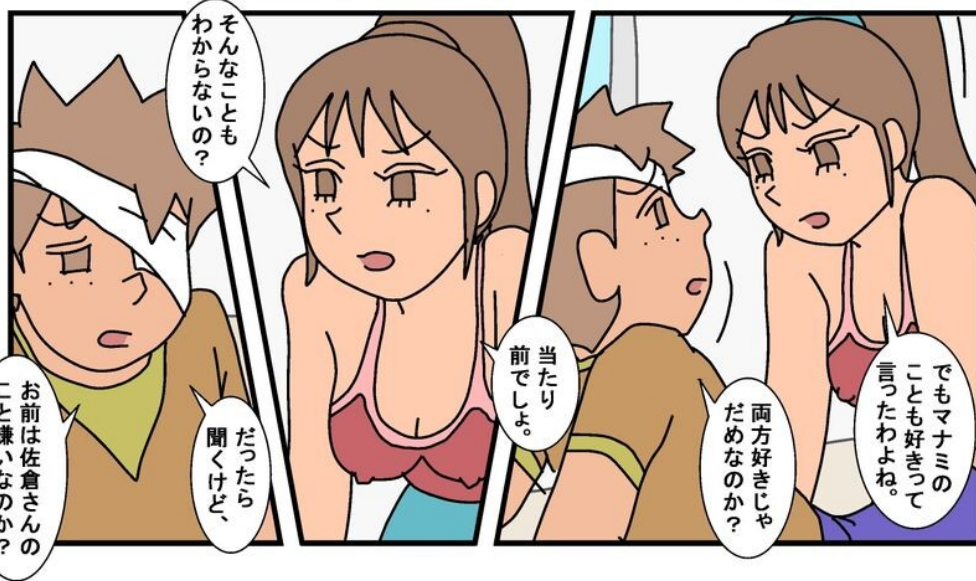
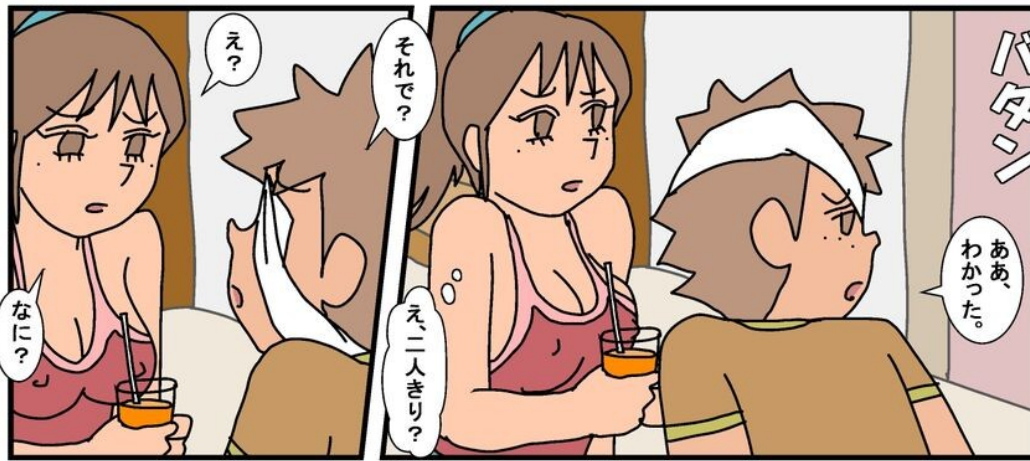


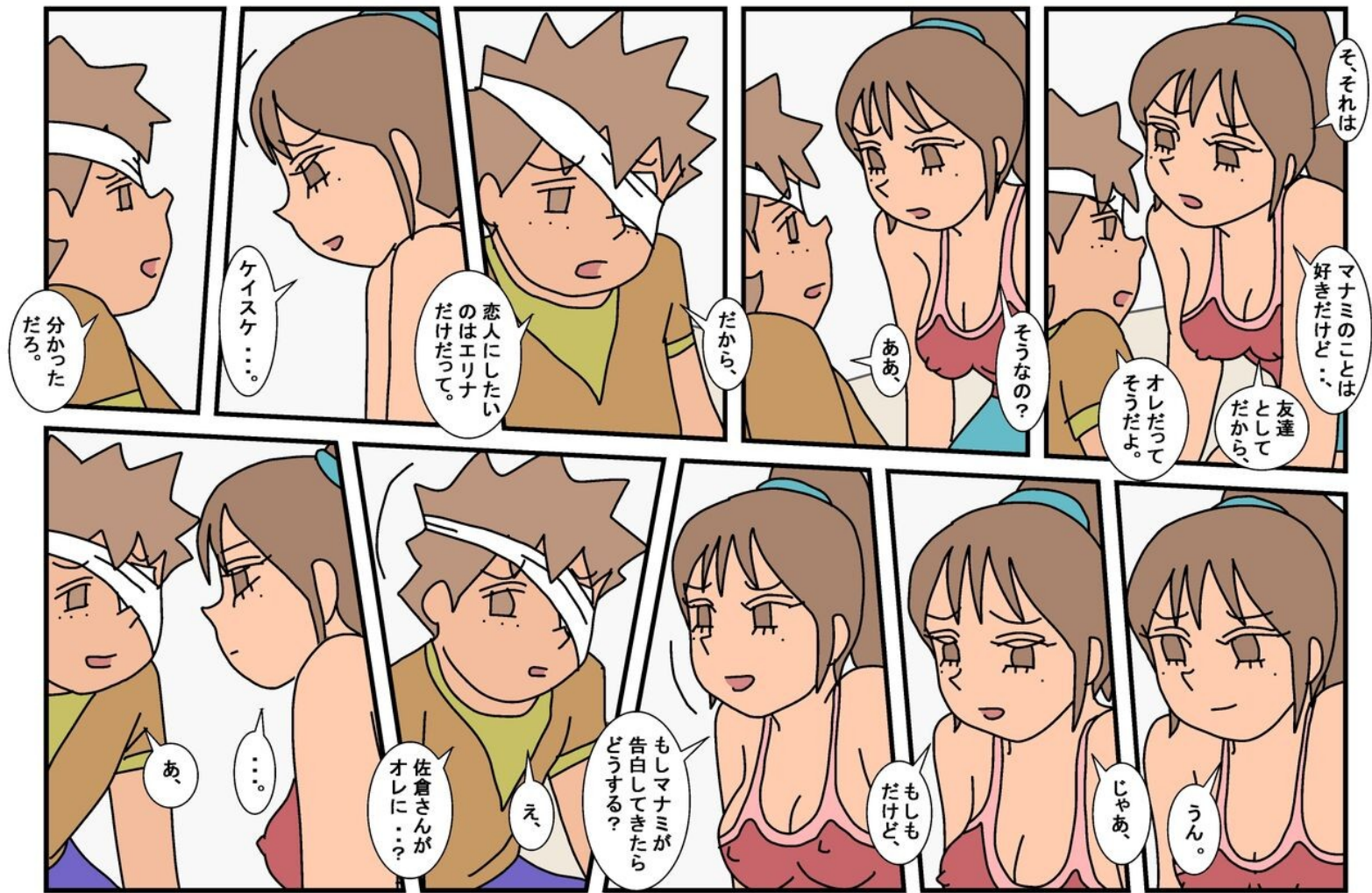
あ、どうも、

何決めつけ
てんだよ!

どうせまた
くだらない事して
転んだんでしょ。

はい、
どうぞ、









ただエロいだけじゃない。

そんなの、

これがお前のご好きって証拠だ!

どうだ、

私を見て?

お前のご好きって見たらこうなったんだ!

何してんのよ。

コレどうしてくれるんだよ。

えっ?

何言ってるんだよ!

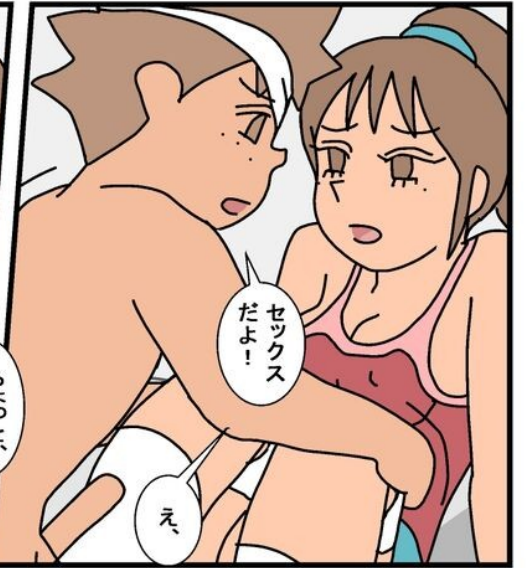
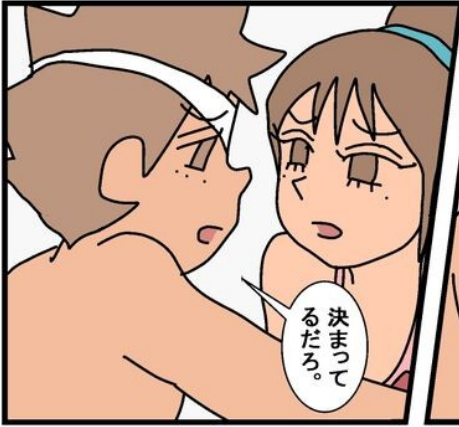
このまま穿けて言うのか?

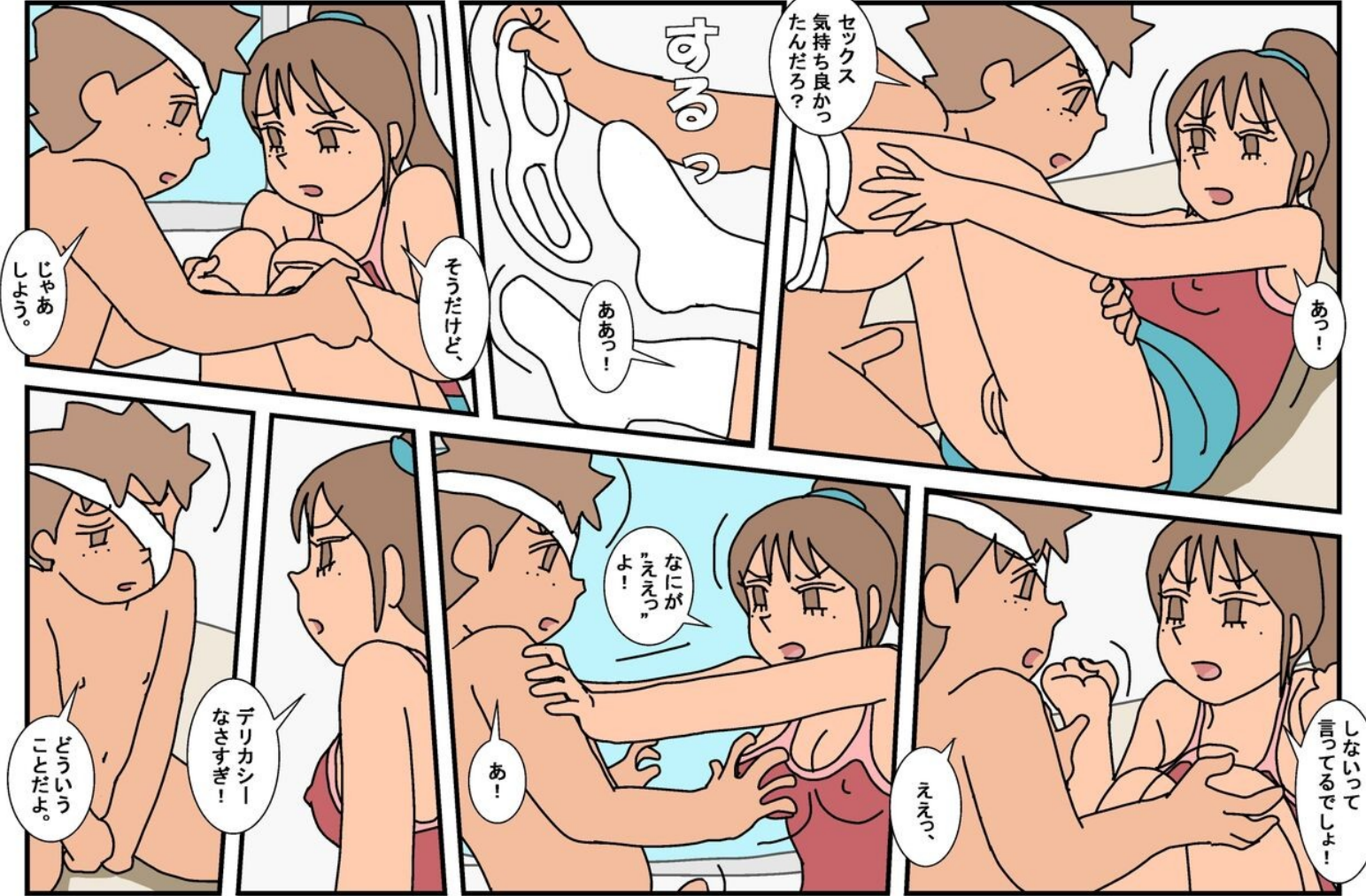
わかったわよ。

もういいからズボン穿いて。

あ、

エリナだからこうなるんだって。





じゃあ
しょう。
そうだけど、

すすっ
ああっ!

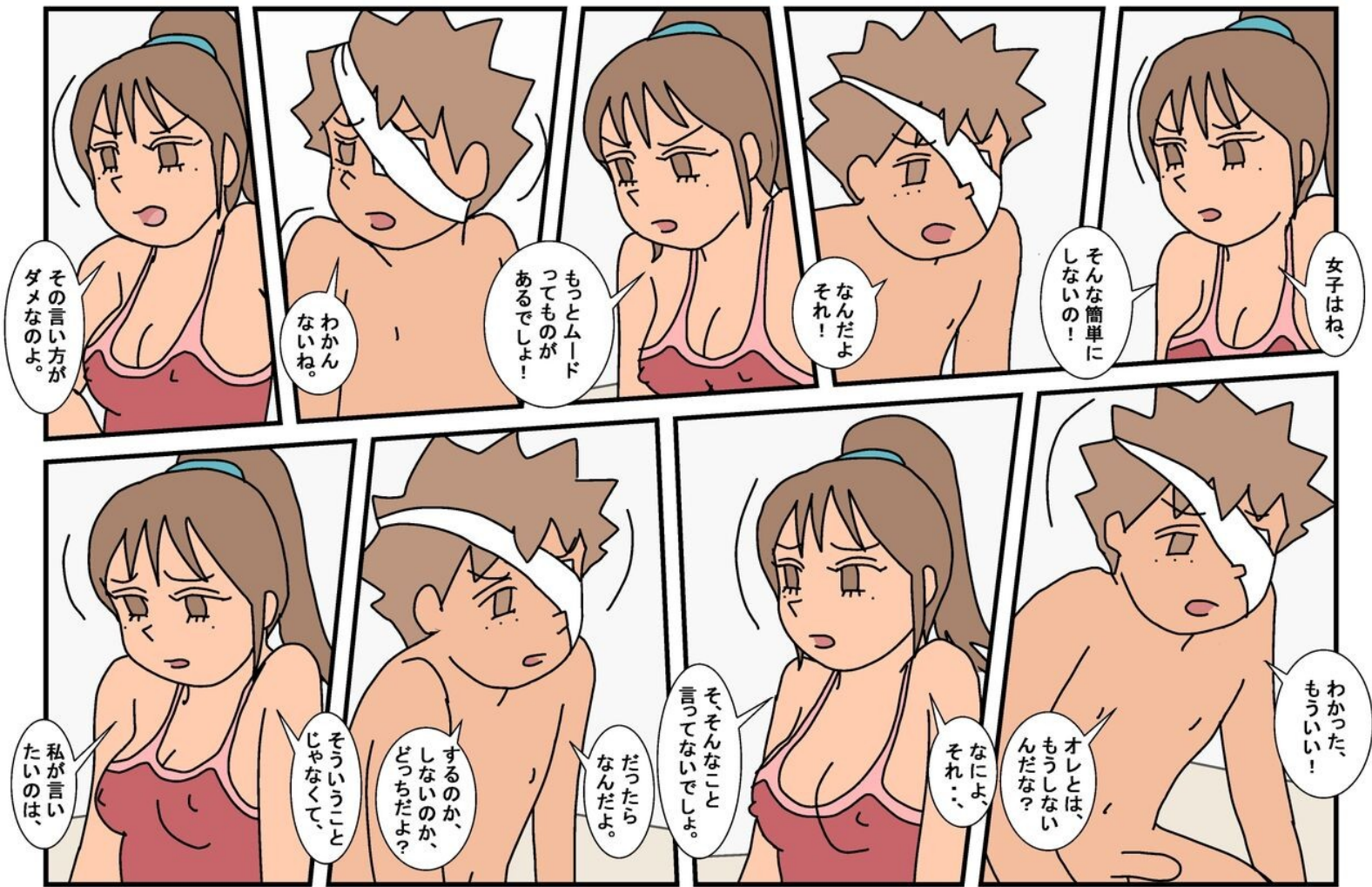
セックス
気持ち良かっ
たんだろ?
あっ!

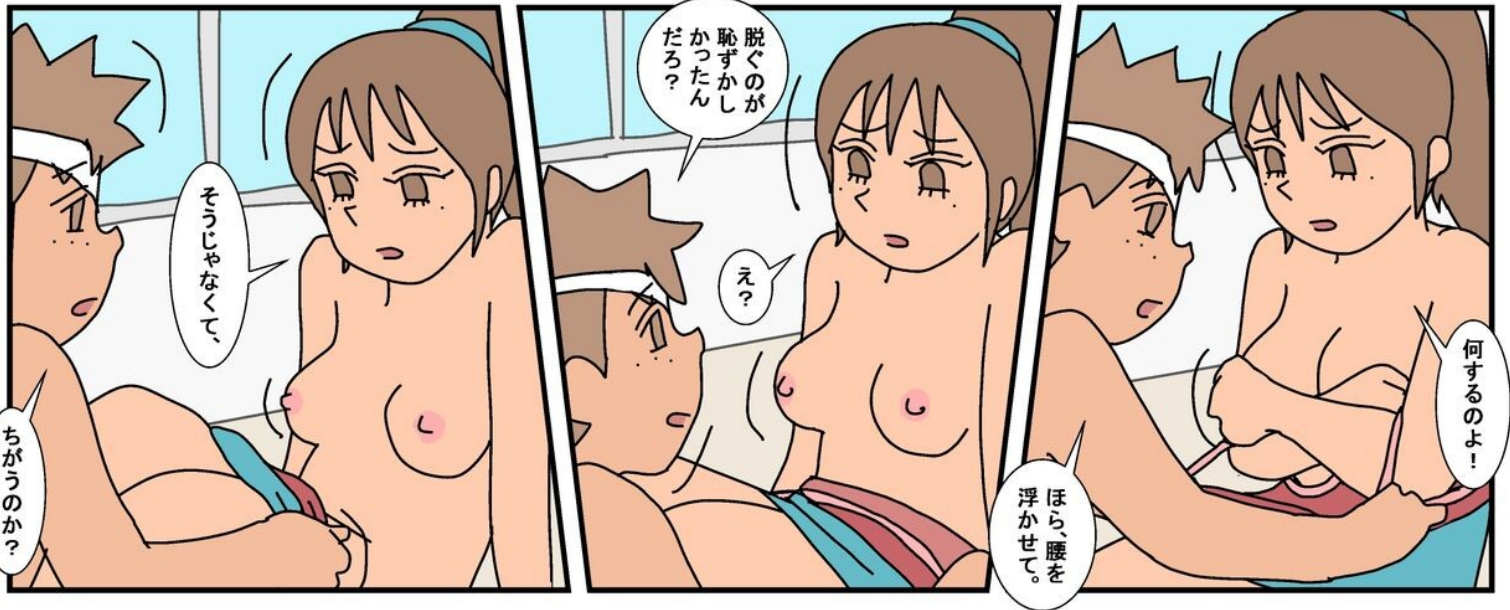
どうい
うことだ
よ。

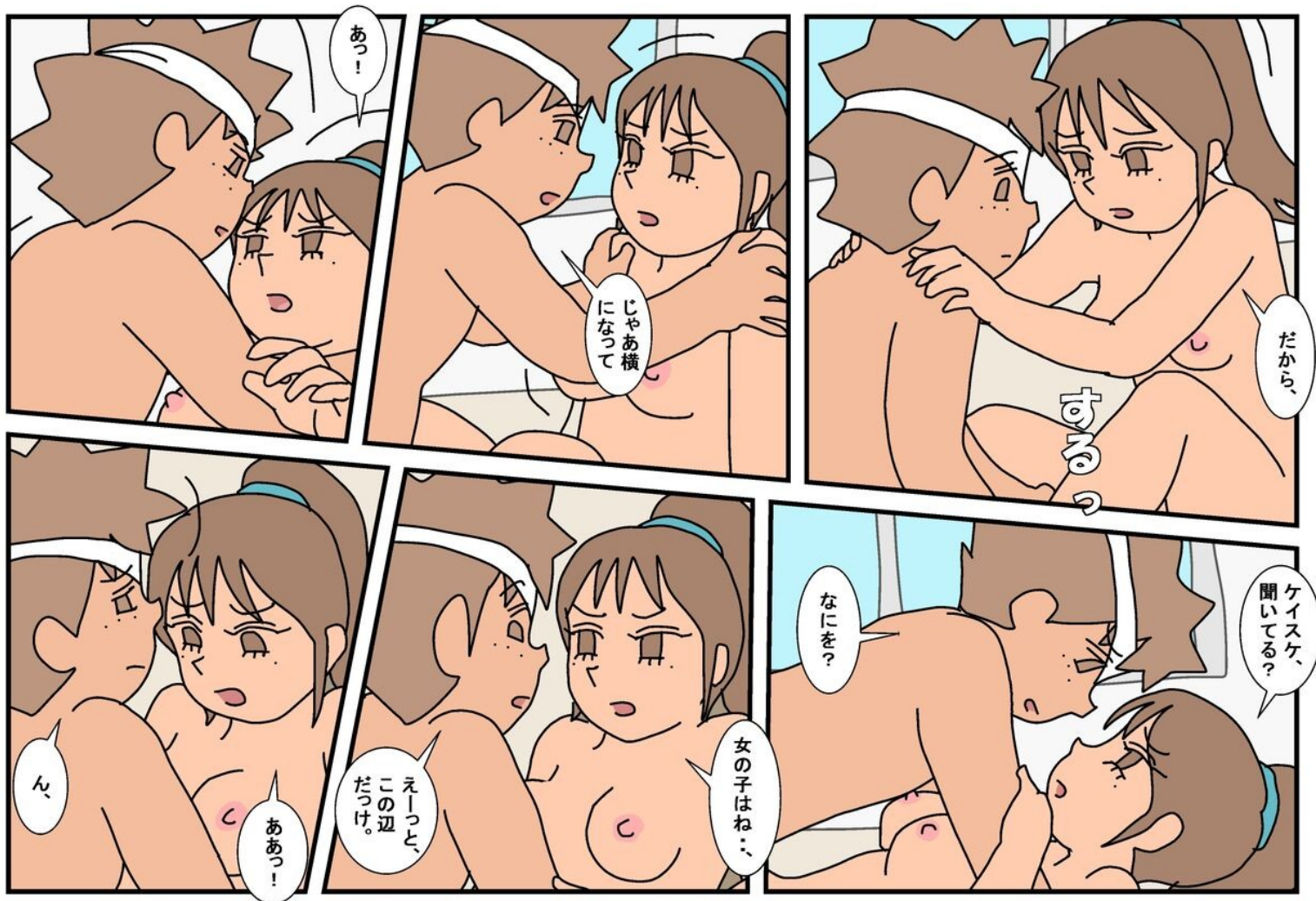
デリカシー
なさすぎ!

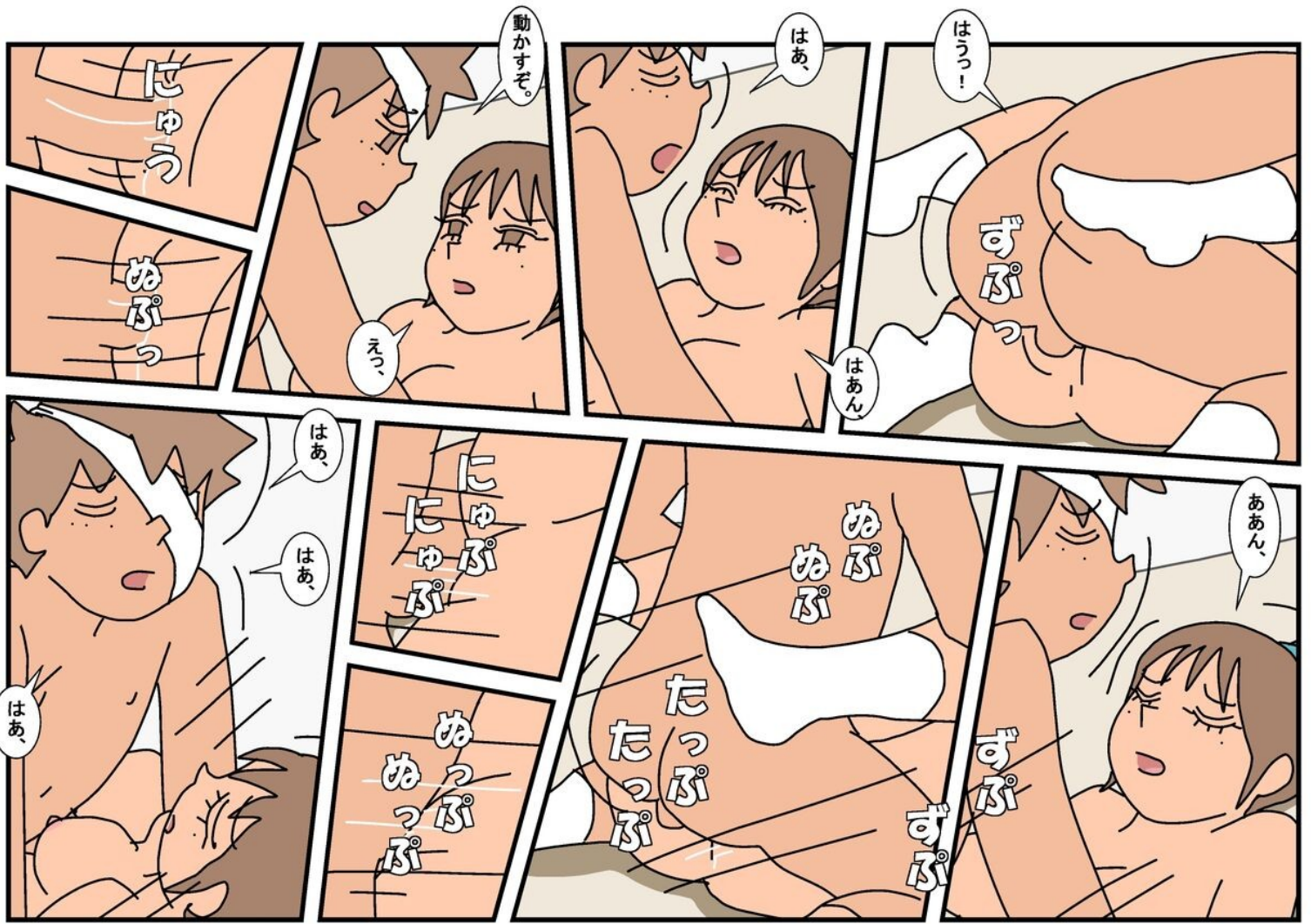
なにが
ええっ
よ!
あ!

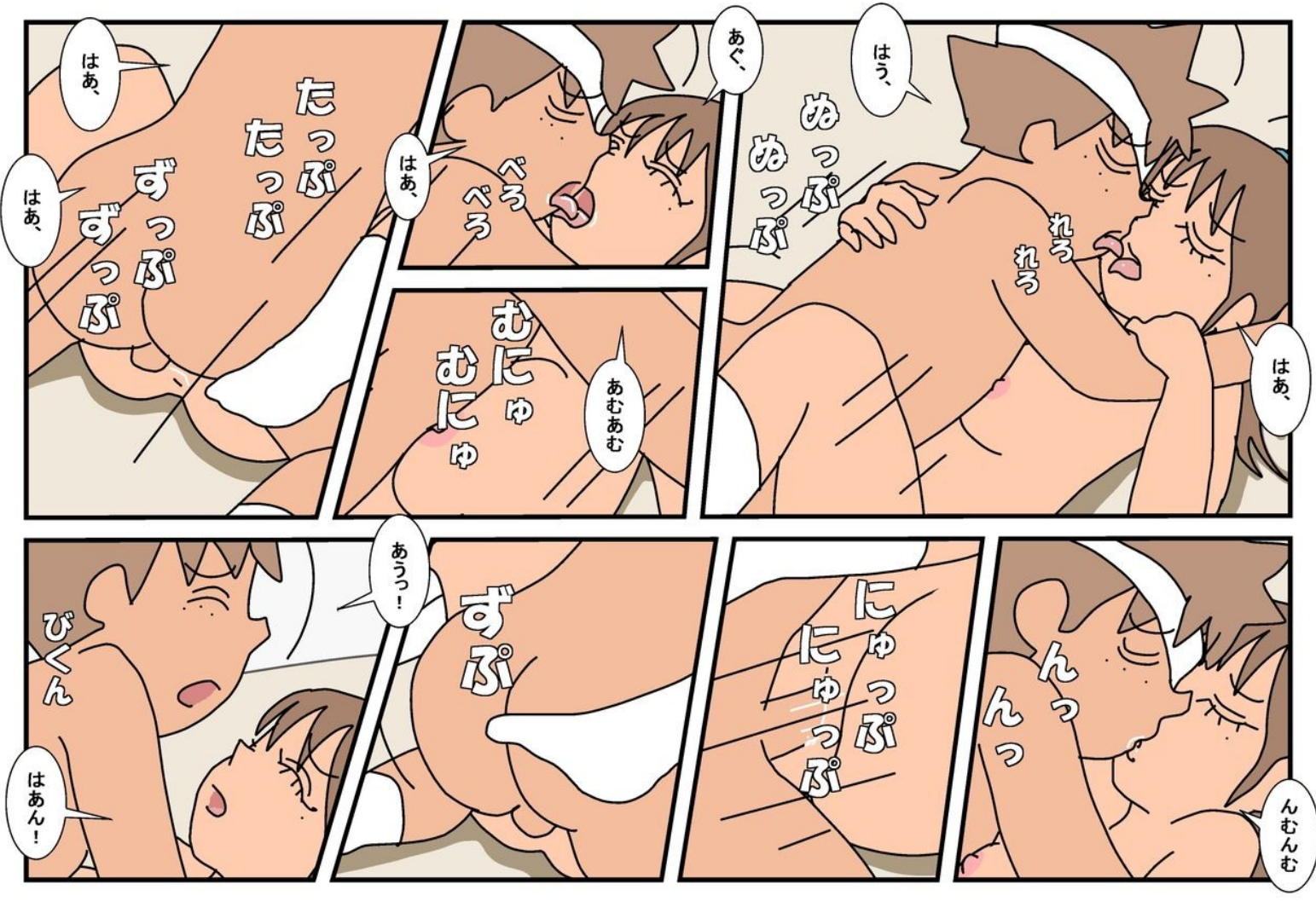
ええっ、
しないって
言うておぼ
てよ!



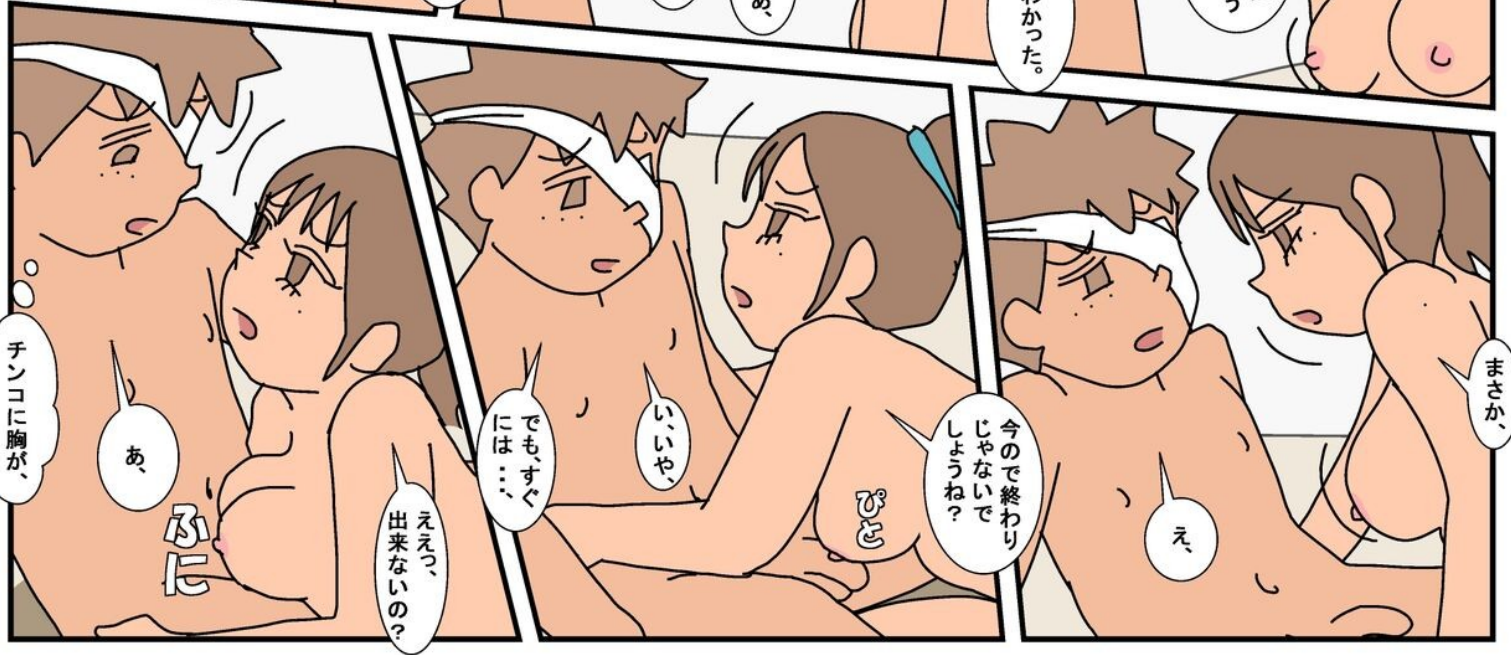




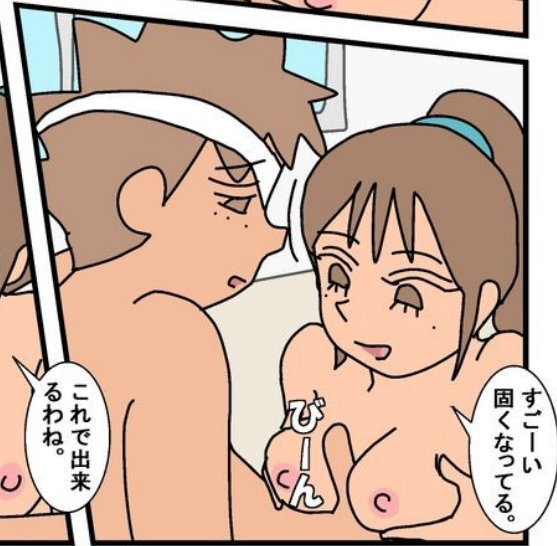




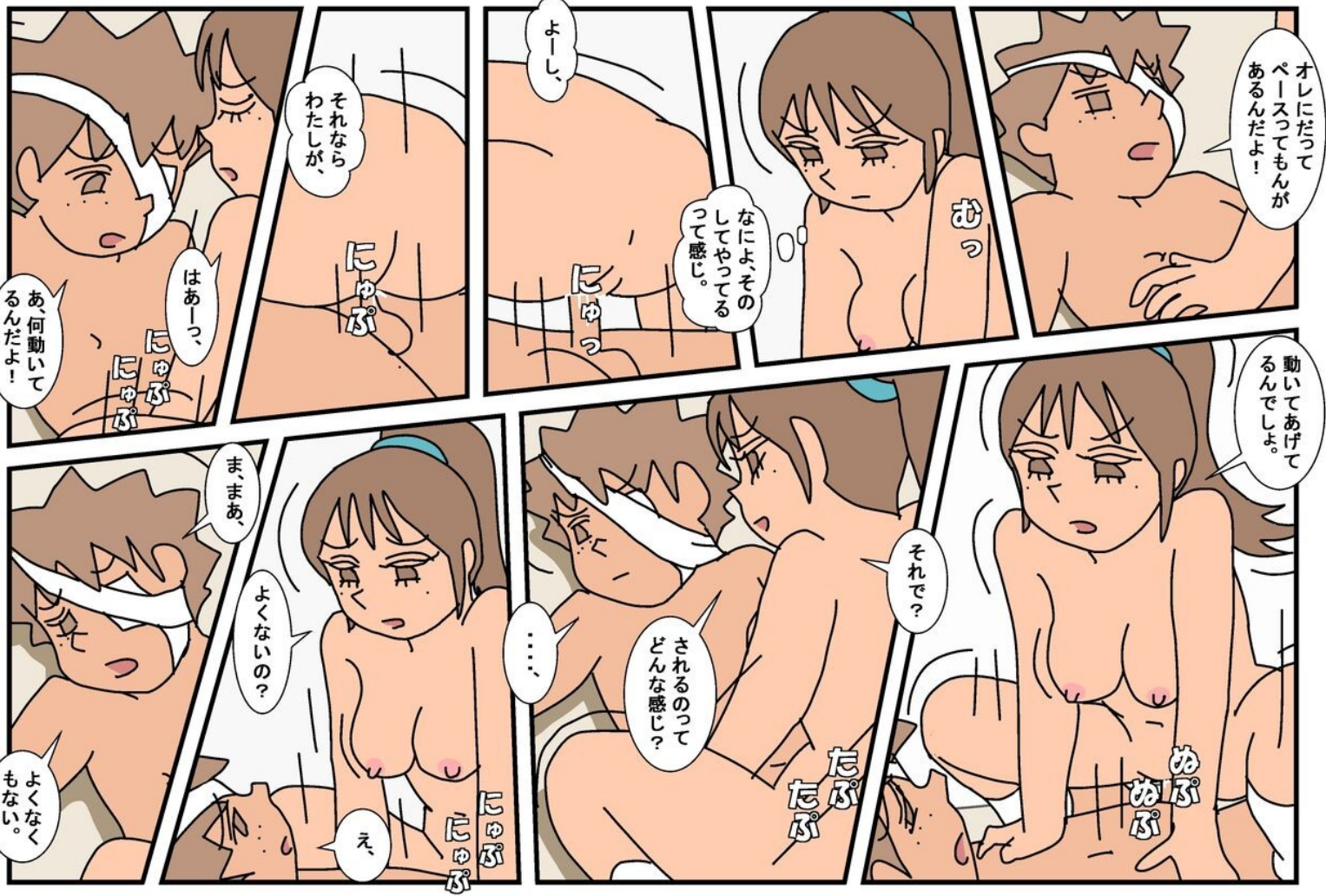


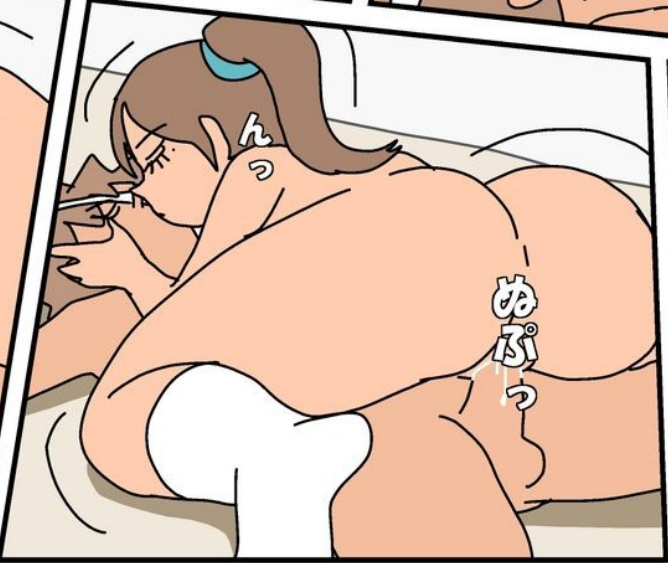


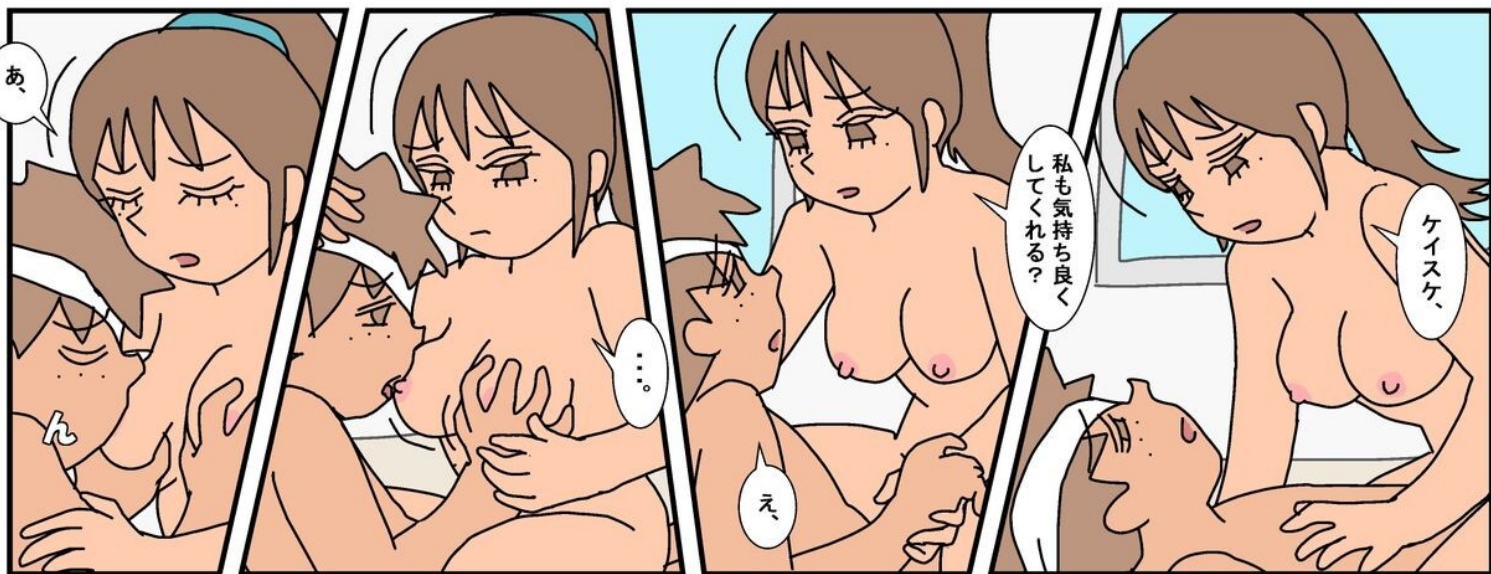
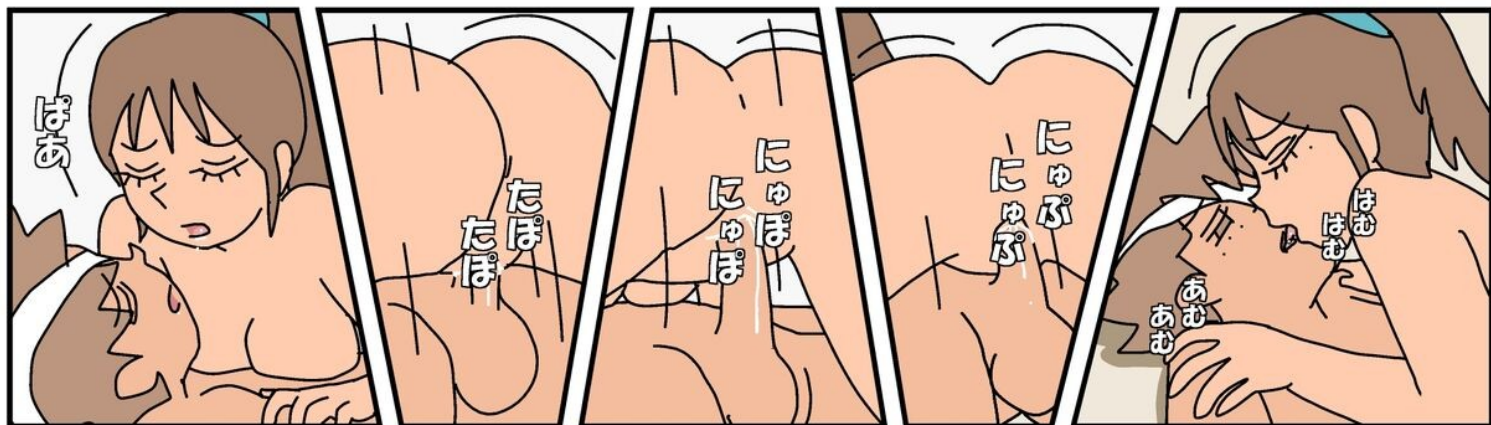


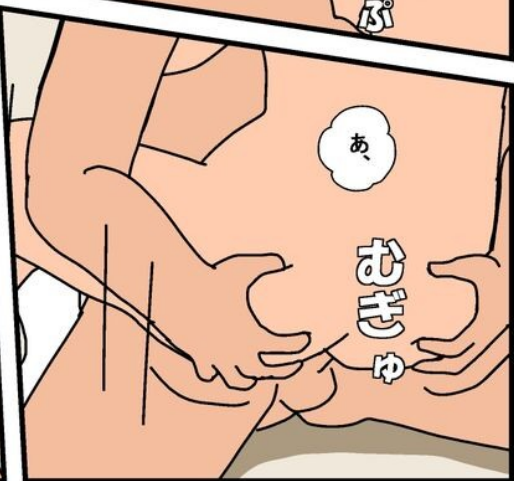
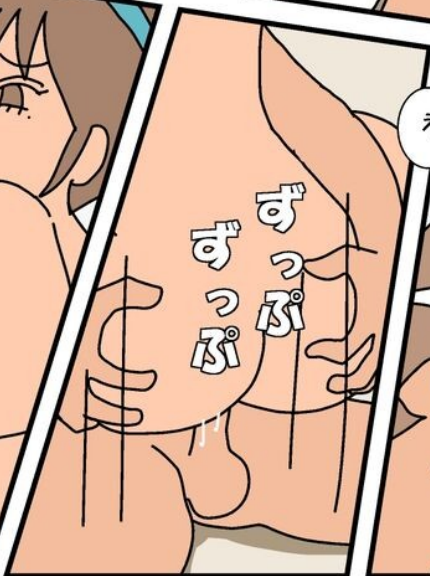
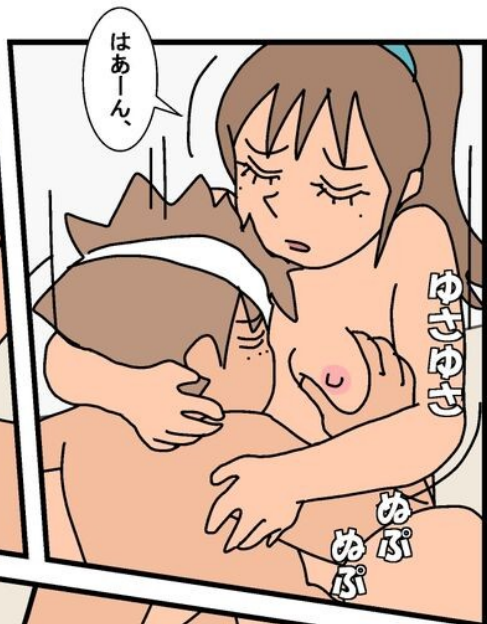
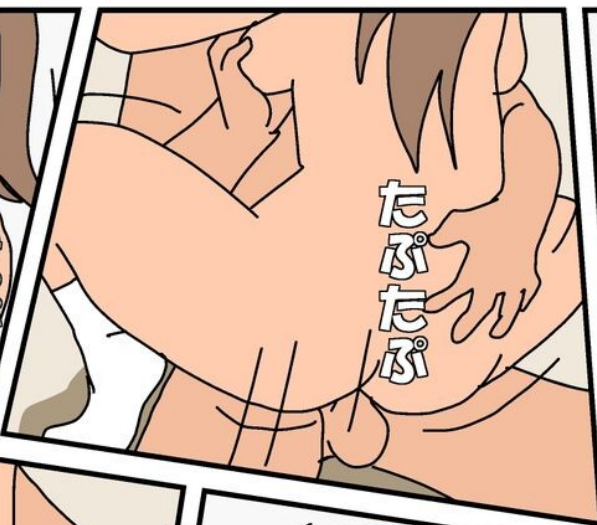
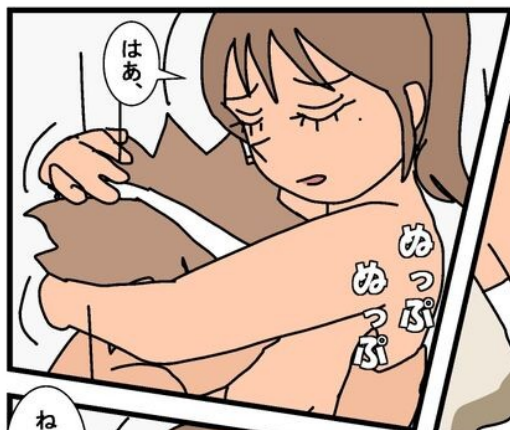


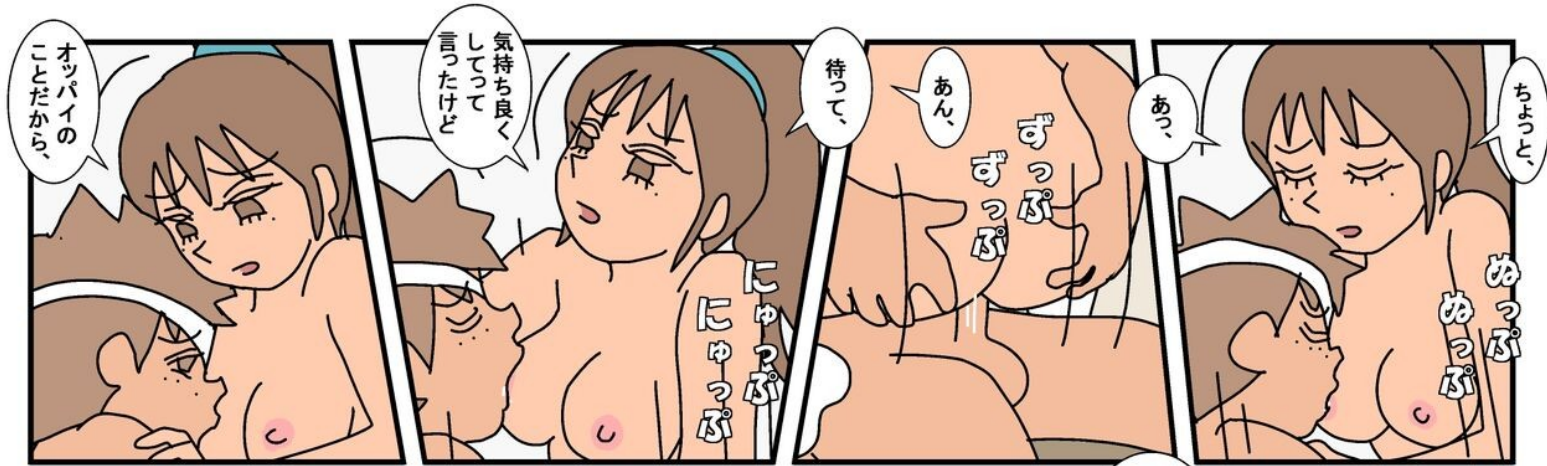


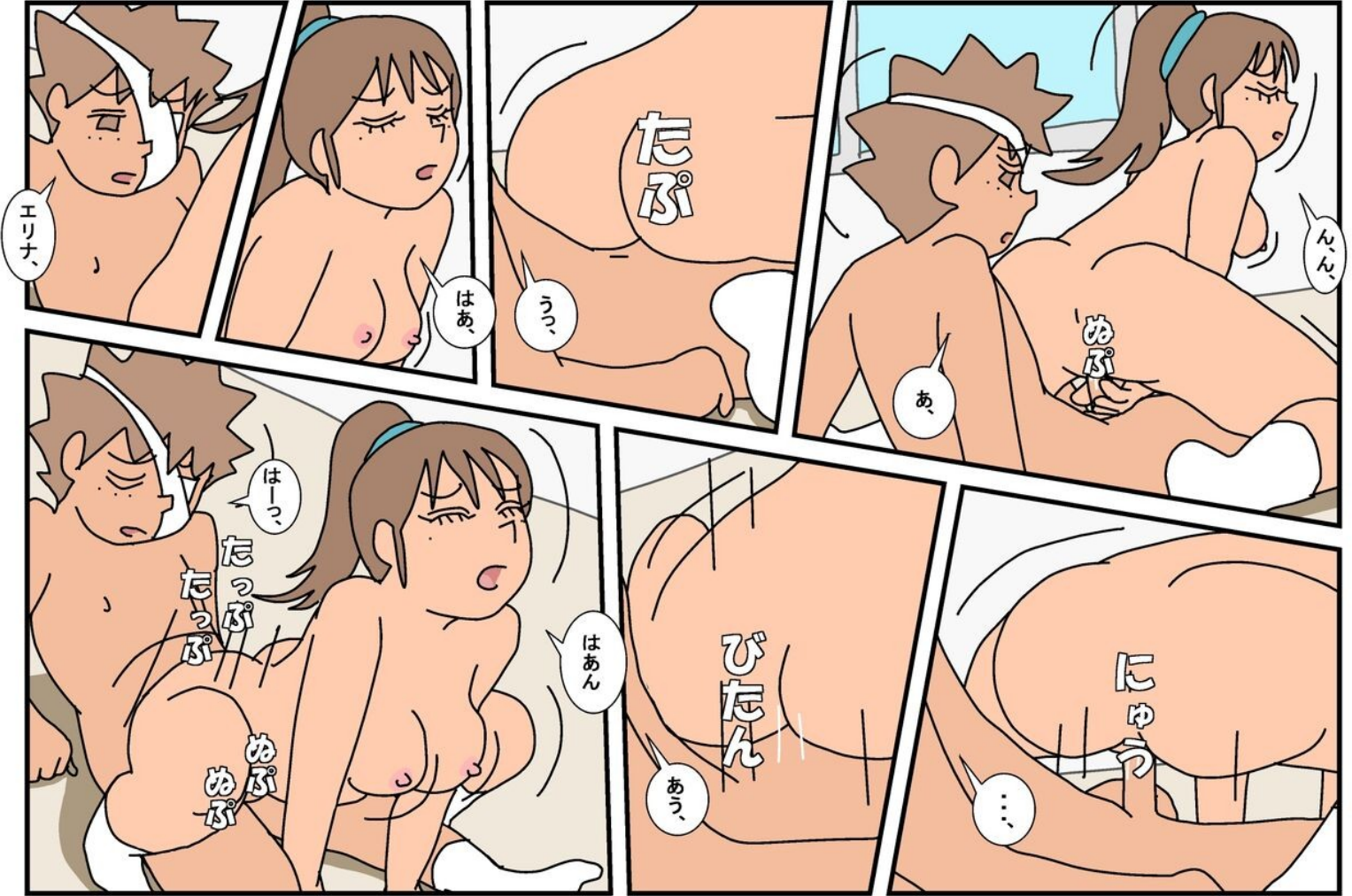












エリナ、

はあ

うっ

たぶ

んん

あ

めぶ

はっ

たぶ
たぶ
めぶ
めぶ

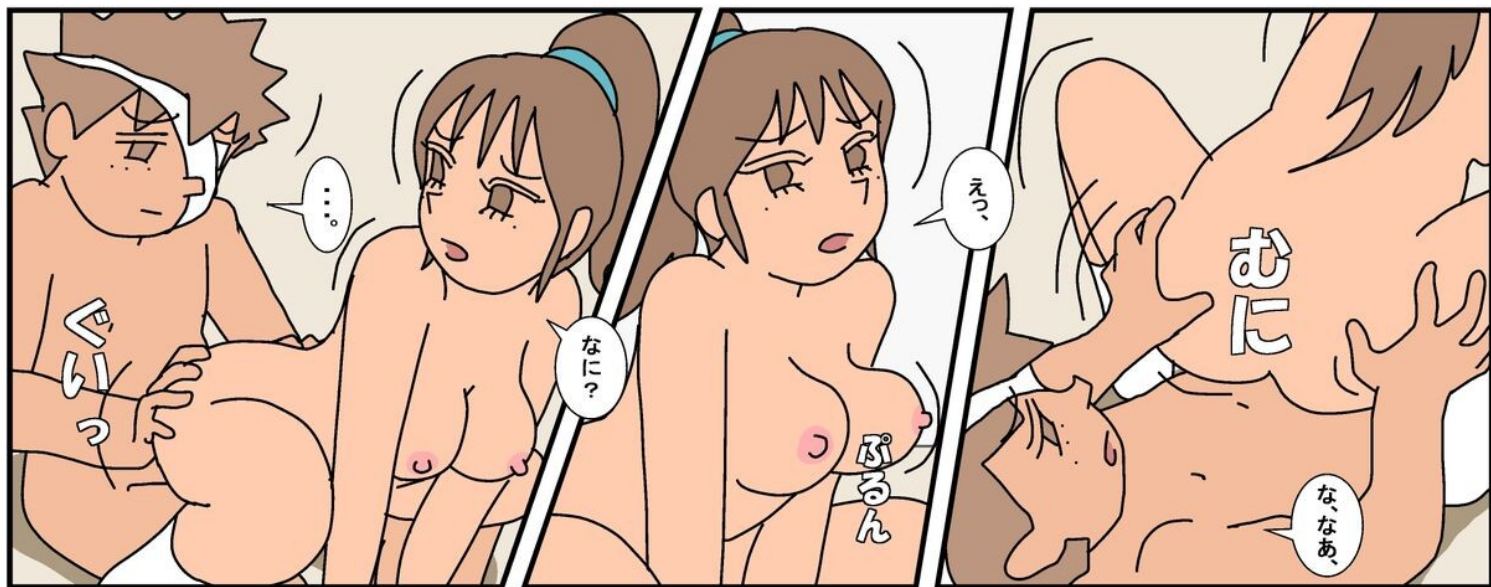
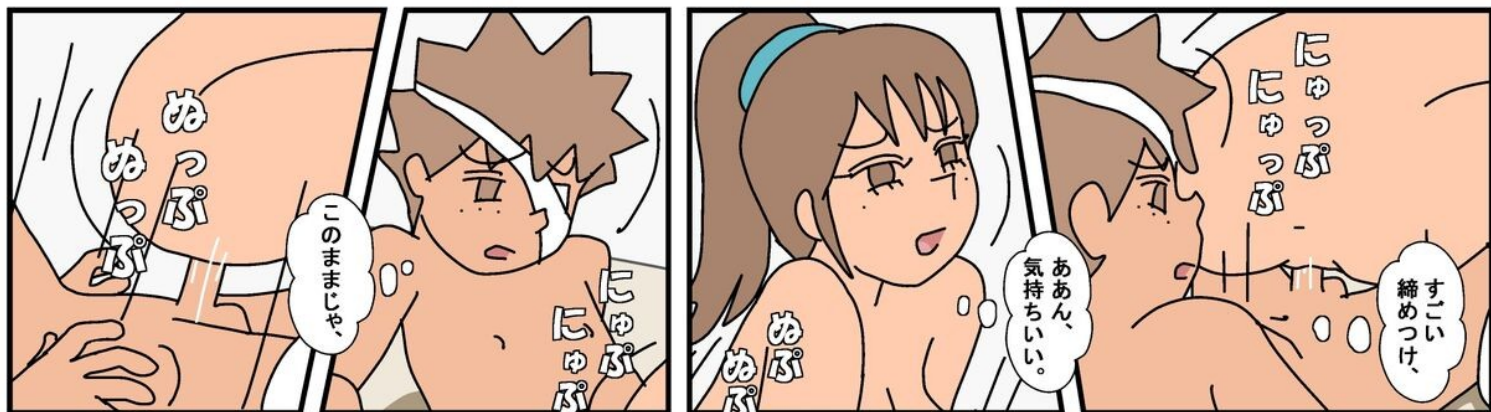
はあん

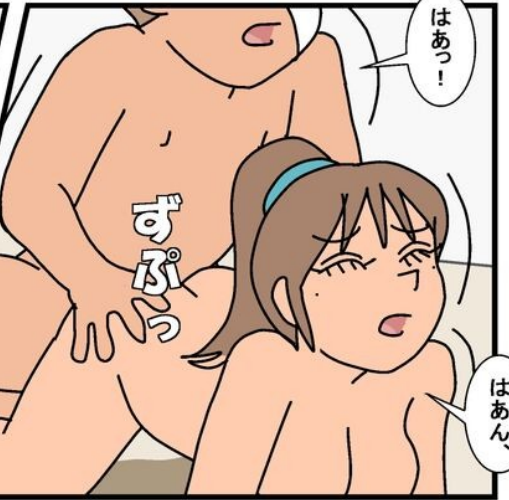
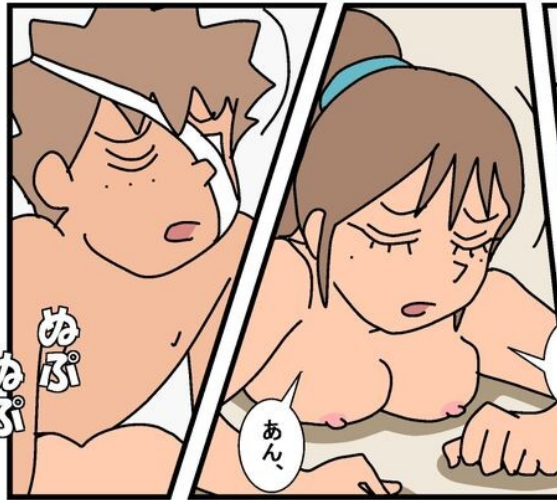
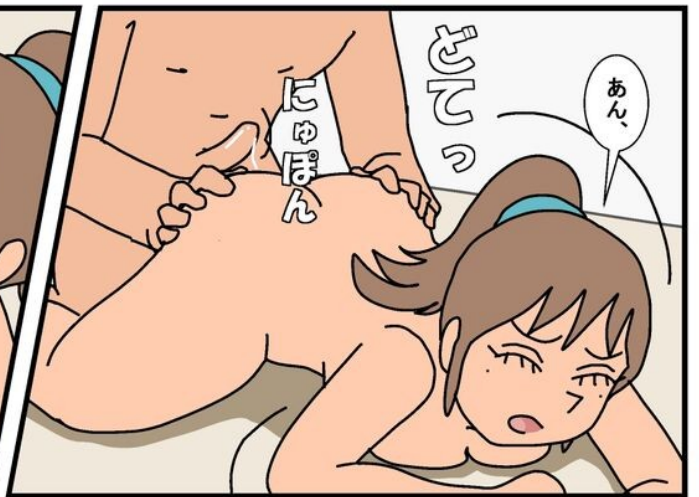
びたん

あう

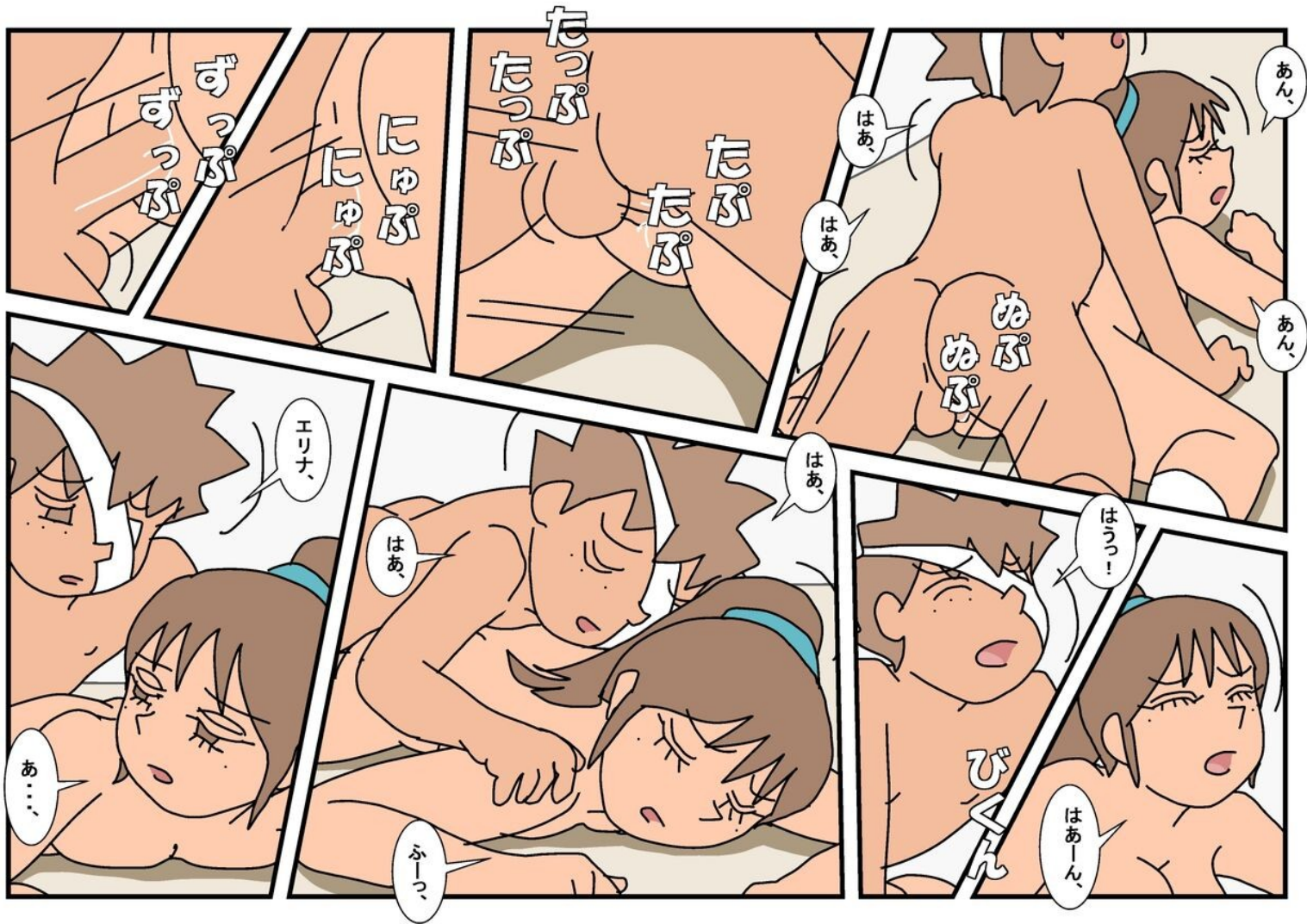
にゅう

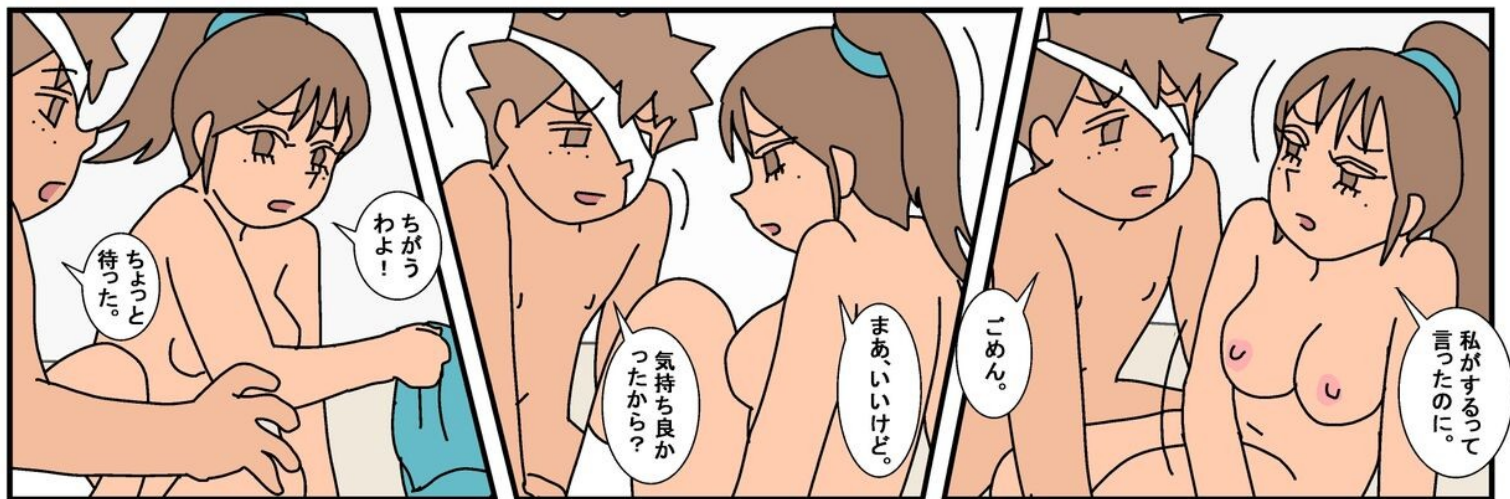
...





はあん、







エッチなこと
考えてない？



そう？

服着るの
面倒くさい
だろ。



裸のまま
降るの？



一階？

ああ、誰も
いないから。



喉乾いてた
だけか…



なあんだ、

ほい、

ありがとう。



適当に
座って。





あー

だー

ばかっ

はい

そんなに
見たいん
なら...

やっぱりね。

あ、そうか

あれ？
どー見て
るの？

わあっ

舐めて
あげるから
じっとしてて。

だめよ。

平気。
平気。

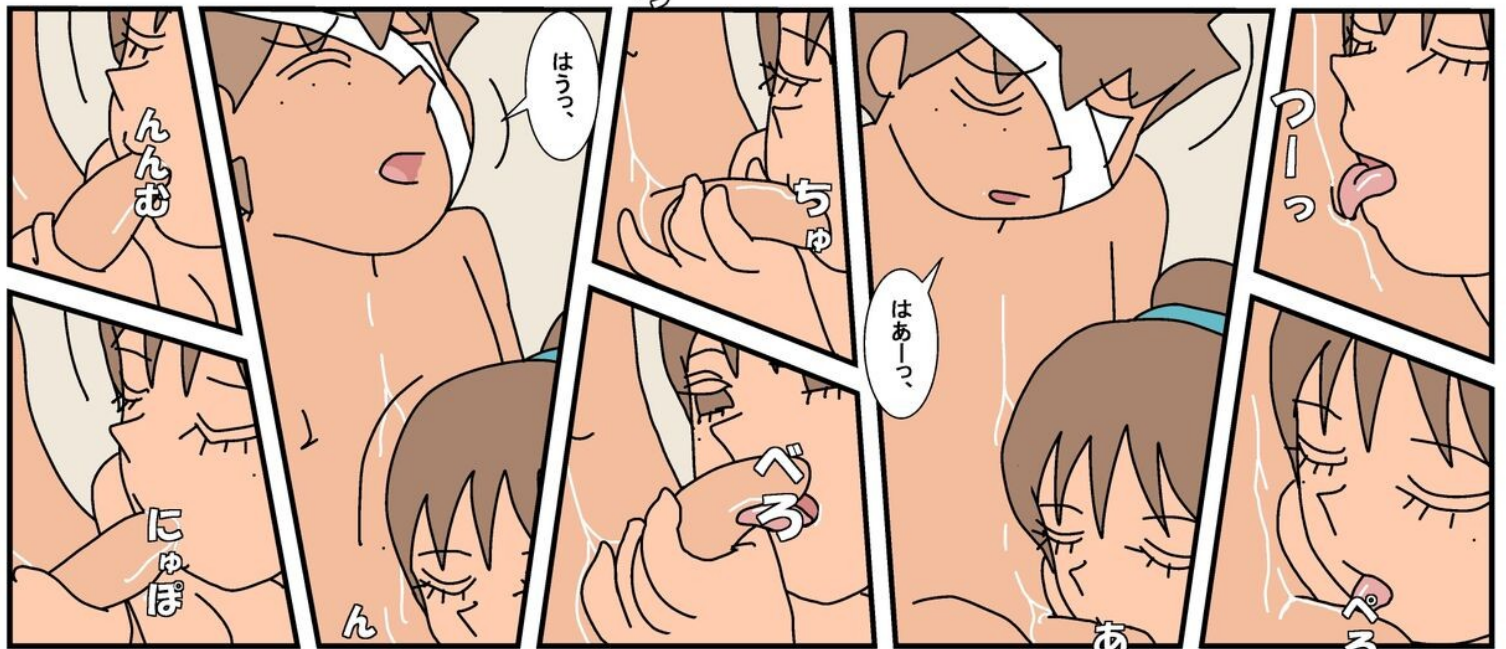
ビックリし
すぎでしょ

びしょ濡れ
じゃない。

え？

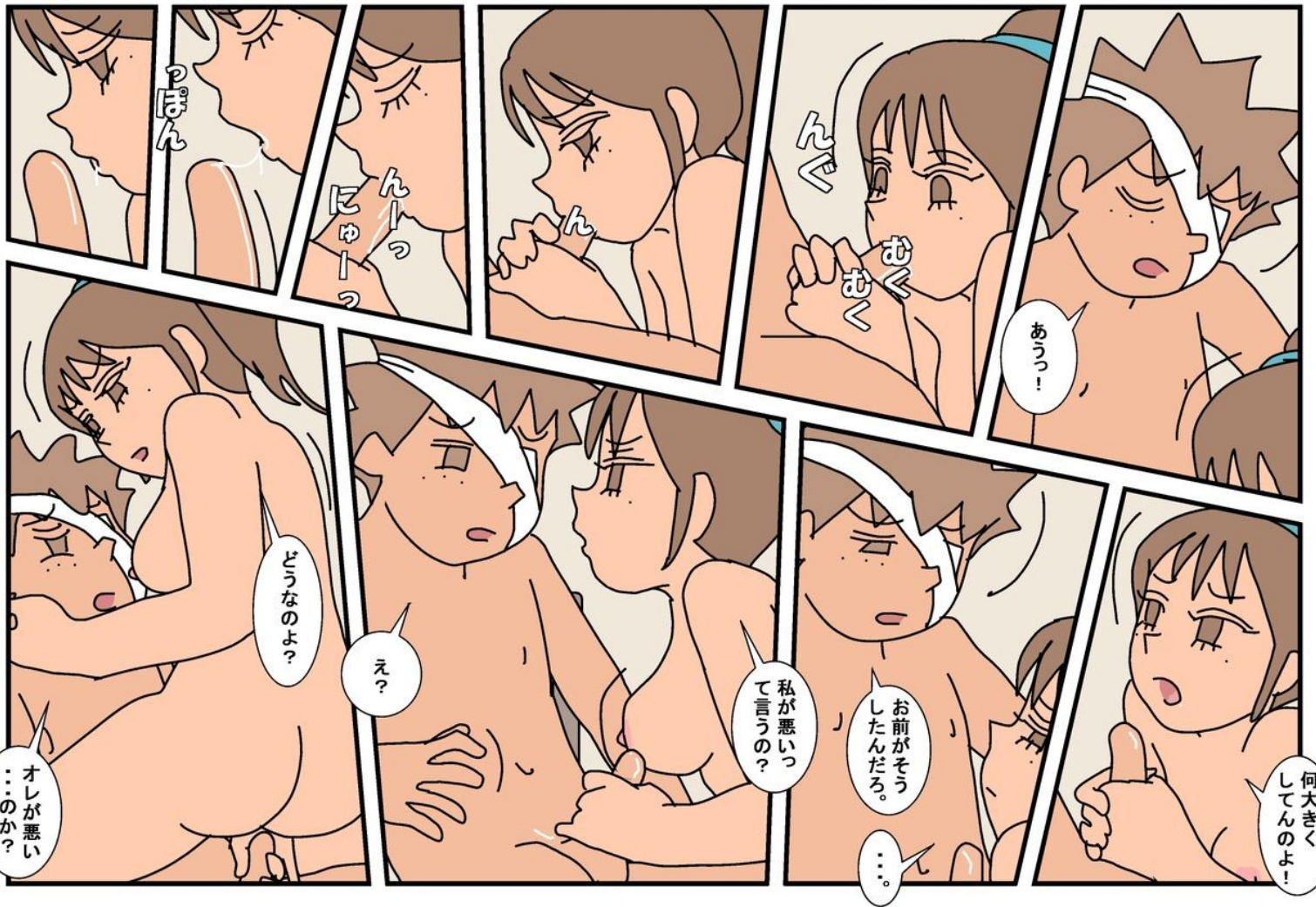
何して
るのよ。

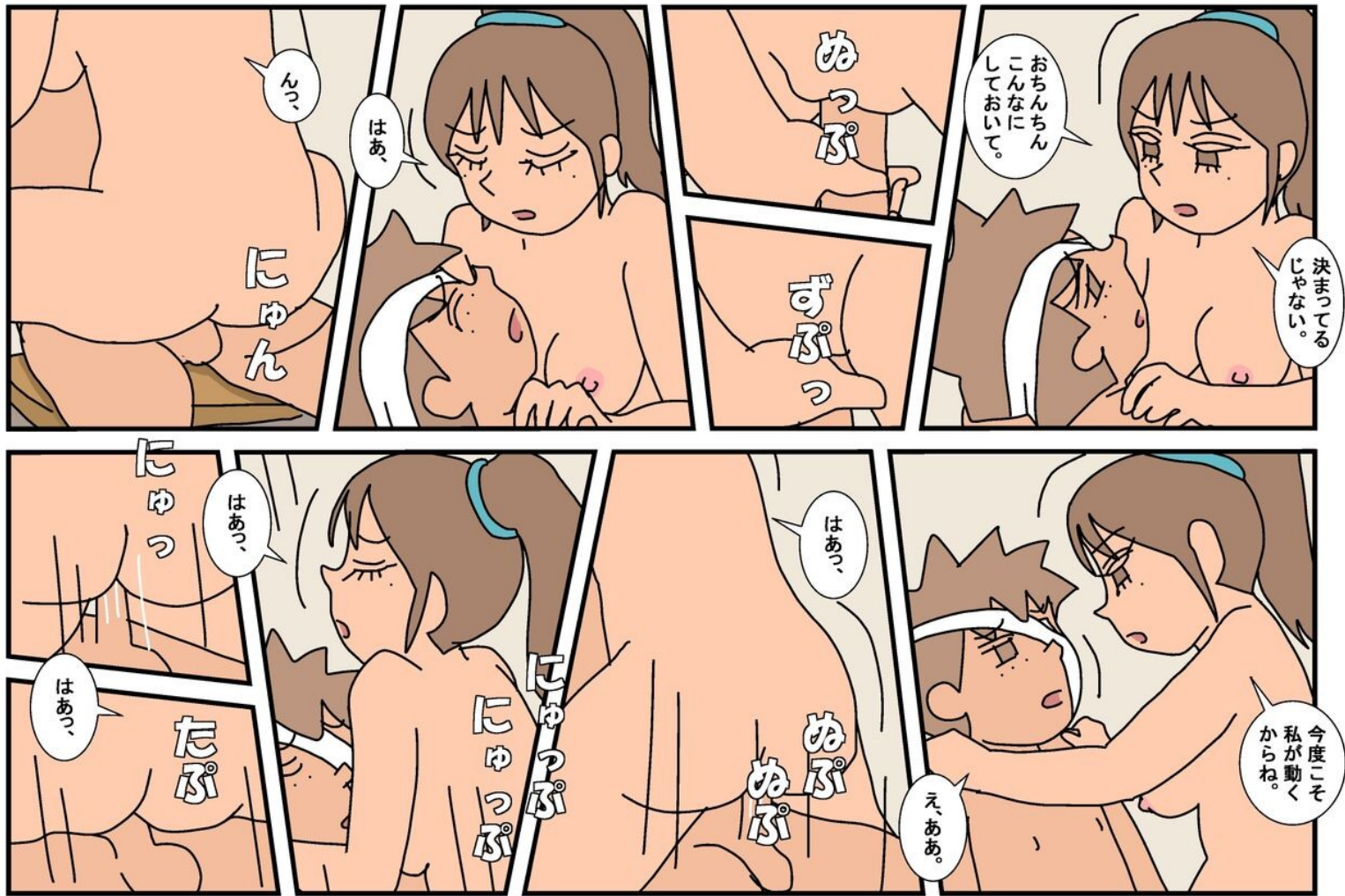
わあっ

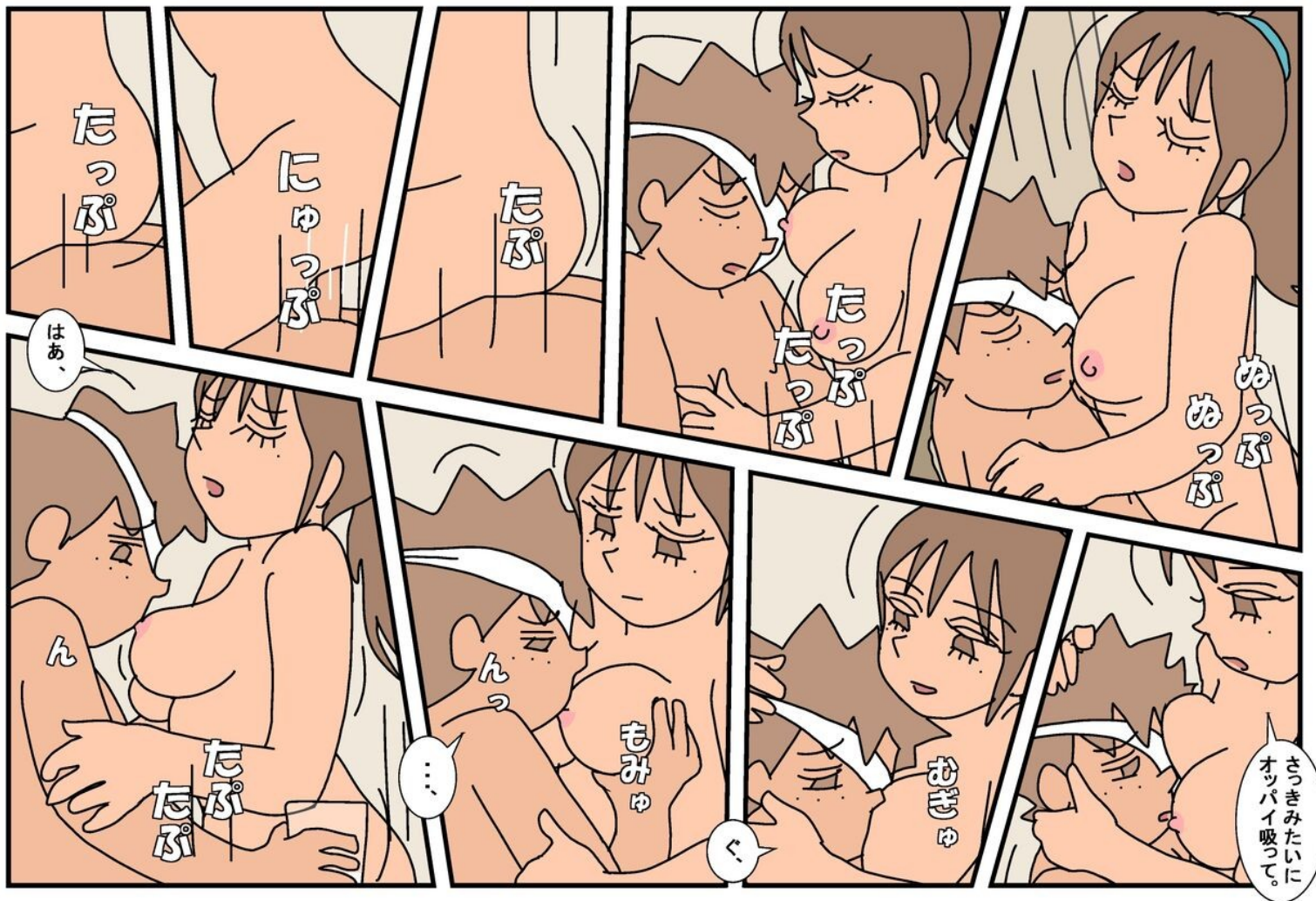


あむ

べろ







たっ
び

ぬっ
っ
び

た
び

たっ
たっ
び
び

ぬっ
ぬっ
び
び

はあ、

ん

た
た
び
び

...

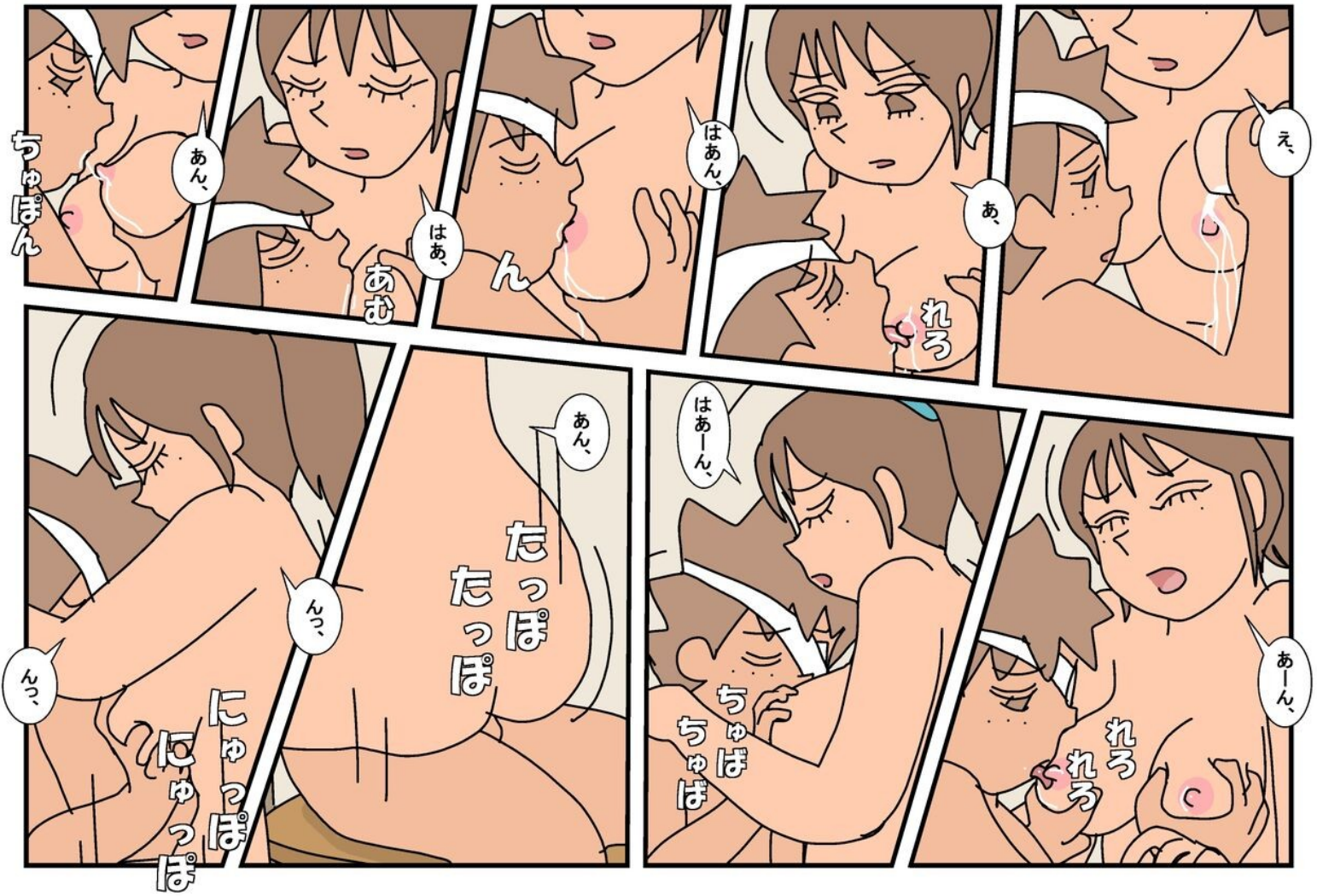
ん

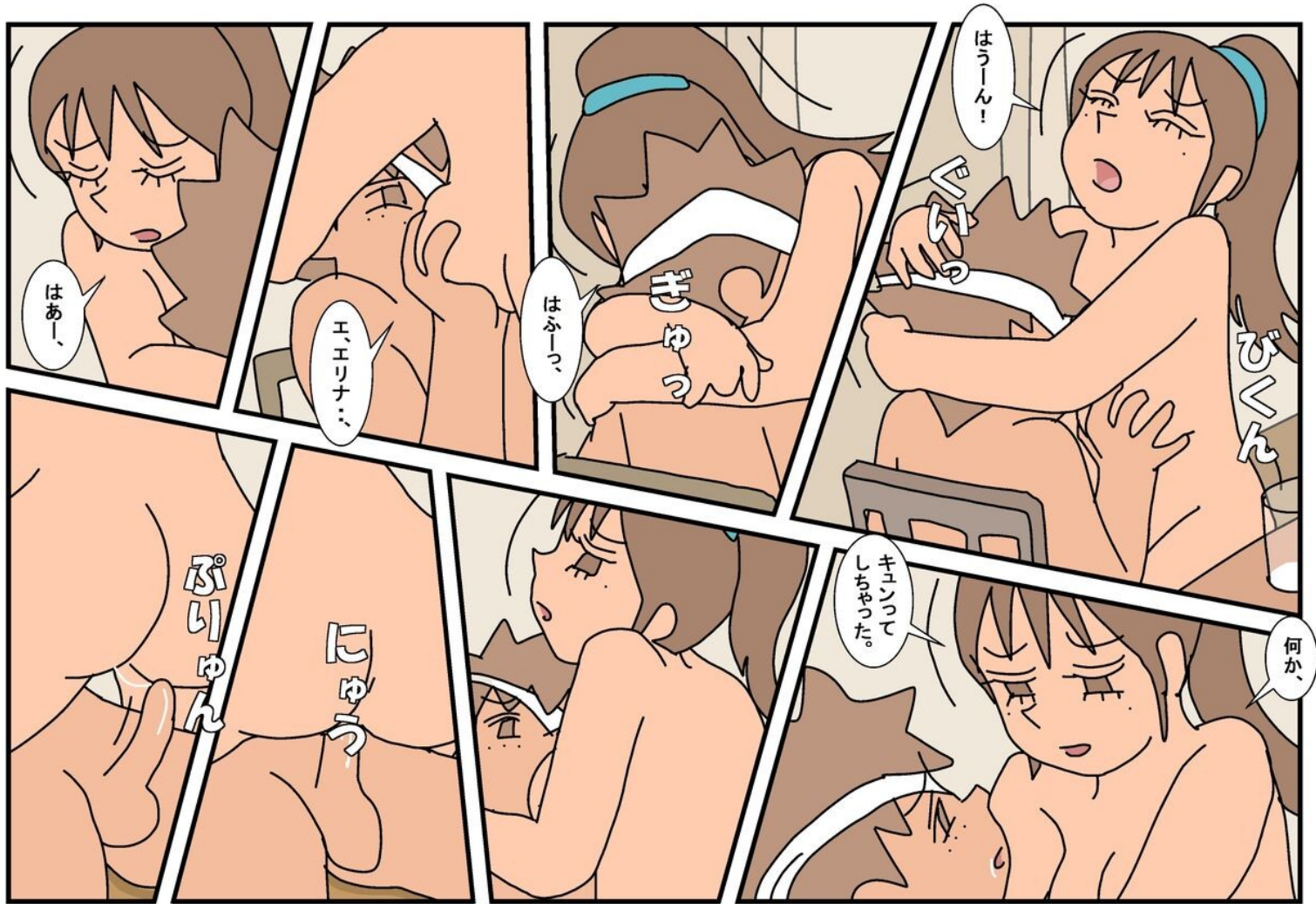
も
み
ゅ

く

せ
せ
ゅ
ゅ

さっきみたいに
オッパイ吸って。













あん、

はあ、

ずぶっ

ずぶ

あうん。

入れるぞ。

あん、

はあ、

ずぶ

ずぶ

ん、

はあ、

たぶ

たぶ

はあ、

ぬび

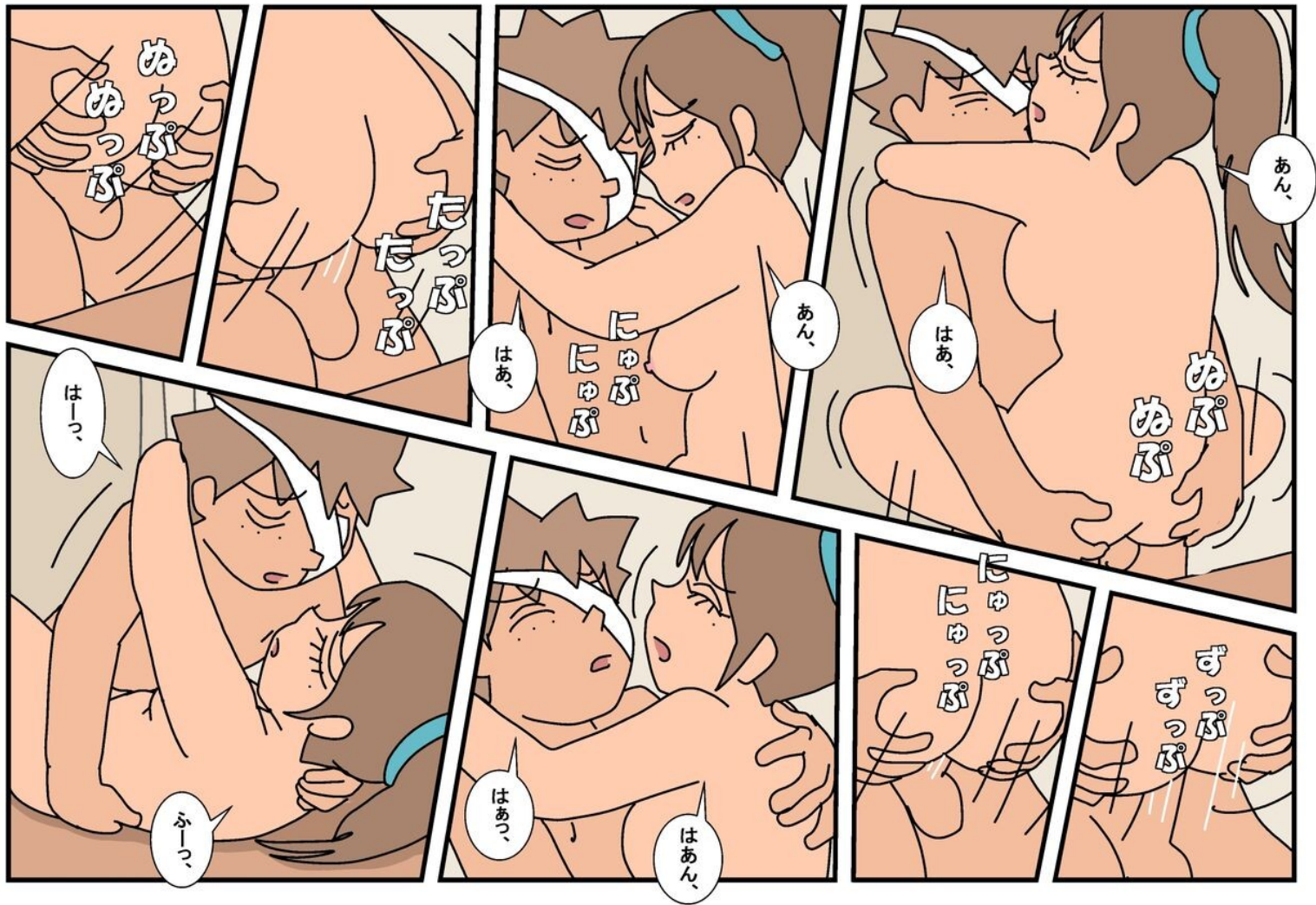
ぬび

あん、

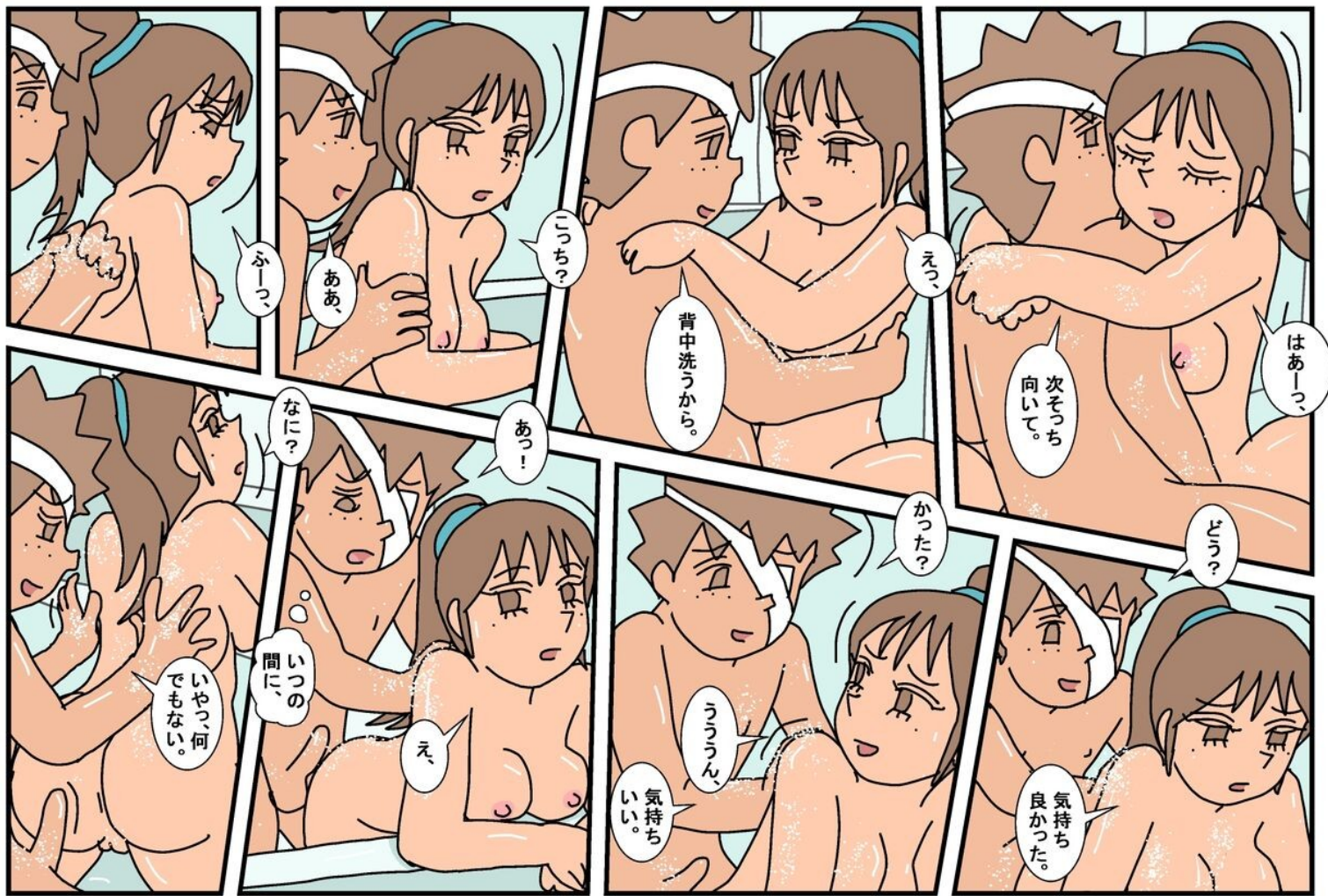
あん、

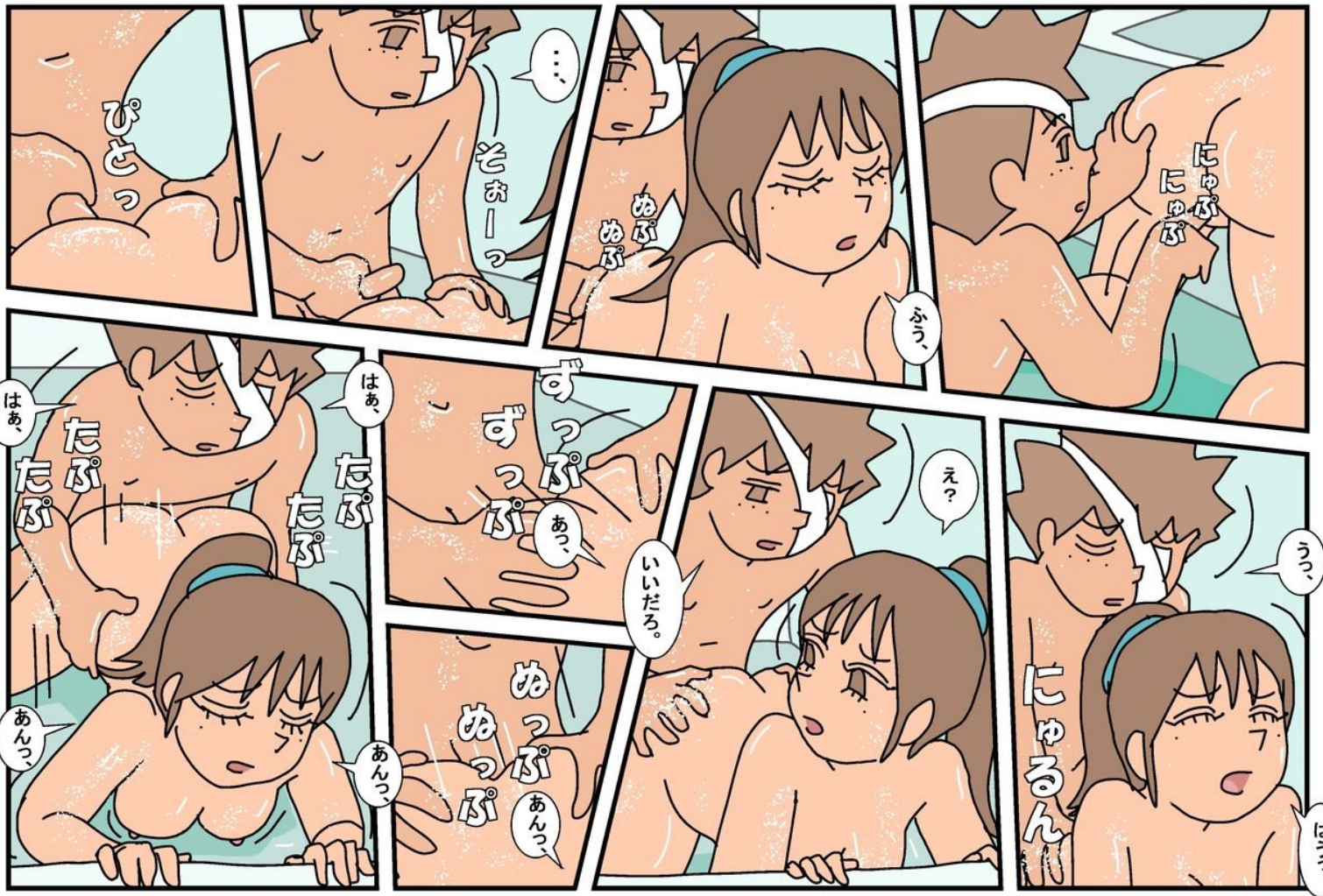
にゅっ

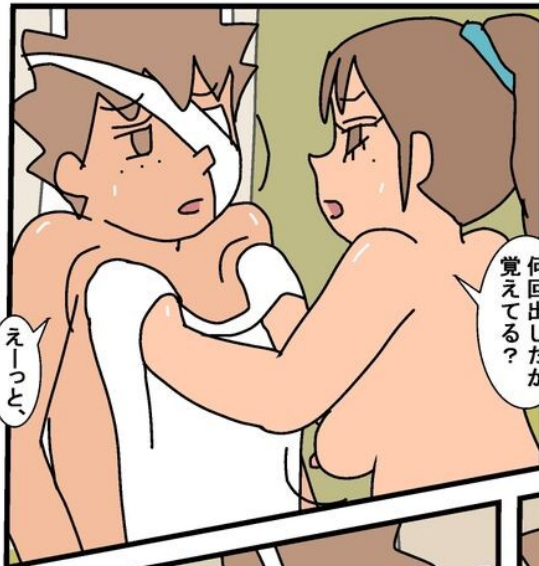
にゅっ













えっ

出てきなさいよ。

エリナも入れよ。

隠れるな!

「えっ」

好きでなっただろ。

「どういっ!」

オッパイくっついてるぞ。

ケイスケだって、

え

何?

エリナ。

あ

ぱん

おチンチンくっついてるんだけど。

ぺせ

むに

